

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))
「社会構造の変化を踏まえた保健医療にかかる施策立案に資する
国際統計分類の国内導入のための研究」
分担研究報告書(令和3年度)

ICD-11 と標準病名マスターとのマッピングに関する研究

研究分担者 今井 健 (東京大学大学院医学系研究科)

研究要旨

疾病及び関連保険問題の国際統計分類(ICD)の第 11 版改訂(ICD-11)が WHO によりリリースされ、今後国内適用に向けた準備が急務となっている。本研究班全体の目標は ICD-11 国内導入に資する各種分析を行い基礎資料として取りまとめることであるが、本分担研究ではその中でも特に、これまで ICD-10 に準拠して構築され広く診療現場において用いられてきた標準病名マスターとどのように整合性を取るか、を検討することを目的とする。既に昨年度研究で、ICD-11 自体の和訳のみでは標準病名と一致させることは難しく、Post-Coordination を駆使した対応付けが必要で、国内導入にあたりこの作業が極めて重要であることが判明している。そこで標準病名マスター中の 7 個の ICD-10 章 (1,2,4,6,9,10,13) の病名を対象に ICD-11 への対応付け作業を行っている。本年度は、2 章について同作業を続行すると共に、新規に 12 個の章(3,5,7,8,11,12,14,15,16,17,18,19) について ICD-11 への対応付け作業を行った。結果として 2 章の一部と見直し作業が残っているが、ほぼ全ての標準病名マスター中の病名について ICD-11 との対応付けが完了した。本成果は ICD-11 の円滑な国内導入に向けて(1)国内標準である標準病名マスターとの整合性を担保すると共に、(2)死亡表・死亡個表、患者調査における病名を ICD-11 コーディングすることにより、より詳細に各種統計への影響を分析するための貴重な基礎資料となるものである。

研究協力者

伊藤由美

国際医療福祉大学 准教授

坂本幸平

国際医療福祉大学 助教

坂本千枝子

国際医療福祉大学 准教授

高橋幸恵

国際医療福祉大学 助教

滝澤雅美

国際医療福祉大学 講師

A. 研究目的

疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD)は、我が国では死亡統計を始め患者調査、医療保険制度、診療情報管理に広く活用されている。WHO が進めている ICD-10 から 11 への改訂においては我が国の医療実態を踏まえたより適切な医療情報を将来的に確保するために、我が国での適用に向けた ICD-11 の妥当性の検討を行う必要があり、研究班全体の目標は ICD-11 国内導入に資する各種の分析を行い基礎資料として取りまとめることである。これには複数の要素が含まれ、例えば公的統計への影響なども重要であるが、考慮すべきことはそれだけに止まらない。ICD-11 では (1) 分類体系の構造自体の変化 (2) 個々の分類概念の詳細化 (3) 単なる分類体系の提供から用語集の提供への変化 (4) Post-Coordination を用いた任意粒度での概念のコーディング、と言ったこれまでにない特徴があり、国内で

これまで用いられてきたコーディングスキームとは大きく異なっている。国内の電子カルテ環境では厚生労働省標準ともなっている ICD-10 対応電子カルテ用標準病名マスター（以下、標準病名マスター）が広く導入されており、病名の記録と ICD-10 コードへの対応づけが行われているだけでなく、

その ICD-10 コードは DPC など診療報酬請求にも広く用いられている。一方、ICD はこれまで単なる疾患分類のためのカテゴリ体系を提供するものであったが、ICD-11 からは Foundation Component 中に約 13 万語の用語セットが含まれ、大きく拡充されると共に用語集としての性質を帯びてきた。従って、ICD-11 の日本語版を作成し国内導入する際には、これまで国内で標準的に用いられてきた用語集とのダブルスタンダードを避け、円滑な移行を促すため整合性をとる必要がある。

そこで本分担研究では、これまで国内で用いられてきた ICD-10 ベースのコーディングスキーム、特に標準病名マスターに焦点を当て、ICD-11 を国内導入した際にどのように整合性を担保するべきかを検討することを目的とする。

[昨年度での重要な知見]

ICD-11 は疾病・傷病概念のコーディングに必要な全てのエンティティをプールする Foundation Component と、そこから死亡統計、罹患統計、プライマリ・ケアなど各種の目的に応じて適切な粒度を選択し、排他的分類体系として切り出した Linearization Component から成っている。エンドユーザーが使用するのは主に Linearization であるが、各種の Linearization の大元となるデータベースは Foundation Component であり、2020 年 6 月版では総数で 130,151 エンティティが含まれている。内訳を下記表 1 に示す。この中で定義文エンティティが 16,843、注記エンティティが 731 含まれているので、実質的な用語数は 112,577 語（カテゴリ名称約 3 万含む）である。各々の章に含まれる用語数は ICD-10 までと比べて大幅に増加し、Post-Coordination に使用される拡張用コード（X 章）も約 24,000 語を収載している。

章	内容 (略記)	全数	章	内容 (略記)	全数
1	感染症	8,174	15	筋骨格	6,696
2	新生物	8,138	16	泌尿器	4,361

3	血液	1,797	17	性保健	165
4	免疫	1,669	18	妊娠	2,370
5	内分泌	6,155	19	周産期	2,357
6	精神	3,709	20	発達異常	10,172
7	睡眠障害	250	21	症状所見	4,624
8	神経	5,588	22	損傷	7,617
9	視覚	3,759	23	外因	5,438
10	耳	663	24	保健サービス	2,996
11	循環器	4,143	25	特殊	47
12	呼吸器	2,785	26	伝統医学	1,102
13	消化器	5,921	V	生活機能	131
14	皮膚	4,902	X	拡張コード	24,422

表 1 ICD11Foundation の章ごとエンティティ数(2020/6 月)

この X 章は ICD-11 での大きな特徴であるが、臨床病態をより詳細にコーディングするために、重症度、時間的特徴、病因、位置関係、解剖構造、組織病理、損傷や外因の程度、意識レベル、物質・アレルゲン等々の用語が用意されている。21 章の症状・所見用語と合わせ、国内でこれまで存在してこなかった領域の標準的な用語集・コードセットとして機能する可能性を秘めている重要なパートである。今後、X 章を含めたこれら全体 11 万語の Foundation Component の日本語版を整備していく必要がある。この作業は厚生労働省が中心となり、各関連学会との連携のもと進められており、訳語候補の集約作業と事務局での確認作業を経て、現在最終確定作業が行われているところである。

一方、これまで我が国でも臨床現場で用いられる標準用語集やコード体系の策定が進められてきた。現在、17 の厚生労働省標準規格が定められており、その中で用語集・コード体系に関するものとしては、ICD10 対応標準病名マスター5（以下標準病名マスター）、医薬品 H0T コードマスター、臨床検査マスター、また標準歯科病名マスターや看護実践用語標準マスターといったものが存在する。しかし臨床情報のコーディングに必要な様々な領域の用語という観点では未だカバー範囲は限定されており、症状・所見や解剖用語を始め、アレルギーや化学療法などでも標準的用語・コード体系は存在していない。その中で、電子カルテの普及に伴い、比較的国内普及が進んでいるものの 1 つが病名である。MEDIS-DC からリリースされている「ICD10 対応標準病名

マスター」は、我が国における標準病名集で、電子カルテで広く用いられている。また、事実上同じ中身のものが社会保険診療報酬支払基金からも「レセプト電算処理用傷病名マスター」としてリリースされており、レセプトの傷病名欄記載、あるいはDPCでも用いられている。

標準病名マスターは V5.04 版(2020 年 6 月)では病名基本テーブル 26,420 件、修飾語テーブル 2,393 件、索引テーブル 106,834 件の規模になっており、約 26,000 の病名代表表記と、対応する同義語・類義語、これらに Post-Coordination 用の修飾語を組み合わせることができるようになってきている。今や用語集としての色合いを濃くした ICD-11 の日本語版の国内導入を今後考えていく上では、この現在用いられている標準病名マスターとの適切な統合は必要不可欠である。

標準病名マスターでの病名表記は代表表記・同義語・類義語を合わせて 107,760 語存在するが、この中にはカタカナ表記の同義語(48,966 語)も大量に含まれており、異字体による同義語(4,280 語)も除くと、実質的な病名は 50,042 語である。これらについては適切な形で ICD-11 日本語版と対応付けられることが必要となる。

昨年度調査において、2020 年 3 月時点での ICD-11 Foundation 日本語版作成作業中間データ(「ICD-11 日本語版(仮)」、候補用語約 10 万語)と標準病名マスター中の約 5 万語とで文字列が一致するものは約 8,600 語程度であり、対応付けができなかった病名数について、ICD-10 での章の上位は以下の様であることが判明している。

- ・ 5,129 S 章 (損傷・中毒)
- ・ 4,653 T 章 (損傷・中毒)
- ・ 4,125 C 章 (新生物)
- ・ 3,488 D 章 (新生物)
- ・ 3,483 M 章 (筋骨格、結合組織の疾患)

上位を占めたのは S,T (損傷・中毒)と C,D (新生物)である。この上位 5 つは標準病名マスターにもともと収載されている語数が多い章の順位とも一致しており、自然だと考えられる。

一方、標準病名マスターのこれらの章は、詳細な部位を予め病名に含めたものが数多く収載されているという特徴を持つ。例えば「第 3 足趾末節骨開放骨折」は、ICD10 では S925 (Fracture of other toe) の .1 (open) である S9251 に分類される。ICD11 では、これ

に直接対応する語は無いが、ND13.5 Fracture of other toe に対する Post-Coordination として表現されるべきものである。従って ICD-11 の日本語版と直接の完全一致用語が存在せずとも妥当である。実際、ND13.5 Fracture of other toe では、左右性、骨折のサブタイプ、開放・閉鎖の別、詳細な解剖部位を Post-Coordination で表現するため、「第 3 足趾末節骨開放骨折」も ND13.5 と、XA38Q1 (Distal phalanx of third toe) と XJ7YM (Open fracture) を組み合わせることで「完全に同一概念粒度で」コーディングされる。(MMS: “ND13.5 & XA38Q1 & XJ7YM”)

すなわち、標準病名マスターと、ICD-11 日本語版との単純な用語一致数を考慮してもあまり意味を持たず、現在の標準病名マスター中の用語が、ICD-11 日本語版でどのように Post-Coordination で表現されるか、を調査することが重要である。

B. 研究方法

ICD-11 の国内導入に向け、2020 年度までの厚生労働省内の作業により、既に各学会から寄せられた ICD-11 Foundation の用語に対する和訳案の集約作業が終了している。その後、2021 年度において各学会での和訳確認作業が行われ、2022 年初頭にこの集計が終了したところである。まだ最終確定していないため、本研究では 2020 年までに一旦集約が行われた和訳案セットを一時的な「ICD-11 日本語版(仮)」とみなした。既に昨年度、この「ICD-11 日本語版(仮)」と標準病名マスターとのカバレッジについて調査を行い、約 5 万語の標準病名の中で文字列完全一致により ICD-11 と対応付けが行えるのは約 8600 語(約 18%)程度と判明している。

また、標準病名マスターと一致しなかった事例について調査を行い、対応づけを行うための方策について検討を行った結果、ICD-11 の Post-Coordination 機能を用いないと既存の標準病名が ICD-11 と対応付けられない事例が多数存在することが判明している。

この分析結果に基づき、昨年度は標準病名マスター中の個々の病名について 7 つの ICD-10 章(1, 2, 4, 6, 9, 10, 13)を対象に、ICD-11 コードとのマッピング試行を完了している。

本年度はさらにこれを発展させるべく、作業が完了していない 2 章の作業を進めると共に、新規に 12 個の ICD-10 章(3,5,7,8,11,12,14,15,16,17,18,19)の標準病名に対し、ICD-11 とのマッピング作業を行った。また、この ICD-11

コーディングを行う上で注意すべき点や問題点について分析を行った。

尚、本研究では倫理面への配慮は必要としない。

C. 研究結果

C-1) 標準病名マスター中の病名の ICD-11 コーディング

昨年度に引き続き標準病名マスターの個々の病名に対し、必要に応じて Post-Coordination を用い、ICD-11 コードにて表現する作業(ICD-11 コーディング)を行った。全体としては非常に膨大な作業であり、効率化のため標準病名約5万語のうち、同義語ではなく「代表表記」と区分されている約2万語に対する作業を行った。今年度は昨年度に作業が完了しなかった2章並びに、新規の12個の章を対象とした。以下に ICD-11 コーディング対象数と作業完了数を昨年度結果と共に示す。(作業完了数/コーディング対象数)

[昨年度実施分]

- ・1章(感染症) (1,029 / 1,209)
- ・2章(新生物) (130 / 3,115)
- ・4章(内分泌) (870 / 870)
- ・6章(神経) (650 / 650)
- ・9章(循環器) (712 / 712)
- ・10章(呼吸器) (371 / 371)
- ・13章(筋骨格) (1,690 / 1,690)

[今年度実施分]

- ・2章(新生物) (2,285 / 3,115)
(※昨年度作業と合算)
- ・3章(血液免疫) (329 / 329)
- ・5章(精神) (749 / 749)
- ・7章(眼) (798 / 798)
- ・8章(耳) (188 / 188)
- ・11章(消化器) (818 / 1,267)
(※歯科領域を除いた分のみ作業完了)
- ・12章(皮膚) (637 / 637)
- ・14章(尿路性器) (536 / 536)
- ・15章(妊娠産褥) (463 / 463)
- ・16章(周産期) (291 / 291)
- ・17章(先天異常) (1,098 / 1,098)
- ・18章(症状所見) (1,153 / 1,153)
- ・19章(損傷中毒) (4,472 / 4,472)

2章は分量も多く、また ICD-10 からの分類体型の考え方の変更により特に作業難しい章であり、診療情報管理士の資格を持ち ICD コーディングの専門家である研究協力者の協力を仰いでも本年度で作業を完了させることができなかった。また11章の消化器についても、医科領域の病名を優先し、歯科領域はまだ作業が行えていない。しかし上記の例外、並びに20~22章(外因、保健サービス、特殊目的)といった補足的な章を除いては、全ての章に渡り、ほぼ全ての標準病名の ICD-11 コーディングが完了している。未作業の箇所と作業結果の揺れを修正するための見直し作業については令和4年度研究にて行う予定である。

C-2) 2種類の ICD-11 コーディング

コーディング作業においては、各々の標準病名に対し以下の2種類の対応付けを行った。

- (1) Foundation 中のエンティティの URI(固有の ID)との対応付け
- (2) MMS (Mortality and Morbidity Statistics Linearization) の粒度における対応付け

MMS は Foundation 中の限られた概念のみが選択されており、粒度としては粗いものである。従って、仮にある標準病名が Foundation 中のある用語と一致したとしても、それが MMS に含まれていなければ、より粗い粒度の MMS 用語と対応付けざるを得ず、もしその標準病名の概念を完全に MMS で表現しようとするならば、Post-Coordination を利用する必要がある。

例えば、

「**A群連鎖球菌敗血症**」(標準病名) は Foundation 中の用語としては **“Sepsis due to Streptococcus, group A without mention of septic shock”** (<http://id.who.int/icd/entity/126483251>) と完全一致している。()内は URI である。しかし、MMS ではこの語は採用されておらず、**1G40 “Sepsis without septic shock”** の粒度までしか存在しない。従ってこの標準病名を MMS の粒度レベルで表現しようとする **XN6LP “Streptococcus, group A”** という X 章における修飾語と組み合わせて、**1G40 & XN6LP** という Post-coordination 表現にする必要がある。

つまり、**A群連鎖球菌敗血症**は、

A群連鎖球菌敗血症 (ICD10: A400)
= <http://id.who.int/icd/entity/126483251>
(ICD-11 Foundation レベル)
= **1G40 & XN6LP**
(ICD-11 MMS レベル)

の2通りのコーディングとして表現される。元来この病名に付与されている ICD-10 コード A400 はこの病名概念が含まれる「より粒度の粗いカテゴリ」のコードであるが、ICD-11 になることにより、もっと詳細な病名自体が持つ概念粒度と等価なコーディングを行うことができる。ただしこの方法が **Foundation レベルと MMS レベルで2通りある**、ということである。

一方、MMS レベルの Post-coordination、あるいは粒度の細かい Foundation の用語を用いても、標準病名の意味粒度の方が細かく、対応付けできない事例も存在した。このような場合は ICD-11 の表現力をもって等価な表現はできず、病名より粒度が粗い表現に留めざるを得なかった。

例えば、**痛風発作 (ICD10: M1009)** は

(ICD-11 Foundation レベル)
<http://id.who.int/icd/entity/526468865>
(ICD-11 MMS レベル)
FA25.2Y Other specified gout without specification whether primary or secondary

までとの対応付けが限界であり、これ以上細かなコーディングは行えない。このような事例も多く存在した。

以上のように、本作業においては **(A) Foundation レベル、MMS レベルのそれぞれに対しコーディングを行うと共に、(B) 標準病名と ICD-11 コーディング結果の「概念としての包含関係」、さらに(C) 対応付けの確信度**についてもアノテーションを行った。

(B) は、可能な限りの Post-Coordination を行った結果、概念として完全に等価となったかどうか、を示すものであり、

「標準病名 (包含関係) ICD-11 コード表現」
として、包含関係を

< : 標準病名の方が粒度が細かい
= : 完全に意味的に等価である
> : 標準病名の方が粒度が粗い

として表現したものである。

例えば、標準病名である「膵内胆管癌 (ICD10:C240)」は、X 章の詳細な部位コードを用いても、膵内胆管という区分が存在しないため、

「胆道・遠位胆管の悪性新生物」
(ICD-11 Foundation レベル)
<http://id.who.int/icd/entity/1707654227>
(ICD-11 MMS レベル)
2C15.Z Malignant neoplasms of biliary tract, distal bile duct, unspecified

以上の詳細な Post-coordination は困難であり、「病名 < ICD-11 コード表現」(病名の方が概念粒度が細かい)として表現されている。

また、(C) 確信度については、1: 完全に自信あり、2: 少々の疑義がある、3: 自信なし、後で見直す際の参考情報、というように数字が大きいかほど確信度が少なくなるような仕様となっている。

MMS については Post-Coordination の記法が定められており、“STEM/STEM”、“STEM & Extension”と“/”や“&”を用いて表現することが可能である。一方、Foundation については、WHO は Post-Coordination の記法を定めていない。しかし標準病名の概念となるべく同じように近づけるためには Foundation 中の概念についても Post-Coordination を用いる必要があった。そこで本研究では、**MMS と同様の記法を用いて、Foundation 粒度のコーディングにおいても Post-Coordination を採用している。**

これらの詳細な作業結果については、「**【別添資料 2】標準病名の ICD-11 コーディング結果を参照されたい。**

(各章の先頭 5 ページのみを抜粋して示している。)

D. 考察

[標準病名との対応付けの現状]

標準病名の ICD-11 コーディングについては代表表記であるものに限定し、同義語については作業を行っていないが、一部の未作業部分を除き、ほぼ全ての標準病名について第 1 段階のコーディング作業が完了している。また代表表記

の病名に対する ICD-11 コーディングが可能であれば、同義語についてもほぼ同様のコーディング結果となると考えられる。これまで様々な観点から ICD-11 に関する分析研究がなされているが、既に国内に標準用語集を有する場合にそれとの整合性を分析するという観点での研究は十分に行われていない。我が国においては、電子カルテ環境にて広く普及が進む厚生労働省標準規格である標準病名マスターとの整合性を取ることは ICD-11 導入のため必須の課題であり、その意味でも本研究の成果は極めて貴重なリソースである。

ICD-11 コーディングは Post-coordination の柔軟性のため、慣れていないと同一概念に対するコーディング方法が複数あるように見えてしまい、作業結果にブレが生じやすい。今年度を通じて、作業グループとの度重なるミーティングにて作業方針の擦り合わせを行ったが、作業者の理解の進展に従い以前に作業した結果の修正が必要になったケースも多数存在する。従って、今後未作業の領域に対するコーディングと共に、これまでの作業結果の見直しによる質向上作業が必須である。しかしながらこれも含め、次年度作業にて標準病名マスター病名と ICD-11 との対応付けが一通り完了する予定である。

国内の電子カルテにて広く利用されている標準病名マスターと ICD-11 との対応付けが完了すれば、ICD-11 の国内導入に向けて大きく前進すると考えられる。ただし、現状検討しているのは標準病名マスターから ICD-11 への対応付けであり、逆方向、すなわち ICD-11 Foundation の和訳(約 10 万)の中で、標準病名マスター(約 5 万)に含まれない疾患用語も大量に存在する。これをどのように標準病名マスターに取り込み、統合していくかについては別途継続的な検討課題である。

[ICD-11 コーディングを行う際の知見]

昨年度・本年度の研究を通じ、具体的な事例を元に作業協力者と共に議論を行ったことにより、標準病名と ICD-11 との対応付けを行う際の知見が集積された。以下、ポイントをまとめる。

① ICD-11 の粒度や分類体系として ICD-10 との考え方の違いに由来する問題

標準病名の「大網消化管間質腫瘍」「腸間膜消化管間質腫瘍」は、消化管外間質腫瘍という概念であり、GIST とは異なる EGIST と呼ばれることが報告されている。GIST を頼りに Post-Coordination を行おうとしても、部位として選択ができない。消化管の外であるためこれは自然である。しかし、EGIST の概念自体が ICD-11 に含まれていないため、結果的に EGIST 系のコーディングが困難である。同様の事例は多く存在する。

また現行の標準病名マスターは ICD-10 のリリースの際に親和性を持たせて作成された経緯があるため ICD-11 において新しく新設された概念や分類体系の変更により、疾患概念の ICD-11 への対応付けが困難である事例が多数見られた。これらの多くは古い疾患概念に基づく病名で、非常に広範囲のものをカバーする「グループ名称」であるような病名が多い。これをいつまで標準病名に残しておくかという点も課題として挙げられた。特に精神科領域では今は使わない病名が多く残されている。このことから「現在では病名として不適切」という列を設け、標準病名マスター側から削除すべき病名についてはフラグを立てている。

② 身体部位(X章:拡張コード)の粒度に由来する問題

標準病名「唾液腺癌」において、唾液腺は「顎下腺」と「舌下腺」を含む。しかし ICD-11 の 2B68.Z は「顎下腺または舌下腺の悪性新生物、詳細不明」となっており、部位の Post-Coordination では「顎下腺」と「舌下腺」のどちらかしか選択できず、両者にまたがる「部位」ということが表現できない。このような場合、「顎下腺」と「舌下腺」の両者を選択することは誤りである。なぜならば、Post-Coordination は A&B&C と表記することで A, B, C の共通部分に絞っていく(積集合)の考え方を採っているため、「顎下腺&舌下腺」とすると「そのような身体部位領域は存在しない」ということになってしまうからである。このような場合は部位の Post-Coordination として「XA5T23 Salivary

gland apparatus(唾液腺装置)」を選択するしかない。同様に複数の部位にまたがるグループ概念については「予めそれが用意されていない限り」Post-Coordinationにて表現する手段がない。

例えば、標準病名「上腕悪性末梢神経鞘腫」のコーディングの際に「悪性末梢神経鞘腫」をMMSで検索すると、部位のPost-Coordinationとして細かな神経を選ぶようSuggestされる。しかし「上腕部抹消神経」という括りは存在せず、以下の6つの細かな神経が提示される。

XA7K97 Medial cutaneous nerve of arm

XA2XU7 Posterior cutaneous nerve of arm

XA6166 Lateral cutaneous nerve of forearm

XA26F7 Medial cutaneous nerve of forearm

XAOKL7 Posterior cutaneous nerve of forearm

XA6B07 Superior lateral cutaneous nerve of arm

これらをまとめた「上腕部の末梢神経」という概念が存在しないため、結局部位のPost-Coordinationをすることができない。

同様に「頸部血管肉腫」についても、血管は上位の方でまず動脈、静脈に分けられているため

「頸部血管」というエンティティが存在せず、コーディングができない。血管と神経についてはこのような問題が顕著であった。

③ ICD-11のPost-Coordinationの記法の限界に由来する問題

上記の②と関係する問題であるが、現行ICD-11でのPost-Coordinationの記法では‘/’や‘&’を用いても論理的にはANDの表現のみが許されており、ORが表現できない。そのため複数のICD-11エンティティにまたがる概念や複数のエンティティをまとめたグループ概念を表現する病名についてはコーディングが原理的に困難である。

歴史的経緯で今は細分化されているが、昔は区分粒度がもっと粗かった疾患も存在する。ある程度古いものは、obsoleteにするべきと思われるが、いきなり変更するのが難しい、あるいは古い病名も現場で用いられることが多い領域ではある程度古い病名を残す必要もある。

例えば、「純粋性腺形成異常症」(pure gonadal dysgenesis、標準病名: 20064340, ICD10: Q991)

は、46XY, 46XXの両方のパターンがある。しかし、ICD11では、Foundation, MMS共に46,XX pure gonadal dysgenesis (LB45.1), 46,XY gonadal dysgenesis (LD2A.1)に分かれてしまっており、両者を統合して表現する手段がない。

(これらをまとめる上位概念も存在していない)同様の事例は多数あり、

LB45.1 | LD2A.1 など ORを表現する手段が現状のPost-Coordinationの仕組みにないことが原因である。このような場合、国内での独自記法の導入か、古い病名については標準病名マスターから削除する、といった対応が必要と考えられ、実際の導入時には課題と考えられる。

その他詳細については「**【別添資料1】標準病名のICD-11コーディングに際しての注意点(作業報告レポート)**」を参照されたい。細かな点については作業協力者の理解度の違いや今後の作業結果見直しによってアップデートされるべき点も多く含まれているかもしれないが、診療情報管理士のスキルを持つ専門家の「一定の期間での理解」を反映した貴重な結果であることから基本的に原文のまま記している。

[ユースケースによる粒度の使い分け]

1つの標準病名に対するICD-11コーディングが複数レベルで行える、ということの重要性は特定の目的(例えば、公的な死亡統計という特定の目的)のみを論じている場合には軽視されがちである。しかしながら、WHOがICD-11にて目指す主要な目的の1つは「Multi-Purposeでの利用を志向した適切な粒度での複数のコーディング手段を提供すること」であり、公的統計用途に粗い集約が為される粒度はもちろんのこと、より詳細な粒度が必要な研究用途のコーディングも想定されている。

実際、本年度の研究結果から、標準病名を対象とした場合であっても、Post-Coordination(コードの合成)を用いてFoundationレベル、MMSレベルと複数の表現が可能であった。このような複数のレベル・粒度のコーディングはその目的に応じて使い分けられるべきであり、今後ユースケースに基づいた粒度設定の議論が必要と考えられる。

例えば、Foundation レベルの (URI を用いた) Post-Coordination コーディングは最も粒度が細かいが、これは国の公的統計 (死亡・罹患) として用いられることは想定しづらく、細かな粒度が必要な研究用途に用いられると考えられる。また、MMS レベルのコーディングについても、目的に応じて必要な粒度を選定し、それ以上に細かな Post-Coordination については捨象する、という線引きが必要と考えられる。

例えば、「第3足趾末節骨開放骨折」は、ICD-10 では **S9251** (その他の趾<足ゆび>の骨折・開放骨折) であった。これが今や ICD-11 では病名自身が持つ概念粒度を、**ND13.5 & XA38Q1 & XJ7YM** (Fracture of other toe & Distal phalanx of third toe & Open fracture) として Post-Coordination により 完全に等価に表現可能である。しかし、国の公的統計 (死亡・罹患) においてここまでの粒度は必ずしも必要ではないと考えられ、その場合は例えば **ND13.5** 程度に丸めて集計する、という方針になると考えられる。しかしながら研究用途において、**"ND13.5 & XA38Q1 & XJ7YM"** というコーディングが有用な場面も多数あるであろう。

このように、ユースケースごとのコーディング粒度設定は、今後 ICD-11 を我が国に導入する際には非常に重要である。将来的には、次世代の標準病名マスターは、(1) Foundation レベルの Post-Coordination コーディング、(2) MMS レベルの Post-Coordination コーディング、(3) MMS レベルの公的統計用の粗いコーディング (Post-Coordination の結果から、必要な主要コードが選択された結果)、の全ての粒度を含め、用途の応じて必要な粒度を選択して出力する仕組みを備えるべきだと考えられる。

その点で本研究では、複数のレベルでコーディングすることによって、後に研究・公的統計・診療報酬請求など様々な用途で異なる粒度のコードが選択できるようにしている点で極めて貴重なリソースとなると考えられる。

さらに、本厚労科研班全体の目標は、公的統計への影響分析である。ICD-10 と ICD-11 のカテゴリは必ずしも 1 対 1 対応ではなく、多対多対応

であることも多い。従って、ICD-10 ベースで集計された統計データが ICD-11 ベースでどのように変化するか、を分析するためには カテゴリベースの集計分析では不十分で、病名単位の粒度での解析が必要である。その場面においても、本分担研究の成果は活用可能であると考えられる。例えば、現在 ICD-11 導入の死亡統計への影響を調査するため統計法 33 条に基づいた死亡票情報の提供を受け分析準備中であるが、年間 130 万件に及ぶ死亡票を全て ICD-11 ベースで人手解析し直すことは現実的ではない。その際に、自由入力病名に対し、すでに標準病名ベースで ICD-11 コード付けが行えているものについてはこれを適用することで、ICD-10 ベースの確定原死因コードを ICD-11 ベースに自動変換することができ、大幅な効率化が図れると考えられる。

次年度では、「死亡票中の自由入力病名が全て標準病名マスターにてコーディングできるもの」(これまでの筆者の知見では全体の 8 割である) を対象とし、原死因として選択されたであろう病名についてこれまでの作業で既に付与された ICD-11 コードを適用することで、病名単位の死亡統計の影響分析へ繋げていく予定である。

このように本研究成果は、ICD-11 の国内診療現場への導入を円滑化するために必要不可欠なリソースであるのみならず、研究班全体の目標の効率化にも活用可能な基盤リソースとなると期待され、最終年度にはこれまでの成果を元にこの詳細分析を行う予定である。

E. 結論

本年度研究では、ICD-11 の国内導入における既存標準用語集との整合性確保のため、標準病名マスターと ICD-11 とのマッピングをほぼ全章の病名に対し完了した。標準病名と ICD-11 日本語版 (仮) と完全一致するものは少数であったが、一致しないものを対象に Post-Coordination を用いた ICD-11 コーディングを行った。結果としてほぼ全ての ICD-10 の章の標準病名について、MMS レベル、Foundation レベルなど複数の表現レベルでのマッピング作業が完了した。本研究により標準病名マスターの ICD11 化に向けた重要な知見が得られただけでなく、その成果は公的統計への影響分析を加速化する目的にも活用可能

な貴重なリソースである。今後、全研究期間において標準病名マスターと ICD-11 との対応付けを完了させ、国内診療現場への導入準備を整えていく予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 小川俊夫, 滝澤雅美, 今井 健, 高橋幸恵, 坂本幸平, 小松雅代, 向野雅彦, 今村 知明. わが国の公的統計への ICD-11 適用の影響に関する一考察 ～ICD-11 準拠の死因 簡単分類構築の試行と影響分析～. 医療情報学 41 (Suppl.):660-664, 2021.

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

別添資料 1 : 標準病名の ICD-11 コーディングに際しての留意点 (作業者レポート)

ICD-11 コーディング作業について

2022 年 3 月 11 日

坂本 千枝子

1. コーディング担当分

- ① 10 月 4 日～10 月 28 日 : C30-C39 呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物 89 件
- ② 11 月 1 日～11 月 29 日 : C45-C49 中皮および軟部組織の悪性新生物 192 件
- ③ 12 月 6 日～12 月 27 日 : C60-C63 男性生殖器の悪性新生物 42 件
C64-C68 尿路の悪性新生物 22 件
- ④ 1 月 6 日～1 月 28 日 : C79.6 卵巣の続発性悪性新生物-C88 悪性免疫増殖性疾患
129 件
- ⑤ 2 月 1 日～2 月 10 日 : C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞新生物-C96 リンパ
系、造血系および関連組織の他の不特定の悪性新生物 68 件

以上 計 542 件

2. 作業にあたり難しかった点、気づいた点等

以下、F: Foundation M: MMS で示します。

2-1 C34 気管支および肺の悪性新生物

① Non-small cell lung cancer コーディング時の注意点

F: 「非小細胞肺癌」という一次選択肢がある

M: 「気管支または肺の他の特定の悪性新生物」の Post-coordination で

Histopathology に「Non-small cell」を入れると、「XH2435 扁平上皮がん、小細胞、非角質化」が出てくる。Search に「Non-small cell」を入れると、「XH1DU4 非小細胞癌」が出る。

ちなみに、Search に「Non small cell」(-なし)を入れると、

2C25.Y Other specified malignant neoplasms of bronchus or lung

Non small cell lung cancer

と表示される。

→ これでは、「非小細胞がん」が Histopathology にないと勘違いしてしまうので、

注意が必要。

② 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌、融合遺伝子陽性非小細胞肺癌、融合遺伝子陽性非小細胞肺癌 の遺伝子情報が **F**、**M** 共にみつけれない。これから、このような遺伝子関連の情報は増えると思われる。

E G F R 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌

R O S 1 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌

A L K 融合遺伝子陽性非小細胞肺癌

2-2 今井先生と決めた「PN : Problem nerve」、 「PB : Problem Blood vessel」、 「PEG : Problem EGIST」の区分で分類した問題点

① [PN] 神経の区分が細かく、post-coordination できないため保留

(例) C47 末梢神経および自律神経系の悪性新生物

悪性末梢神経鞘腫 は、部位の post coordination の時に、各神経を選ぶことになっている。(MMS でそう suggestion される)

しかし、一部の神経については(頸部神経、大腿神経 とか)は選べるが、上腕神経、肩部神経 などは神経の分類が細かくなりすぎており、選ぶことができない。

例えば、arm で検索すると下記の6つから選ばされることになり、これらをまとめた「**上腕部の末梢神経**」という概念の括りが必要と思われる。

XA7K97 Medial cutaneous nerve of *arm*

XA2XU7 Posterior cutaneous nerve of *arm*

XA6166 Lateral cutaneous nerve of *forearm*

XA26F7 Medial cutaneous nerve of *forearm*

XA0KL7 Posterior cutaneous nerve of *forearm*

XA6B07 Superior lateral cutaneous nerve of *arm*

② [PB] 血管の区分がまず動脈と静脈で分かれ、post-coordination できないため保留

(例) C49 他の結合組織および軟部組織の悪性新生物

血管肉腫 は、部位の post coordination の時に、各血管を選ぶことになっている。

(MMS でそう suggestion される)

しかし、Specific anatomy では動脈と静脈に分かれ、さらに各部位が細かく分類されている。

例えば、「頸部血管肉腫」の場合、「**頸部の動脈**」だけで下記のように細かい分類になっている。「**頸部の静脈**」も同様。よって、「**頸部の血管**」という概念の括りが必要と思われる。

XA4TS7 Artery of head, face, and neck

XA2B10 Anterior communicating artery

▽XA2QF4 Anterior ethmoidal artery

XA00K1 Anterior meningeal artery

XA1GU9 Anterior superior alveolar artery

XA2505 Artery of pterygoid canal

▽XA9AD7 Carotid artery

XA5SN3 Cerebellar artery

▽XA13S2 Cerebral artery

XA2UK9 Costocervical trunk

XA7SK1 Deep auricular artery

XA1NY7 Deep cervical artery

③ [PEG] EGIST 系が、GIST:消化管間質腫瘍でしか選択肢がなく、post-coordination
できないため保留

(例) C48 後腹膜および腹膜の悪性新生物

標準病名の「大網消化管間質腫瘍」「腸間膜消化管間質腫瘍」は、**消化管外間質腫瘍**という概念であり、GIST とは異なる EGIST と呼ばれることが報告されている。

「大網原発転移性消化管外間質腫瘍：Extragastrintestinal Stromal Tumor」

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjgs/43/9/43_43.976/pdf

本来、標準病名側も、大網や腸間膜は「消化管外間質腫瘍」などの選択肢を設けることが必要と思われる。

2-3. ご教授いただきたいコーディングについて

① 悪性新生物が原因で他章に分類される疾患（症状）が起こった場合の、コーディングについて

例 1) N6250 透析腎（C64 腎盂を除く腎臓の悪性新生物）

他疾患を併存する場合は「/」を使うため、以下のようにコーディングした。しかし、URI の「/」との区別がわかりにくいです。

F: 腎盂を除く腎臓の悪性新生物 / 透析への依存

<http://id.who.int/icd/entity/1048613131/>

<http://id.who.int/icd/entity/1638226305>

M 腎盂を除く、腎臓の悪性新生物、詳細不明 / 腎透析への依存

2C90.Z/QB42

例 2) №6938 癌性心膜炎 (C79.8 他の特定の部位の二次性悪性新生物)

→ICD-10 では、二次性悪性新生物として「心膜炎」が起きたコードですが、「心膜炎」は原因となったがん疾患の影響で起きた症状と考えられます。

この場合、2章ですが「循環器系の疾患」から主病名を選択してもよいのでしょうか？

② 転移性がん疾患のコーディングについて (C79.8 他の特定の部位の二次性悪性新生物)

例 1) №6923 「転移性卵巣癌」のように、転移先が選択肢にありますが、原発巣のコーディングはどのように表記するのでしょうか？

F: 卵巣における悪性新生物転移& 原発巣 (または、原発不明)

M: 卵巣における悪性新生物転移& 原発巣 (または、原発不明)

例 2) №6981 「卵巣癌全身転移」は、原発が「卵巣癌」で転移先が「全身」です。この場合、コーディングはどのように表記するのでしょうか？

F:悪性新生物転移、不特定の部位&卵巣癌原発

M:悪性新生物転移、詳細&卵巣癌原発

2-4. その他難しかった箇所、迷った箇所

- ① C81-C96 リンパ系、造血系および関連組織の、原発性であると述べられている、または推定される悪性新生物は、ICD-10 同様コーディングが難しかったです。
- ② Anaemia in neoplastic disease of **unknown** behaviour か？ Anaemia in neoplastic disease of **uncertain** behaviour か？ どちらを選択すべきか迷い、「**uncertain**」を選択しました。
- ③ post-coordination の **Specific anatomy** の **Search** 機能では選択肢に無い場合でも、左側の **Search** 機能で見つかるものが多いことに、当初気づかなかった。
- ④ MMS に反映される **Foundation** の **URI** がもっと増えるとコーディングも進めやすくなると思います。

3. 今後の ICD-11 の日本導入に向けての意見

1. 標準病名を利用する場合、Foundation と MMS の選択肢の粒度はある程度揃えた方がいいと思います。
2. 原死因の統計に利用するためには、2章では「転移性〇〇がん」に加えて、原発巣を明確にしておく必要があると思います。
3. コーディングの定義や解釈等について容易に確認できる SNS のような仕組みがあると、便利だと思います。
4. 日本語版は必要だと思います。

ICD-11 コーディング作業について

2022年3月10日

伊藤 由美

1. コーディング担当分

ICD-10	中間分類項目	作業期間 (およその実日数)	件数
	作業内容；標準病名の英訳、ICD-11 コーディング、システム入力		
C00－C14	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	11/23～12/2 (1W 程度)	89
C15－C26	消化器の悪性新生物<腫瘍>	10/23～11/21 (2W 程度)	181
C43－C44	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	12/3～1/15 (2W 程度+ α)	302
C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>	1/17～1/21 (2日)	29
C51－C58	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	1/22～1/24 (3日)	44
C69－C72	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>	1/27, 2/3～2/6 (5日程度)	113
C73－C75	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	1/29 (1日)	19
C76－C79.5	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	1/30～1/31, 2/10～2/16 (8日程度)	122
上記すべての中間分類項目の見直しと修正入力		2/25～3/31	
合 計			899

2. 作業にあたり難しかった点、気づいた点等

2-1. 作業方法と手順について

1) 作業手順

- ①Chap02 ダウンロード後、Excel シートにまとめて入力
- ②標準病名の英訳
- ③Foundation コーディング
- ④MMS コーディング
- ⑤確信度・関係の選択
- ⑥Excel シートから Chap02 システム転記入力
- ⑦入力後、コーディング再確認と修正

2) 検索方法

- ①フルネーム検索からキーワードを絞り込む。
- ②「Search」だけに頼らず、コード体系・構造も展開させて、標準病名に近いコードを探す。
- ③検索でヒットしない場合は標準病名・部位を再英訳する他、疾病・部位の詳細について調査を行い、再度検索する。

2-2. コーディング作業で注意すべき点 (コーディングの基本)

- ① 基幹（ステム）コードと部位・病理組織等の X テンションコードを正しく認識する。
- ② 基幹コードの病名に部位・病理組織が含まれる場合は、X テンションコードを追加（重複）入力しない。

2-3. 解剖学的構造での注意点

1) 【複数の部位を含む解剖学的構造の選択】

- ・ 部位を複数選択すると概念が狭まるため、複数部位を示す場合の解剖学的構造は 2 部位ではなく、上位概念の 1 部位を選択する。

【例】 3488 唾液腺癌

・ 「唾液腺」は「顎下腺」と「舌下腺」を含む。唾液腺癌の ICD-11 ブラウザーでは、2B68.Z 顎下腺または舌下腺の悪性新生物、詳細不明がヒットする。「顎下腺または舌下腺の悪性腫瘍」のため、特定の解剖学的構造には、Submandibular gland(顎下腺)と Sublingual gland(舌下腺)が明示される。顎下腺・舌下腺のように 2 部位を選択しがちだが、上位概念の XA5T23 Salivary gland apparatus(唾液腺装置)をコード検索して再選択する。特定の解剖学的構造の画面に表示されない部位を選択することは OK である。

2) 【部位の粒度選択の問題】

- ・ 皮膚の悪性新生物の部位は皮膚であり、解剖学的構造は皮膚になる。但し、皮膚がない部位もある。また、上位概念に皮膚が包含され、皮膚が特定されない場合は構造上の部位を優先する。

【例】 4664 鼻翼悪性黒色腫

・ 鼻翼の悪性黒色腫。鼻翼は鼻翼の皮膚と捉えるべきである。鼻翼は構造上は Ala nasi として存在しているが、並列して皮膚だけを集めた skin of nose が存在する。厳密には鼻の構造物である鼻翼の皮膚は skin of nose の下位概念として捉えられるが（鼻翼の皮膚は skin of nose に含まれる）、それよりも「鼻翼」としてコーディングした方が情報量が多いと考えられるため、敢えて「鼻翼」の方にコーディングする。解剖学的構造が鼻翼の皮膚ではないので、関係を「<」で表記する。

2-4. 病理組織学での注意点

1) 【皮膚悪性腫瘍：有棘細胞癌のコーディング】

- ・ 皮膚扁平上皮癌（Squamous cell carcinoma）の foundation は face,neck,trunk,arm,leg のように部位ごとに分類されている。顔、首、腕、脚、体幹に該当する場合はこれらを選択し、該当しない場合は上位概念の Squamous cell carcinoma を選択する。
- ・ MMS も部位ごとに皮膚扁平上皮癌は分類されているが、コードがすべて共通のため MMS は 2C31.Z 皮膚扁平上皮がんになる。

2) 病理組織型の違い

【例】 4754, 4757 口唇の基底細胞癌⇒唇表皮の基底細胞癌ととらえる。

- ・ Foundation: <http://id.who.int/icd/entity/2044047639> 唇の基底細胞がん
- MMS: 2B60.0 唇の基底細胞がん

ICD-10 C00 に該当する

・ Foundation: <http://id.who.int/icd/entity/1203447657> 皮膚の基底細胞がん

MMS: 2C32 皮膚の基底細胞癌（唇の皮膚の基底細胞癌含む）

ICD-10 C44 に該当する

【上記の類似例】 口唇の有棘細胞癌

3) 病理組織構造によるコーディング

①腺様のう胞癌の大分類は腺癌のため、基幹コードは「口蓋の悪性新生物」ではなく「口蓋の腺癌」を選択する。

【例】 3374 硬口蓋腺様のう胞癌

・ <http://id.who.int/icd/entity/917590633>(口蓋の腺癌)&<http://id.who.int/icd/entity/523484767>(硬口蓋) &<http://id.who.int/icd/entity/2127202862>(アデノイド嚢胞癌)

・ MMS 2B65.0(口蓋の腺癌)&XA4527(硬口蓋)&XH4302(腺様嚢胞癌)

②乳癌の浸潤性乳管癌は3型（乳頭腺管癌・充実腺管癌・硬癌）に分類される。

【例】 5903 乳頭腺管癌 浸潤性乳管癌&乳頭腺管癌

【例】 5914 乳腺充実腺管癌 浸潤性乳管癌&乳腺充実腺管癌（検索で乳腺充実腺管癌はヒットしない）

【例】 5883 乳腺硬癌 浸潤性乳管がん&硬性腺癌

2-5. 臨床上での注意点

1) カルチノイドのコーディング

・カルチノイドでは検索できないものが多い。神経内分泌細胞が腫瘍化したものを神経内分泌腫瘍（NET）といい、悪性度の低いものに関してカルチノイドと呼ぶ。カルチノイドは神経内分泌腫瘍の悪性度の低いもの（グレード1）としてコーディングする。

【例】 Foundation 各部位の神経内分泌腫瘍&<http://id.who.int/icd/entity/1609609938> 神経内分泌腫瘍、グレード1

【例】 MMS 各部位の神経内分泌腫瘍&XH9LV8 (&Neuroendocrine tumor, grade 1)(神経内分泌腫瘍、グレード1)

2) 消化管間質腫瘍

① 【例】 4179 K I T (C D 1 1 7) 陽性消化管間質腫瘍

・ Foundation <http://id.who.int/icd/entity/819644414> 消化管間質腫瘍、原発部位

【説明】 一般的に CD117 (KIT) に対して免疫組織化学的に陽性で、表現型的にはカハール細胞の分化と平行して、ほとんどの例には KIT または PDGFRA を活性化する変異が含まれている。

・ MMS 2B5B 消化管間質腫瘍、原発部位

【説明】 Foundation と同様

・消化管間質腫瘍、原発部位に K I T (C D 1 1 7) 陽性が含まれるが、100%ではないため、関係は「=」ではなく、「<」を選択する。

② 【例】 4180 イマチニブ耐性消化管間質腫瘍

- ・分子標的薬を付記した分類コードがないため、消化管間質腫瘍の分類コードにして、関係を「<」選択する。

3) 同じ表記の病名・部位の選択での疑問点

① 【例】 5958 外陰部の扁平上皮がん 下位概念を選ぶべきか？

上位概念 <http://id.who.int/icd/entity/146824338> 外陰部の扁平上皮がん

Squamous cell carcinoma of vulva

-外陰部の疣贅扁平上皮癌 他

下位概念 <http://id.who.int/icd/entity/1805507857> -特に明記されていない外陰部の扁平上皮がん

Squamous cell carcinoma of vulva, not otherwise specified

② 【例】 5971 子宮頸管癌 5998 子宮頸癌 下位概念のどちらを選ぶべきか？

上位概念 <http://id.who.int/icd/entity/1256072522> 子宮頸部の悪性新生物

Malignant neoplasms of cervix uteri

下位概念 <http://id.who.int/icd/entity/597674880> -子宮頸部の原発性悪性新生物

Primary malignant neoplasm of endocervix

違いがわからない

【同義語】 子宮頸がん

<http://id.who.int/icd/entity/1119598827>

-子宮頸部の原発性悪性新生物

Primary malignant neoplasm of endocervix

③ 【例】 6000 子宮頸部微小浸潤癌 部位は子宮頸部と特定されているが、下位概念を選ぶべきか？

上位概念 <http://id.who.int/icd/entity/1544785014> 子宮頸部の扁平上皮がん

下位概念 <http://id.who.int/icd/entity/527663527> 部位不明の微小浸潤性扁平上皮癌

④ 原発性悪性新生物+続発性悪性新生物のコーディング

【例】 6839 胃癌骨転移 6845 乳癌骨転移

骨転移のみでOKか？それとも骨転移&癌腫（病理組織学）の2つを&でコーディングするのか？

【例】 6911 リンパ性白血病骨髄浸潤は骨髄浸潤（続発性）&リンパ性白血病と考えられる

・ Foundation <http://id.who.int/icd/entity/186763432> 骨または骨髄における悪性新生物転移

<http://id.who.int/icd/entity/1086407971> 骨髄

<http://id.who.int/icd/entity/1301904441> リンパ性白血病、NOS

・ MMS 2E03 骨または骨髄における悪性新生物転移

XA9XK1 (&Bone marrow)(骨髄)

XH1GQ1 (&Lymphatic leukaemia, NOS) (リンパ性白血病、NOS)

・ Foundation MMS「骨または骨髄における悪性新生物転移」骨髄を特定するために、解剖学的構造の「骨髄」コードは付記するでよいか？

⑤ 【例】 6657 頸部神経芽腫 不特定部位で「頸部」を追加できるか？

- ・ Foundation <http://id.who.int/icd/entity/1822312964> 不特定部位の神経芽細胞腫

2-6. Foundation と MMS の違い

1) Foundation の方が精緻に分類されている。

【例】 頬の皮膚

- ・ <http://id.who.int/icd/entity/1933135899> 頬の皮膚
- ・ MMS XA86S4 フェイス (頬の皮膚含む)

【例】 3767 十二指腸ガストリノーマ (神経内分泌腫瘍)

- ・ <http://id.who.int/icd/entity/1429857069> 十二指腸の他の特定の神経内分泌腫瘍&ガストリノーマ
- ・ MMS 2B80.01 十二指腸の神経内分泌腫瘍

Foundation ように MMS には十二指腸の他の特定の神経内分泌腫瘍がないので、2B80.01 十二指腸の神経内分泌腫瘍&ガストリノーマになる

2) Foundation での分類と MMS での分類が異なるケースがある。

- ・ 日本語表記・Foundation で異なる部位が MMS では包含される。

【例】 3357 正中型口底癌 解剖学的構造：<http://id.who.int/icd/entity/564649693> 口の前床

MMS XA8EY7 口の床(口の前床含む) 口の床(口の前床(正中型)含む)

【例】 3360 側方型口底癌 解剖学的構造：<http://id.who.int/icd/entity/798486415> 口の横床

MMS XA8EY7 口の床(口の横床含む) 口の床(口の横床(側方型)含む)

- ・ 正中型口底癌と側方型口底癌の MMS は同じコードになる。

2-7. その他コーディング作業で難解な点や問題点

1) 標準病名や病理組織、部位が該当しない場合がある。

- ・ 日本語表記の部位とコーディングソフトの部位が一致しない。狭い範囲(部位そのもの)、あるいは広い範囲から部位を選択することになるが、解剖学の知識がないと簡単にコーディングできない。
- ・ 脳髄膜腫⇒悪性髄膜腫は原発性悪性髄膜腫、または髄膜腫、詳細不明のどちらを選択すべきか？
脳髄膜腫は日本語の部位が検索でヒットしないものが多い。

【例】 6368 傍矢状洞悪性髄膜腫 6371 テント上下悪性髄膜腫 6375 鞍結節部悪性髄膜腫 6376 円蓋部

悪性髄膜腫 6379 蝶形骨縁悪性髄膜腫 6388 小脳橋角部悪性髄膜腫

2) 標準病名の修飾語のコーディングがむずかしい。

【例】 3422 上顎歯肉頬移行部癌 3742 残胃癌 3702 胃重複癌 4735 皮膚境界部悪性黒色腫

5874 異所性乳癌 5878 乳房境界部癌 5884 乳癌術後胸壁再発 (原発手術後+続発)

5899 多発乳癌 5984 子宮断端癌 5989 子宮頸部境界部癌等

3) 【ICD-11 でのマッピング情報】

・ICD-11 でのマッピング情報と MMS Coding が不一致になるケースがある。

【例】脂肪肉腫、肉腫、横紋筋肉腫、悪性間葉系腫瘍、消化管間質腫瘍など（但し、消化器系の肝臓は一致）、皮膚線維肉腫、皮膚の乳房外ページェット病（上皮内がん）

（今井注：WHO が提供する ICD-10 => ICD-11 のマッピングテーブルは「カテゴリ」対「カテゴリ」の対応関係の情報を提供しているが、「カテゴリ」内に含まれる「病名の概念」で考えると、必ずしもそこで示された ICD-11 カテゴリに対応せず、別の ICD-11 カテゴリに相当すると考えた方が妥当であるケースも多い）

4) 同じ表記の病名や部位がある。

ICD-11 の和訳が不完全である。

ICD-11 コーディング作業について

2022年3月24日

坂本 幸平

1. コーディング担当分

- ・作業期間は、2021/3 ～ 2022/3
- ・作業コード数は、692 コード
- ・主な作業箇所は、ICD コードで D375～D489 (ICD-10 準拠)

2. 作業にあたり難しかった点、気づいた点等

- 適切な病名検索ができないとコーディングができない点が難しい。
 - 例) 「多発性内分泌腫瘍2型」を英語翻訳語、翻訳単語を MMS の検索欄に入力するも対象なしの結果になる。
 - そこで、専門的なサイトで医学用語を検索して初めて「Multiple Endocrine Neoplasia Type 2」にたどり着き、初めてコーディングが開始できる。このように、日本で使用する医学用語が医学英語と適切にマッチしないとコーディングにたどり着かないというのが常であり、難しく感じた。
- 明確な病名を性状不詳又は不明のコード（本来は使用が推奨されない）に変換すること
 - マッピングテーブルに記載されている「ICD11 和訳にあった場合の英語」を活用し、MMS で検索をかけると下記の例のように良性もしくは悪性のコードが候補に挙がる。機能としては正しく、通常の現場でのコーディングでは、良性もしくは悪性の判断が第一のコーディング時の分岐点として重要になり、その後、悪性度などの詳細な特定とコーディングに移行する。一方、今回、私が担当した D375～D489 の分野は、性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>であり、いわゆる悪性かどうかなどの情報が一切分からないときに使用するコード内容となり、下記のように検索結果が一般的に使用されるコードを候補すものの、性状不詳又は不明のコードに必ず変換してコードする作業を自身の分担分すべての病名に実施していた。本来は、詳細不明のコードを使用しないように明確な病名をもってコーディングする業務をしていた立場ゆえ、明確な病名に対して詳細不明コードをあえてつけることに難しさと違和感を覚えた。
 - 例) 膵島細胞腫瘍 pancreatic islet cell tumour ⇒①2E92.9 内分泌膵臓の良性新生物、②2C10.1 膵臓の神経内分泌新生物 ⇒2F9A&XH4SH8 (内分泌腺の未知の行動の新生物&インシュリンマ,NOS) というように性状不詳又は不明コードを変換する。
- 一体いくつのコードを繋げればゴールなのか？
 - 本研究では、ICD-11 死因統計表作成に資する病名コーディングを目的に作業をしてきたが、病名が複雑になればなるほど、鎖のようにコードが長く複雑になる。そこで疑問なのは、長く複雑なコードが死因コードを付ける際に必要なのか疑問と判断に迷いながらのコーディングに

なった。例のようなコードは果たして現場で使うのか、細胞の型式までは検死解剖までしない限り特定は困難なのではと判断に迷いながらのコーディングを行った。

- 例) 仙骨巨細胞腫 2F7B&XH4TC&XA14W3 もしくはもっとコードを繋げられる可能性も考えた。

3. 今後の ICD-11 の日本導入に向けての意見

- 今回の作業を通して、日本に導入された場合は、①診療情報管理士を中心に現場でのコーディングに関する混乱が拡大する。②ICD の情報を利活用する行政などでも統計の概念に影響があるなどの理由から混乱が予想される。
- そのことに対して、①現場レベルでの ICD-11 導入を見越しての研修を強化する。②行政機関でのコードの概念に対する勉強会や研修などは最低限必要と考える。また、公式な統計などにも影響が出てくることも想像できる。

【別添資料2】：標準病名のICD-11コーディング作業結果
 ～ 第2章 標準病名 ～ (5ページのみ抜粋)

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と コード 一致の 数	ICD11 代案・同 コード	10⇒11での マッピング 情報	ICD11和訳に あつた 病名 英語	優先 度	関係	ICD11 Foundation URI	作業者	優先 度	関係	MMS Coding	備考(マッピング & MMS での postcoordination)
3280	2	上唇赤唇部癌	0 L	C000	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285880	滝澤	1 <		2B60.Z	Malignant neoplasms of lip, unspecified(唇の悪性新生物、詳細不明)
3282	2	下唇赤唇部癌	0 L	C001	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285882	伊藤	1 =		2B60.Z&XA7H02	XA7H02 (&Vermilion of lower lip) (下唇の朱色)
3285	2	口唇赤唇部癌	0 L	C002	下:2B60.Z		1 <		http://dx.doi.org/10.1186/1475285885	伊藤	1 <		2B60.Z&XA8D4	XA8D4 (&lip)(リッパ) 赤唇部は上・下に分かれ、口唇赤唇部のコードがないため、上位概念のリッパとする
3291	2	上唇癌	0 L	C003	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285891	伊藤	1 =		2B60.Z&XA7VQ4	XA7VQ4 (&Upper lip)(上唇)
3295	2	上唇腺様の上胞癌	0 L	C003	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285895	伊藤	1 =		2B60.Y&XA7VQ4&XH4302	XA7VQ4 (&Upper lip)(上唇) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌)
3296	2	上唇粘表皮癌	0 L	C003	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285896	伊藤	1 =		2B60.Y&XA7VQ4&XH1J36	XA7VQ4 (&Upper lip)(上唇) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3297	2	上唇腺房細胞癌	0 L	C003	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285897	伊藤	1 =		2B60.Y&XA7VQ4&XH3P69	XA7VQ4 (&Upper lip)(上唇) XH3P69 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3305	2	下唇癌	0 L	C004	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285905	伊藤	1 =		2B60.Z&XA15W6	XA15W6 (&Lower lip)(下唇)
3307	2	下唇腺房細胞癌	0 L	C004	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285907	伊藤	1 =		2B60.Y&XA15W6&XH3P69	XA15W6 (&Lower lip)(下唇) XH3P69 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3308	2	下唇粘表皮癌	0 L	C004	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285908	伊藤	1 =		2B60.Y&XA15W6&XH1J36	XA15W6 (&Lower lip)(下唇) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3309	2	下唇腺様の上胞癌	0 L	C004	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285909	伊藤	1 =		2B60.Y&XA15W6&XH4302	XA15W6 (&Lower lip)(下唇) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌)
3314	2	唇交連癌	0 L	C006	下:2B60.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285914	伊藤	1 =		2B60.Z&XA1F8	XA1F8 (&Labial commissure)(唇交連)
3315	2	口唇境界部癌	0 L	C008	下:2B60.Z		1 >		http://dx.doi.org/10.1186/1475285915	伊藤	1 >		2B60.Z&XA3K27	XA3K27 (&External lip)(外部リッパ)(朱色の境界線唇のNOS)
3320	2	口唇癌	1 L	C009	下:2B60.Z	Malignant neoplasms of lip			http://dx.doi.org/10.1186/1475285920					
3322	2	舌根癌	0 L	C01	≒:2B61.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285922	伊藤	1 =		2B61.Z&XA35G3	XA35G3 (&Base of tongue)(舌の付け根)
3327	2	舌背癌	0 L	C020	下:2B61.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285927	伊藤	1 =		2B61.Z&XA1V27	XA1V27 (&Dorsal surface of tongue)(舌の背面) マッピング情報と不一致
3332	2	舌縁癌	0 L	C021	下:2B61.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285932	伊藤	1 =		2B61.Z&XA49C6	XA49C6 (&Lateral margin of tongue)(舌の外側縁)
3334	2	舌尖癌	0 L	C021	下:2B61.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285934	伊藤	1 =		2B61.Z&XA1W28	XA1W28 (&Tip of tongue)(舌尖)
3337	2	舌下面癌	0 L	C022	下:2B61.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285937	伊藤	1 =			舌下面とは舌の裏側?
3338	2	舌脂肪肉腫	0 L	C029	下:2B61.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285938	伊藤	1 =		2B59.Y&XA1T19	XA1T19 (&Tongue)(タツ)
3341	2	舌癌	1 L	C029	下:2B61.Z	tongue cancer			http://dx.doi.org/10.1186/1475285941					
3343	2	上顎歯肉癌	0 L	C030	下:2B61.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1186/1475285943	伊藤	1 =		2B61.Z&XA6743	XA6743 (&Upper gingiva)(上顎歯肉)

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳と の一致 の一致	ICD10コード	10⇒11での 変更情報	ICD11和訳に あつた場合の 英語	属性	関係	ICD11 Foundation URI	作業者	属性	関係	MMS Coding	備考(マ書き & MMS での postcoordination)
3349	2 下顎歯肉癌	0 L	C031	下:2B63.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B63.Z & XA9303	XA9303 (&Lower gingiva)(下顎肉)
3355	2 歯肉癌	1 L	C039	下:2B63.Z	gingival cancer			http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B64.Z & XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の前床(正中型)を含む
3357	2 正中型口底癌	0 L	C040	下:2B64.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B64.Z & XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の前床(正中型)を含む
3359	2 正中型口底癌	0 L	C040	下:2B64.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B64.Z & XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の前床(正中型)を含む
3360	2 側方型口底癌	0 L	C041	下:2B64.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B64.Z & XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の前床(側方型)を含む
3362	2 側方型口底癌	0 L	C041	下:2B64.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B64.Z & XA8EY7	XA8EY7 (&Floor of mouth)(口の床) 口の床に口の前床(側方型)を含む
3367	2 口腔底癌	0 L	C049	下:2B64.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B64.Z	
3369	2 口底癌	1 L	C049	下:2B64.Z	cancer of mouth floor			http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.0 & XH4302	XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様嚢胞癌)
3371	2 硬口蓋粘表皮癌	0 L	C050	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Y & XH1J36	XA4527 (&Hard palate)(硬口蓋) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3374	2 硬口蓋腺様嚢胞癌	0 L	C050	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.0 & XA4527 & XH4302	XA4527 (&Hard palate)(硬口蓋) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様嚢胞癌)
3375	2 硬口蓋癌	0 L	C050	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Z & XA4527	XA4527 (&Hard palate)(硬口蓋)
3380	2 硬口蓋腺様嚢胞癌	0 L	C050	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Y & XA4527 & XH3P99	XA4527 (&Hard palate)(硬口蓋) XH3P99 (&Acinar cell carcinoma)(腺様嚢胞がん)
3383	2 軟口蓋腺様嚢胞癌	0 L	C051	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Y & XA8HL5 & XH3P99	XA8HL5 (&Soft palate)(軟口蓋) XH3P99 (&Acinar cell carcinoma)(腺様嚢胞がん)
3385	2 軟口蓋腺様嚢胞癌	0 L	C051	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.0 & XA8HL5 & XH4302	XA8HL5 (&Soft palate)(軟口蓋) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様嚢胞癌)
3386	2 軟口蓋粘表皮癌	0 L	C051	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Y & XA8HL5 & XH1J36	XA8HL5 (&Soft palate)(軟口蓋) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3389	2 軟口蓋癌	0 L	C051	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Z & XA8HL5	XA8HL5 (&Soft palate)(軟口蓋)
3392	2 口蓋垂癌	0 L	C052	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Z & XA2993	XA2993 (&Uvula)(口蓋垂)
3401	2 口蓋癌	0 L	C059	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Z	
3403	2 口蓋腺様嚢胞癌	0 L	C059	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Y & XH3P99	XH3P99 (&Acinar cell carcinoma)(腺様嚢胞がん)
3404	2 口蓋粘表皮癌	0 L	C059	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.Y & XH1J36	XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3405	2 口蓋腺様嚢胞癌	0 L	C059	下:2B65.Z		1 =		http://dx.doi.org/10.1197/108588 http://dx.doi.org/10.1197/108588	伊藤	1 =		2B65.0 & XH4302	XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様嚢胞癌)

No	CD10 章	標準病名	ICD11 和訳代 表・同 義	CD10コー ド	10⇒11でのア ピソフ情報	ICD11和訳に あつた病名の 英語	度 値	関係	ICD11 Foundation URI	作業者 度	度 値	関係	MMS Coding	備考(マニ書き & MMS での postcoordination)
3405	2	頬粘膜腺様上皮癌	0 L	C060	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66. Y & XA8W3 & XH4302	XA8W3 (&Buccal mucosa)(頬粘膜) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌) ※病変種類の選択画面表示がないV、追加する
3411	2	頬粘膜腺房細胞癌	0 L	C060	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.869	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.869	伊藤	1 =		2B66. Y & XA8W3 & XH3P9	XA8W3 (&Buccal mucosa)(頬粘膜) XH3P9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3414	2	頬粘膜粘表皮癌	0 L	C060	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66. Y & XA8W3 & XH1J36	XA8W3 (&Buccal mucosa)(頬粘膜) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3416	2	頬粘膜癌	0 L	C060	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66.Z & XA8W3	XA8W3 (&Buccal mucosa)(頬粘膜)
3420	2	口腔前庭癌	0 L	C061	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66.Z & XA5T5	XA5T5 (&Vestibule of mouth)(口の前後)
3422	2	上顎歯肉移行部癌	0 L	C061	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =			
3423	2	下顎歯肉移行部癌	0 L	C061	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =			
3431	2	上顎結節部癌	0 L	C062	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =			
3432	2	臼後部癌	0 L	C062	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66.Z & XA0S17	XA0S17 (&Retromolar region)(上顎臼後部)
3433	2	小唾液腺癌	0 L	C069	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66. Y & XA3001	XA3001 (&Minor salivary gland)(小唾液腺)
3436	2	小唾液腺腺房細胞癌	0 L	C069	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66. Y & XA3001 & XH3P9	2B66.Y 口の他の特定されていない部分の他の特定された悪性新生物 XA3001 (&Minor salivary gland)(小唾液腺) XH3P9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3441	2	口腔癌	0 L	C069	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66.Z & XA1W1	XA1W1 (&Oral cavity)(口腔)
3442	2	小唾液腺腺様上皮癌	0 L	C069	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66. Y & XA3001 & XH4302	2B66.Y 口の他の特定されていない部分の他の特定された悪性新生物 XA3001 (&Minor salivary gland)(小唾液腺) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌)
3444	2	小唾液腺粘表皮癌	0 L	C069	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66. Y & XA3001 & XH1J36	2B66.Y 口の他の特定されていない部分の他の特定された悪性新生物 XA3001 (&Minor salivary gland)(小唾液腺) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3449	2	口腔癌性黒色腫	0 L	C069	下:2B66.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B66.Y & XH4846	XH4846 (&Malignant melanoma, NOS)(悪性黒色腫, NOS)
3451	2	耳下腺癌	1 L	C07	≒:2B67.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =			
3454	2	耳下腺腺様上皮癌	0 L	C07	≒:2B67.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B67.0 & XH4302	XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌)
3456	2	耳下腺粘表皮癌	1 L	C07	≒:2B67.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =			
3460	2	耳下腺腺房細胞癌	1 L	C07	≒:2B67.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =			
3463	2	顎下腺腺房細胞癌	0 L	C080	下:2B68.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B68. 2 & XA90G1 & XH3P9	XA90G1 (&Submandibular gland)(顎下腺) XH3P9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3466	2	顎下腺腺様上皮癌	0 L	C080	下:2B68.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B68. 0 & XA90G1 & XH4302	XA90G1 (&Submandibular gland)(顎下腺) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺様細胞癌)
3468	2	顎下腺癌	0 L	C080	下:2B68.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B68.Z & XA90G1	XA90G1 (&Submandibular gland)(顎下腺)
3473	2	顎下腺粘表皮癌	0 L	C080	下:2B68.Z	/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	1 =		/dx.doi.org/10.1181/1530-2531.2020.862	伊藤	1 =		2B68. 0 & XA90G1 & XH1J36	XA90G1 (&Submandibular gland)(顎下腺) XH1J36 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌) 顎下腺/舌下腺の粘表皮癌は腺癌に包含

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と 備考	ICD11 代案・同 義	ICD10コー ド	10 ⇒ 11 でのア ピラジ情報	ICD11和訳に あつた場合の 英語	属性	関係	ICD11 Foundation URI	作業者	属性	関係	MMS Coding	備考(大書き & MMS での postcoordination)
3474	2	舌下腺粘表皮癌	0 L		C081	下:2B68.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B68. 0 & XA5109 & XH136	XA5109 (&Sublingual gland)(舌下腺) XH136 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌) 顎下腺/舌下腺の粘表皮癌は腺癌に包含
3475	2	舌下腺癌	0 L		C081	下:2B68.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B68.Z & XA5109	XA5109 (&Sublingual gland)(舌下腺)
3479	2	舌下腺腺房細胞癌	0 L		C081	下:2B68.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B68. 2 & XA5109 & XH3P9	XA5109 (&Sublingual gland)(舌下腺) XH3P9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3481	2	舌下腺腺核のう胞癌	0 L		C081	下:2B68.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B68. 0 & XA5109 & XH4302	XA5109 (&Sublingual gland)(舌下腺) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺核細胞癌)
3488	2	唾液腺癌	0 L		C089	下:2B68.Z		1 >	>	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 >	>	2B68.Z & XA5173	部位コードは顎下腺と舌下腺2つを連記しない Submandibular gland(顎下腺)とSublingual gland(舌下腺)の上位部位XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置)を選択
3492	2	唾液腺腺核のう胞癌	0 L		C089	下:2B68.Z		1 >	>	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 >	>	2B68. 0 & XA5173 & XH4302	部位コードは顎下腺と舌下腺2つを連記しない XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置) XH4302 (&Adenoid cystic carcinoma)(腺核細胞癌)
3494	2	大唾液腺癌	0 L		C089	下:2B68.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B68.Z & XA5173	XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置)(主要唾液腺含む)
3497	2	唾液腺粘表皮癌	0 L		C089	下:2B68.Z		1 >	>	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 >	>	2B68. 0 & XA5173 & XH136	部位コードは顎下腺と舌下腺2つを連記しない XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置) XH136 (&Mucoepidermoid carcinoma)(粘表皮癌)
3498	2	唾液腺腺房細胞癌	0 L		C089	下:2B68.Z		1 >	>	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 >	>	2B68. 2 & XA5173 & XH3P9	部位コードは顎下腺と舌下腺2つを連記しない XA5173 (&Salivary gland apparatus)(唾液腺装置) XH3P9 (&Acinar cell carcinoma)(腺房細胞がん)
3502	2	扁桃窩癌	0 L		C090	下:2B69.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B69.Z & XA4624	XA4624 (&Tonsillar fossa)(扁桃窩)
3506	2	口蓋弓癌	0 L		C091	下:2B69.Z				http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301					
3508	2	扁桃肉腫	0 L		C099	下:2B69.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B5F & XA3V90	XA3V90 (&Palatine tonsil)(口蓋扁桃)
3510	2	扁桃癌	1 L		C099	下:2B69.Z	tonsil carcinoma	1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301					
3512	2	喉頭蓋谷癌	0 L		C100	下:2B6A.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B6A.Z & XA88V4	XA88V4 (&Vallecula)(ヴァレキユラ)(喉頭蓋谷)
3515	2	喉頭蓋前面癌	0 L		C101	下:2B6A.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B6A.Z & XAADV7	XAADV7 (&Anterior surface of epiglottis)(喉頭蓋の前面)
3519	2	中咽頭側壁癌	0 L		C102	下:2B6A.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B6A.Z & XA8RV5	XA8RV5 (&Lateral wall of oropharynx)(中咽頭の側壁)
3522	2	中咽頭後壁癌	0 L		C103	下:2B6A.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B6A.Z & XA8659	XA8659 (&Posterior wall of oropharynx)(中咽頭の後壁)
3524	2	嚙原性癌	1 L		C104	下:2B6A.Z	branchiogenic carcinoma			http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301					
3527	2	中咽頭癌	1 L		C109	下:2B6A.Z	oropharyngeal cancer			http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301					
3530	2	中咽頭肉腫	0 L		C109	下:2B6A.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B5F & XA4167	XA4167 (&Oropharynx)(中咽頭)
3533	2	上咽頭上壁癌	0 L		C110	下:2B68.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B68.Z & XA0659	XA0659 (&Superior wall of nasopharynx)(鼻咽頭の上壁)
3535	2	上咽頭後壁癌	0 L		C111	下:2B68.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1181/15307094.2013.013301	伊藤	1 =	=	2B68.Z & XA4BR4	XA4BR4 (&Posterior wall of nasopharynx)(鼻咽頭の後壁)

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳と 備考	ICD11 代案・同 下	ICD10コー ド	10⇒11でのア ピソフ情報	ICD11和訳に あつた場合の 英語	評価 度	関係	ICD11 Foundation URI	作業者	評価 度	関係	MMS Coding	備考(大書き & MMS での postcoordination)
3538	2	上咽頭側壁癌	0 L		C112	下:2B6B.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1002.54255	伊藤	1 =	=	2B6B.Z & XA17Y5	XA17Y5 (&lateral wall of nasopharynx)(鼻咽頭の側壁)
3540	2	上咽頭前壁癌	0 L		C113	下:2B6B.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B6B.Z & XA21P9	XA21P9 (&anterior wall of nasopharynx)(鼻咽頭の前壁)
3541	2	上咽頭癌	0 L		C119	下:2B6B.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B6B.Z	
3545	2	上咽頭脂肪肉腫	0 L		C119	下:2B6B.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B59.Y & XA9AZ1	XA9AZ1 (&nasopharynx)(鼻咽頭)
3546	2	上咽頭悪性腫瘍	0 L		C119	下:2B6B.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B6B.Z	
3551	2	梨状陥凹癌	1 L		C12	=:2B6C.Z	piriform sinus cancer	1 =	=						
3553	2	輪状後部癌	0 L		C130	下:2B6D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B6D.Z & XA4N29	XA4N29 (&postcricoid region)(ホストクリコイド領域(輪状後部))
3555	2	披裂喉頭蓋ひだ下咽頭癌	0 L		C131	下:2B6D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B6D.Z & XA9907	XA9907 (&aryepiglottic fold)(披裂喉頭蓋ひだ(下咽頭面))
3557	2	下咽頭披裂喉頭蓋ひだ癌	0 L		C131	下:2B6D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B6D.Z & XA9907	XA9907 (&aryepiglottic fold)(披裂喉頭蓋ひだ(下咽頭面))
3561	2	下咽頭後部癌	0 L		C132	下:2B6D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B6D.Z & XA4N29	XA4N29 (&postcricoid region)(ホストクリコイド領域(輪状後部))
3562	2	下咽頭癌	1 L		C139	下:2B6D.Z	hypopharyngeal cancer								
3565	2	下咽頭肉腫	0 L		C139	下:2B6D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B5F & XA2167	XA2167 (&hypopharynx)(下咽頭)
3573	2	咽頭癌	1 L		C140	下:2B6E.Z	pharyngeal cancer								
3576	2	咽頭肉腫	0 L		C140	下:2B6E.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B5F & XA93V5	XA93V5 (&pharynx)(咽頭)
3577	2	副咽頭間隙悪性腫瘍	0 L		C140	下:2B6E.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B6E.Z & XA6QV3	XA6QV3 (¶pharyngeal recess)(傍咽頭陥凹)
3582	2	頸部食道癌	0 L		C150	下:2B7D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B7D.Z & XA4N03	(&cervical oesophagus)(&頸部食道)
3586	2	胸部下部食道癌	0 L		C151	下:2B7D.Z		1 <	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 <	=	2B7D.Z & XA8JF3	(& Thoracic oesophagus)(&胸部食道) 胸部下部コードなし
3589	2	胸部食道癌	0 L		C151	下:2B7D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B7D.Z & XA8JF3	(& Thoracic oesophagus)(&胸部食道)
3591	2	胸部上部食道癌	0 L		C151	下:2B7D.Z		1 <	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 <	=	2B7D.Z & XA8JF3	(& Thoracic oesophagus)(&胸部食道) 胸部上部コードなし
3593	2	胸部中部食道癌	0 L		C151	下:2B7D.Z		1 <	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 <	=	2B7D.Z & XA8JF3	(& Thoracic oesophagus)(&胸部食道) 胸部中部コードなし
3597	2	腹部食道癌	0 L		C152	下:2B7D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B7D.Z & XA4D7N5	(&abdominal oesophagus)(&腹部食道)
3600	2	上部食道癌	0 L		C153	下:2B7D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B7D.Z & XA1180	(&upper third of oesophagus)(&食道の上部3分の1)
3601	2	中部食道癌	0 L		C154	下:2B7D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B7D.Z & XA2B73	(&middle third of oesophagus)(&食道の中央分の1)
3605	2	下/シルト食道癌	0 L		C155	下:2B7D.Z		1 >	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 >	=	2B7D.00	2B7D.00 / シルト食道癌
3610	2	下部食道癌	0 L		C155	下:2B7D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B7D.Z & XA9CB6	(&lower third of oesophagus)(&食道の下部3分の1)
3616	2	食道胃接合部癌	0 L		C158	下:2B7D.Z		1 =	=	http://dx.doi.org/10.1274860499	伊藤	1 =	=	2B71.Z	

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第3章 標準病名 ～ (5ページのみ抜粋)

No	ICD11標準病名 0章	ICD11 和訳と 同義 語数	ICD10 コード	10⇒11 でのマッピング 情報	ICD11和訳に あつた場合の 英語	対Foundation 粒度	対MMS 粒度	MMS Representatio n	備考
10577	3 グラナマレーグアンソン症候群	0 L	D501	=:3A00.Z		1 =	1 <	3A00.Y	Plummer-Vinson syndrome
10578	3 小球性低色素性貧血	0 L	D508	下:3A00.Z		1 =	1 <	3A00.Y	Microcytic hypochromic anaemia
10579	3 小球性貧血	0 L	D508	下:3A00.Z		1 =	1 <	3A00.Y	Microcytic anemia
10597	3 遺伝性巨赤芽球性貧血	0 L	D511	=:3A01.Z		1 =	1 <	3A01.0	Hereditary Vitamin B12 deficiency anaemia
10603	3 トランスコバラミン欠乏症	0 L	D512	=:3A01.0		1 =	1 <	3A01.0	Hereditary megaloblastic anaemia due to transcobalamin deficiency
10606	3 胃切除後巨赤芽球性貧血	0 L	D518	上:3A01.Z 上:3A01.0		1 <	1 <	3A01.Z	Hereditary Vitamin B12 deficiency anaemia
10616	3 小腸切除によるビタミンB12欠乏性貧血	0 L	D518	上:3A01.Z 上:3A01.0		1 =	1 <	3A01.Z 4&XA6452	Vitamin B12 deficiency anaemia due to intestinal disease & 小腸
10618	3 乏性貧血	0 L	D518	上:3A01.Z 上:3A01.0		1 =	1 <	3A01.4 D070.Z	Vitamin B12 deficiency anaemia due to intestinal disease / Crohn disease
10619	3 吸収不良症候群によるビタミンB12欠乏性貧血	0 L	D518	上:3A01.Z 上:3A01.0		1 =	1 <	3A01.4 DA96.OZ	Vitamin B12 deficiency anaemia due to intestinal disease / Intestinal malabsorption, unspecified
10621	3 ビタミンB12欠乏性貧血	0 L	D519	=:3A01.Z		1 =	1 =	3A01.Z	Megaloblastic anaemia due to Vitamin B12 deficiency, unspecified
10627	3 薬剤性葉酸欠乏性貧血	0 L	D521	=:3A02.4		1 =	1 =	3A02.4	Drug-induced folate deficiency anaemia
10630	3 溶血性貧血に伴う葉酸欠乏症	0 L	D528	上:3A02.0 上:3A02.2 上:3A02.Z		1 =	1 =	3A02.Z 3A4Z	Acquired megaloblastic anaemia associated with haemolytic anaemia
10631	3 先天性葉酸吸収不全	0 L	D528	上:3A02.0 上:3A02.2 上:3A02.Z		1 =	1 =	3A02.0	Hereditary folate deficiency anaemia
10635	3 高色素性貧血	0 L	D529	=:3A02.Z		1 <	1 <	3A02.Z	Folate deficiency anaemia, unspecified
10636	3 大球性貧血	0 L	D529	=:3A02.Z		1 <	1 <	3A02.Z	Folate deficiency anaemia, unspecified
10639	3 蛋白欠乏性貧血	0 L	D530	上:3A03.1 上:3A03.0		1 =	1 =	3A03.1	Protein deficiency anaemia
10642	3 オロチン酸尿性貧血	0 L	D530	上:3A03.1 上:3A03.0		1 =	1 =	3A03.0	Hereditary orotic aciduria
10645	3 症候性巨赤芽球性貧血	0 L	D531	下:3A03		1 <	1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10646	3 巨赤芽球性貧血	0 L	D531	下:3A03		1 <	1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10649	3 亜鉛欠乏性貧血	0 L	D538	下:3A03 上:3A03.40 上:3A03.3 上:3A03.42 上:3A03.5 上:3A03.4 上:3A03.41 上:3A03.6		1 <	1 <	3A03.Y /5B5K.Z	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia / Zinc deficiency
10652	3 微量元素欠乏性貧血	0 L	D538	3A03.3 上:3A03.42 上:3A03.5 上:3A03.4 上:3A03.41 上:3A03.6		1 <	1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10654	3 食事性貧血	0 L	D539	下:3A03		1 <	1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10655	3 ビタミン欠乏性貧血	0 L	D539	下:3A03		1 <	1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10657	3 胃切除後貧血	0 L	D539	下:3A03		1 <	1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia / Acquired absence of part of stomach
10660	3 小児食事性貧血	0 L	D539	下:3A03		1 <	1 <	3A03.Y	Other and unspecified nutritional or metabolic anaemia
10661	3 慢性貧血	0 L	D539	下:3A03		1 =	1 <	3A03.Y	Chronic simple anaemia
10666	3 ソラ豆中毒	0 L	D550	=:3A10.00		1 =	1 <	3A10.00	Haemolytic anaemia due to glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency の注釈の中で“hemolytic anaemia, which is sometimes serious, can appear following ingestion of certain foods (fava beans)”とあるので、このコードにシタ
10667	3 G6PD欠乏性貧血	0 L	D550	=:3A10.00		1 =	1 <	3A10.00	G6PD - [glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency] anaemia

										対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		
10670	3	型落血性非球状赤血球性貧血	0	1	D551	=:3A10.0Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/419112483	1 <	3A10.00	Hereditary haemolytic nonspherocytic type 1 anaemia
10672	3	三度糖リノ酸イノラーゼ欠乏性貧血	0	1	D552	=:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/475025488	1 <	3A10.00	Haemolytic anaemia due to triose phosphate-isomerase deficiency
10674	3	型落血性非球状赤血球性貧血	0	1	D552	=:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/841499395	1 <	3A10.Y	Haemolytic nonspherocytic hereditary anaemia, type 2
10675	3	ヘキソキナーゼ欠乏性貧血	0	1	D552	=:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/194204362	1 <	3A10.Y	Nonspherocytic haemolytic anaemia due to hexokinase deficiency
10681	3	赤血球酵素欠乏性貧血	0	1	D559	下:3A10.Z				1 <	http://id.who.int/ced/entity/41728186890	1 <	3A10.Y	Hereditary haemolytic anaemia due to enzyme deficiency
10682	3	酵素異常による遺伝性落血性貧血	0	1	D559	下:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/417281868900	1 <	3A10.Y	Hereditary haemolytic anaemia due to enzyme deficiency
10689	3	中間型サラセミア		1	D561	=:3A50.2				1 =	http://id.who.int/ced/entity/9436211 / http://id.who.int/ced/entity/1947619935	1 =	3A50.2 / 3A50.02	Alpha thalassaemia intermedia / beta thalassaemia intermedia β-サラセミア
10691	3	サラセミア保因者	0	1	D563	上:3A50.00 上:3A50.2				1 =	http://id.who.int/ced/entity/2108515676	1 =	3A50.2	Beta thalassaemia carrier
10692	3	遺伝性高胎児性ヘモグロビン症	0	1	D564	=:3A50.4				1 =	http://id.who.int/ced/entity/418601307	1 =	3A50.4	Hereditary persistence of fetal haemoglobin
10697	3	ヘモグロビンSS病	0	1	D570	=:3A51.2				1 =	http://id.who.int/ced/entity/41711513381	1 <	3A51.1	Hb SS disease
10700	3	ヘモグロビンSC病	0	1	D572	=:3A51.3				1 =	http://id.who.int/ced/entity/133961609	1 <	3A51.3	Hb SC disease
10705	3	重複ヘテロ接合型鎌状化障害	0	1	D572	=:3A51.3				1 =	http://id.who.int/ced/entity/201007614	1 <	3A51.3	Compound Hbs and beta thalassaemia heterozygotes including HbS/delta-beta-thal compounds
10706	3	ヘモグロビンSD病	0	1	D572	=:3A51.3				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1601142784	1 <	3A51.3	Hb-SD disease
10708	3	ヘモグロビンSE病	0	1	D572	=:3A51.3				1 =	http://id.who.int/ced/entity/131785602	1 <	3A51.3	Hb SE disease
10709	3	鎌状赤血球保因者	0	1	D573	=:3A51.0				1 =	http://id.who.int/ced/entity/2011497038	1 =	3A51.0	Sickle cell trait
10711	3	ヘテロ接合型ヘモグロビンS症	0	1	D573	=:3A51.0				1 =	http://id.who.int/ced/entity/200722102	1 <	3A51.0	HbAS - (heterozygous haemoglobin S)
10712	3	増殖性鎌状赤血球性網膜症	0	1	D578	下:3A51.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/4508363690	1 <	9B71.Y	Proliferative sickle-cell retinopathy
10730	3	ヘモグロビンD病	0	1	D582	下:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1546265354	1 <	3A51.6	Haemoglobin D disease
10731	3	ヘモグロビン異常症	0	1	D582	下:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1087558882	1 <	3A51.Y	Abnormal haemoglobin NOS
10735	3	ヘモグロビンC病	0	1	D582	下:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/4269405498	1 <	3A51.Y	Haemoglobin C trait
10737	3	異常ヘモグロビン症性骨壊死	0	1	D582	下:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/213920096	1 =	FB81.4	Osteonecrosis due to haemoglobinopathy
10738	3	ヘモグロビンE病	0	1	D582	下:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/2066652874	1 <	3A51.Y	Haemoglobin E trait
10745	3	家族性落血性貧血	0	1	D589	下:3A10.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1909380523	1 =	3A10.Z	Hereditary haemolytic anaemia
10747	3	薬剤性自己免疫性落血性貧血	0	1	D590	=:3A20				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1362381196	1 <	3A20.Y	Drug-induced immune haemolytic anaemia
10754	3	寒冷性溶血素症候群	0	1	D591	下:3A22 上:3A20.0				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1836938544	1 =	3A20.1	Autoimmune haemolytic anaemia, cold type
10755	3	薬剤性溶血性貧血	0	1	D592	=:3A21				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1087558882	1 <	3A21.Y	Drug-induced nonautoimmune haemolytic anaemia
10757	3	薬剤性酵素欠乏性貧血	0	1	D592	=:3A21				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1323666880	1 <	3A21.Y	acquired nonautoimmune haemolytic anaemia due to drugs
10769	3	微小血管障害性落血性貧血	0	1	D594	=:3A21				1 =	http://id.who.int/ced/entity/162762794 & http://id.who.int/ced/entity/182265087	1 <	3A21.1	Microangiopathic haemolytic anaemia
10770	3	術後落血性貧血	0	1	D594	=:3A21				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1674136460	1 =	3A4Z & X7V	Haemolytic anaemias, unspecified & Postoperative
10772	3	中毒性落血性貧血	0	1	D594	=:3A21				1 =	http://id.who.int/ced/entity/2008034337	1 <	3A21.Y	Toxic haemolytic anaemia
10778	3	寒冷血色素尿症	0	1	D596	下:3A21 上:8C01				1 =	http://id.who.int/ced/entity/136267428	1 =	3A20.1	cold agglutinin disease or haemoglobinuria
10790	3	慢性後天性赤芽球ろう	0	1	D600	=:3A61.1				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1834257206	1 =	3A61.1	Chronic acquired pure red cell aplasia
10792	3	一過性後天性赤芽球ろう	0	1	D601	=:3A61.0				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1588782340	1 <	3A61.0	Transient acquired pure red cell aplasia
10795	3	後天性赤芽球ろう	0	1	D609	下:3A62 下:3A61.Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/45753120	1 <	3A61.Z	Acquired pure red cell aplasia, unspecified
10798	3	乳児赤芽球ろう	0	1	D610	上:3A60.Z 上:3A70.0				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1980066564 & http://id.who.int/ced/entity/1588782340	1 <	3A6Z & XT2C	Acquired pure red cell aplasia, unspecified & Infancy
10801	3	赤芽球ろう	0	1	D610	上:3A60.Z 上:3A70.0				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1980066564	1 =	3A6Z	Pure red cell aplasia, unspecified
10814	3	先天性低形成貧血	0	1	D610	上:3A60.Z 上:3A70.0				1 =	http://id.who.int/ced/entity/557764336	1 =	KA8C	Congenital hypoplastic anaemia
10818	3	薬剤性再生不良性貧血	0	1	D611	=:3A70.10 下:3A70.1Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/1907114935	1 =	3A70.10	Drug-induced aplastic anaemia
10819	3	放射線性貧血	0	1	D612	=:3A70.11 下:3A70.1Z				1 =	http://id.who.int/ced/entity/83956554 & http://id.who.int/ced/entity/59113228	1 =	3A70.11 & XE60C	Aplastic anaemia due to other external agents & Exposure to radiation

					対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度				
10820	3	二次性再生不良性貧血	0 L	D612	=:3A70.11 下:3A70.12	1 <	http://id.who.int/icd/entity/759747321	1 <	3A70.12	Acquired aplastic anaemias, unspecified
10821	3	肝炎後再生不良性貧血	0 L	D612	=:3A70.11 下:3A70.12	1 <	http://id.who.int/icd/entity/759747321 / http://id.who.int/icd/entity/2046015098	1 <	3A70.12 / D897.Z	Acquired aplastic anaemias, unspecified / hepatitis NOS
10823	3	骨髓機能低下	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1259617911	1 <	3A70.Z	bone marrow failure
10824	3	骨髓形成	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 =	http://id.who.int/icd/entity/502834133/ / http://id.who.int/icd/entity/1147802948	1 <	3A70.Z / 2A3Z	aplasia bone marrow / myelodysplastic anaemia
10826	3	中等症再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133& / http://id.who.int/icd/entity/1669264987	1 <	3A70.Z & XSOT	Aplastic anaemia, unspecified & Moderate
10827	3	本態性再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133	1 <	3A70.Z	Aplastic anaemia, unspecified
10829	3	重症再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133& / http://id.who.int/icd/entity/1201187093	1 <	3A70.Z & XS25	Aplastic anaemia, unspecified & Severe
10832	3	最重症再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133& / http://id.who.int/icd/entity/1355303673	1 <	3A70.Z & XS2R	Aplastic anaemia, unspecified & Profound
10836	3	低形成性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/502834133	1 <	3A70.Z	Aplastic anaemia, unspecified
10837	3	軽症再生不良性貧血	0 L	D619	下:3A70.12 上:2A60.40	1 <	http://id.who.int/icd/entity/562478860 / http://id.who.int/icd/entity/182265087	1 <	3A70.Z & XSSW	Aplastic anaemia, unspecified & Mild
10839	3	術後貧血	0 L	D62	=:3A00.00	1 =	http://id.who.int/icd/entity/324845131	1 =	3A9Z&X7Y	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified & Postoperative
10840	3	急性失血性貧血	0 L	D62	=:3A00.00	1 =	http://id.who.int/icd/entity/587664055	1 <	3A94	Acute posthaemorrhagic anaemia
10848	3	薬剤性鉄芽球性貧血	0 L	D642	=:3A72.1	1 =	http://id.who.int/icd/entity/809841924	1 <	3A72.1	Secondary sideroblastic anaemia due to drugs or toxins
10851	3	ピリドキシン反応性貧血	0 L	D643	下:3A72.Z	1 =	http://id.who.int/icd/entity/899830967	1 <	3A72.00	X-linked sideroblastic anaemia, pyridoxine-responsive
10853	3	先天性赤血球酵素異常	0 L	D644	=:3A73	1 =	http://id.who.int/icd/entity/801049792 & http://id.who.int/icd/entity/143777109	1 <	3A73	Congenital dyserythropoietic anaemia
10857	3	脾性貧血	0 L	D648	上:3A90	1 =	http://id.who.int/icd/entity/224336967 & http://id.who.int/icd/entity/1588782340	1 <	DB98. 7Y&X7F19	Banti syndrome / 脾臓腫大を伴う
10858	3	乳児倫白血病	0 L	D648	上:3A90	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z&X7ZC	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified & infancy
10860	3	症候性貧血	0 L	D648	上:3A90	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10861	3	白赤芽球症	0 L	D648	上:3A90	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Leukoerythroblastosis / 末梢血中に白血球および赤血球の幼稚型の出現する状態をい、赤血球の大小不同、奇型などを伴うことが多い、貧血を伴うことが多い
10862	3	正色素性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10863	3	貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10865	3	正球性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10866	3	正球性正色素性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10867	3	本態性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10869	3	思春期貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/224336967	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10872	3	老人性貧血	0 L	D649	=:3A9Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1622289987	1 <	3A9Z	Anaemias or other erythrocyte disorders, unspecified
10875	3	線溶亢進	0 L	D65	=:3B20	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1253322661	1 <	3B20	hemolysis NOS / 線維素溶解(線溶)は凝固により生じた血栓の溶解のこと
10876	3	後天性無γグロブリン血症	0 L	D65	=:3B20	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1293848111	1 <	3B20	Afibrinogenaemia, acquired
10891	3	劇症紫斑病	0 L	D65	=:3B20	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1622289887	1 <	3B20	Purpura fulminans
10892	3	結紮性線維素溶解性障害	0 L	D65	=:3B20	1 =	http://id.who.int/icd/entity/337607970/ / http://id.who.int/icd/entity/396939646	1 <	3B10.0 / FA2Z	fibriolysis NOS
10904	3	血友病関節炎	0 L	D66	=:3B10.Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/337607970 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 =	3B10.0	Haemophilia NOS / arthritis NOS
10913	3	第VIII因子インヒビター陽性先天性血友病	0 L	D66	=:3B10.Z	1 =	http://id.who.int/icd/entity/337607970 / http://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <	3B10.0 / M6Z7	Haemophilia A
10914	3	血友病性出血	0 L	D66	=:3B10.Z	1 <	http://id.who.int/icd/entity/2272299518	1 <	3B14.Z	Hypoprothrombinaemia / 因子不足、減少あるいは分子構造異常により臨床出血性素質を主症状とする疾患
10931	3	低プロトロンビン血症	0 L	D67	=:3B11.Z	1 <		1 <		

									対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度	
10932	3	第IX因子インヒビター—陽性先天性血友病	0 L	D67	=:3B11.Z	1 =	http://id.who.int/ied/entity/1901375668	1 =	3B11.0	Haemophilia B		
10935	3	ノルトラクト・ジュルゲンズ血小核病	0 L	D680	=:3B12	1 =	http://id.who.int/ied/entity/2112021600	1 =	3B12	Von Willebrand disease		
10952	3	第XI因子欠乏症	0 L	D681	=:3B13	1 =	http://id.who.int/ied/entity/413739466	1 <	3B13	factor XI deficiency		
10961	3	第X因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/1886781445	1 =	3B14.1	Hereditary factor X deficiency		
10967	3	トスカリクレイン欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/2010669339	1 <	3B15	Congenital prekallikrein deficiency		
10968	3	第XII因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/2086126201	1 <	3B15	actor XII deficiency disease		
10970	3	第XIII因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/2079957863 / http://id.who.int/ied/entity/939366157	1 <	3B14.Z / 3B22	deficiency of factor XIII / Acquired factor XIII deficiency		
10975	3	先天性第XIII因子Bサブユニット欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/2079957863	1 <	3B14.Z	Hereditary factor XIII deficiency		
11001	3	トリアリゲン異常症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/815934276	1 <	3B14.0	dysfibrinogenaemia NOS		
11006	3	第VII因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/203492392Z	1 <	3B14.Z	actor VII deficiency		
11022	3	トリアリゲン欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/145298945Z	1 <	3B14.0	Deficiency of fibrinogen		
11027	3	先天性トリアリゲン欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/145298945Z	1 <	3B14.0	Hereditary fibrinogen deficiency		
11034	3	高トリアリゲン血症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 <	http://id.who.int/ied/entity/2010669339	1 <	3B15	Congenital prekallikrein deficiency		
11050	3	先天性第XIII因子Aサブユニット欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 <	http://id.who.int/ied/entity/2079957863	1 <	3B14.Z	Hereditary factor XIII deficiency 血漿中のXIII因子は分子量約320,000の巨大糖蛋白で、分子量約85,000の凝固活性を有するAサブユニットと分子量約75,000のキャリアー-トリアリゲンととのBサブユニットがそれぞれ非共有結合で二個づつ結合したチトラマーの形で存在している。		
11052	3	先天性トトロピン欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/1522212461	1 <	3B14.Z	Prothrombin deficiency		
11062	3	第V因子欠乏症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 =	http://id.who.int/ied/entity/1969994731	1 <	3B14.Z	Deficiency of factor V		
11068	3	トリアリゲン減少症	0 L	D682	上:3B15 上:3B14.Z 下:3B1Z 上:3B14.0 上:3B14.1 上:3B14.2	1 <	http://id.who.int/ied/entity/145298945Z	1 <	3B14.0	Deficiency of fibrinogen		
11071	3	循環性抗凝血因子症	0 L	D683	=:3B21.Z	1 =	http://id.who.int/ied/entity/156218529	1 <	3B21.Z	circulating anticoagulant disorder		
11082	3	ビタミンK欠乏による凝固因子欠乏	0 L	D684	=:	1 =	http://id.who.int/ied/entity/979046780	1 <	3B2Y	Deficiency of coagulation factor due to nutritional vitamin K deficiency		
11085	3	肝疾患による凝固因子欠乏	0 L	D684	=:	1 =	http://id.who.int/ied/entity/211150076Z	1 <	3B2Y	Deficiency of coagulation factor due to liver disease		
11089	3	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0 L	D684	=:	1 <	http://id.who.int/ied/entity/2057381685	1 <	3B2Y	Other specified haemorrhagic diseases due to acquired coagulation factor defects		
11093	3	後天性第XIII因子欠乏症	0 L	D684	=:	1 =	http://id.who.int/ied/entity/939366157	1 <	3B22	Acquired factor XIII deficiency		

									対 Foundation 粒度						対 MMS 粒度			
11094	3	自己免疫性後天性フオンテール フラット痛	0	1	D684	=:			1 =	http://id.who.int/iced/entity/62860395	1 =	3B2Y	Acquired von Willebrand disease					
11098	3	後天性V因子欠乏症	0	1	D684	=:			1 =	http://id.who.int/iced/entity/1617124092	1 <	3B2Y	Acquired factor V deficiency disease					
11109	3	アトロンピンIII欠乏症	0	1	D685	=:3861.0			1 =	http://id.who.int/iced/entity/535498185	1 <	3861.0	anthrombin deficiency					
11111	3	アトロンS欠乏症	0	1	D685	=:3861.0			1 =	http://id.who.int/iced/entity/130524529	1 =	3861.0Y	Hereditary thrombophilia due to congenital protein S deficiency					
11114	3	ヘパリンコファクターII欠乏症	0	1	D685	=:3861.0			1 =	http://id.who.int/iced/entity/1059796074	1 <	3861.0Y	Heparin co-factor II deficiency					
11118	3	アトロンC欠乏症	0	1	D685	=:3861.0			1 =	http://id.who.int/iced/entity/2021932081	1 =	3861.0Y	Hereditary thrombophilia due to congenital protein C deficiency					
11121	3	後天性アトロンC欠乏症	0	1	D686	上:3861.1 上:4A45.Z			1 =	http://id.who.int/iced/entity/1906006666 & http://id.who.int/iced/entity/72749512	1 <	3861.1 & XM35D2	Acquired thrombophilia & Protein C					
11122	3	ルーアスアトロンフラット	0	1	D686	上:3861.1 上:4A45.Z			1 =	http://id.who.int/iced/entity/136346238	1 =	4A45.3	Lupus anticoagulant-hyporprothrombinaemia syndrome (個々の 凝固因子活性を阻害することなくリン脂質依存性凝固反応を阻害 する免疫グロブリン)					
11124	3	後天性アトロンS欠乏症	0	1	D686	上:3861.1 上:4A45.Z			1 =	http://id.who.int/iced/entity/1906006666	1 <	3861.1	Lupus S acquired deficiency					
11128	3	ルーアス血小板減少症	0	1	D688	下:384Z 上:3850.Z			1 =	http://id.who.int/iced/entity/136346238	1 =	4A45.3	Lupus thrombocytopenia					
11131	3	先天性アトロンS欠乏症	0	1	D688	下:384Z 上:3850.Z			1 =	http://id.who.int/iced/entity/428643962	1 =	3850.1	Congenital plasminogen activator inhibitor type 1 deficiency					
11136	3	アトロンフラット減少症	0	1	D688	下:384Z 上:3850.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/1452989452	1 <	3814.0	hypofibrinogenaemia					
11138	3	トルマー症候群	0	1	D688	下:384Z 上:3850.Z			2 <	http://id.who.int/iced/entity/1016799900	2 <	384Z	Coagulation defects, unspecified Troussseau's syndrome(トルマー 症候群)は、1 悪性腫瘍に合併する凝固能亢進状態 (hypercoagulable state) あるいは知覚性血管内血液凝固症候群 (disseminated intravascular coagulation: DIC)とそれに伴う遊走性 血栓性静脈炎のことをさす					
11141	3	低線維素血症	0	1	D688	下:384Z 上:3850.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/1452989452	1 <	3814.0	hypofibrinogenaemia					
11143	3	無アトロン血症	0	1	D688	下:384Z 上:3850.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/1452989452	1 <	3814.0	Afibrinogenaemia					
11145	3	先天性血液凝固因子異常	0	1	D689	下:384Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/842345578	1 <	381Z	Congenital or constitutional haemorrhagic condition, unspecified					
11149	3	遺伝性血栓性素因による特発性 血栓症	0	1	D689	下:384Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/535498185	1 <	3861.0Y	Other specified hereditary thrombophilia					
11154	3	凝固因子欠乏症	0	1	D689	下:384Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/1016799900	1 =	384Z	Congalation defects, unspecified					
11161	3	アトロンフラット紫斑	0	1	D690	=:4A44.92 上:4A85.03			1 =	http://id.who.int/iced/entity/1629105375	1 =	4A44.92	Anaphylactoid purpura					
11168	3	紫斑病腎炎	0	1	D690	=:4A44.92 上:4A85.03			1 =	http://id.who.int/iced/entity/1629105375	1 <	4A44.92 / GB40	Schölein–Henoch purpura nephritis; HSPN					
11171	3	症候性紫斑病	0	1	D690	=:4A44.92 上:4A85.03			1 <	http://id.who.int/iced/entity/1788829886	1 <	4A44.9	Allergic purpura					
11175	3	アレルギー性血管炎	0	1	D690	=:4A44.92 上:4A85.03			1 =	http://id.who.int/iced/entity/72474955	1 =	4A44.B2	Allergic vasculitis					
11184	3	IgA血管炎	0	1	D690	=:4A44.92 上:4A85.03			1 =	http://id.who.int/iced/entity/1629105375	1 =	4A44.92 / FA2Z	IgA vasculitis					
11190	3	IgA血管炎性関節炎	0	1	D690	=:4A44.92 上:4A85.03			1 =	http://id.who.int/iced/entity/396939646	1 =	FA2Z	IgA vasculitis					
11197	3	先天性血小板機能低下	0	1	D691	=:3862.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/72474955	1 <	3862.Z	Thrombocytopathy					
11202	3	異常血小板	0	1	D691	=:3862.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/72474955	1 <	3862.Z	Thrombocytopathy					
11205	3	円形血小板	0	1	D691	=:3862.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/72474955	1 <	3862.Z	platelet disorder					
11208	3	血小板機能低下	0	1	D691	=:3862.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/72474955	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified					
11211	3	後天性血小板機能低下	0	1	D691	=:3862.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/72474955	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified					
11215	3	血小板放出機構異常症	0	1	D691	=:3862.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/72474955	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified					
11218	3	血小板障害症	0	1	D691	=:3862.Z			1 <	http://id.who.int/iced/entity/72474955	1 <	3862.Z	Qualitative platelet defects, unspecified					
11225	3	アトロン紫斑	0	1	D692	=:3860 上:EF31			1 <	http://id.who.int/iced/entity/1454196772	1 <	EF40.32	Purpura or bruising due to vascular fragility 女子の四肢、特に 膝関節に現れる紫斑で、時に関節痛を伴います。1 週間程度で消 えます					
11226	3	紫斑病	0	1	D692	=:3860 上:EF31			1 =	http://id.who.int/iced/entity/1648358712	1 <	386Z	Purpura or bruising due to increased intravascular pressure					
11229	3	血管拡張性環状紫斑症	0	1	D692	=:3860 上:EF31			1 <	http://id.who.int/iced/entity/470232852	1 <	EF3Y	Purpura or bruising due to increased intravascular pressure					
11231	3	全身性紫斑病	0	1	D692	=:3860 上:EF31			1 <	http://id.who.int/iced/entity/1332805370	1 =	EF3Z	Purpura of unspecified aetiology					
11234	3	自己赤血球感作症候群	0	1	D692	=:3860 上:EF31			1 =	http://id.who.int/iced/entity/247603209	1 =	ED02	autoerythrocyte sensitization Gardner-Diamond症候群とも呼ば れる					

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第5章 標準病名 ～ (5ページのみ抜粋)

No	ICD10 章	ICD11 和 代表 訳との 一致	ICD10 コード	10=>11 のマッピング情報	ICD11和訳にて該当のコードが英語	病名とICD11和訳にて不一致	ICD11 Foundation 程度	ICD11 Foundation URI	ICD11 Foundation 程度	ICD11 Foundation URI	MMS Post Coordination	備考
14899	5	急性発症の血管性認知症	F010	F:6D81			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1365258270 &	1 =	6D81&X73Z	6D81&X73Z Rapid onset	
14903	5	CARASIL	F011	=:6D81			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1385443355	1 =	8822.C1		
14905	5	CADASIL	F011	=:6D81			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2984450655	1 =	8822.CO		
14906	5	皮質認知症	F011	=:6D81			1 =	http://id.who.int/icd/entity/16121893838	1 =	6D81	Cortical dementia	
14907	5	多発梗塞性認知症	F011	=:6D81			1 =	http://id.who.int/icd/entity/645643099	1 <	6D81	multi-infarct dementia	
14914	5	皮質下認知症	F012	=:6D81			1 =	http://id.who.int/icd/entity/645643099	1 <	6D81	Dementia due to subcortical vascular encephalopathy	
14915	5	血管性認知症	F019	=:6D81			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2078986772	1 <	6D81	Vascular dementia	
14929	5	老年期認知症妄想型	F03	F:6D82			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1365258270	1 <	6D82 / MB26.0	* Old age dementia + 妄想 (Delusion)	
14934	5	老年精神病	F03	F:6D82			1 =	http://id.who.int/icd/entity/932028588	1 <	6D82	Senile psychosis: 認知症 (Dementia) の類義語にある。	
14937	5	二次性認知症	F03	F:6D82			1 ★	http://id.who.int/icd/entity/1468768235.or	1 ★	6D85.Y or 6E67	* Dementia due to diseases classified elsewhere or Secondary neurocognitive syndrome	
14937	5	老年期認知症	F03	F:6D82			1 =	http://id.who.int/icd/entity/235421675	1 <	6D82	Senile dementia	
14946	5	老年期認知症	F03	F:6D82			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1038351310	1 <	6D82	Senile dementia	
14953	5	老年期妄想状態	F03	F:6D82			1 ★	http://id.who.int/icd/entity/1468768235.or	1 ★	6D85.Y or 6E67	* Dementia due to diseases classified elsewhere or Secondary neurocognitive syndrome	
14955	5	初老期妄想状態	F03	F:6D82			1 <	http://id.who.int/icd/entity/235421675	1 <	6D82	Presenting psychotic mental disorder	
14957	5	認知症	F03	F:6D82			1 =	http://id.who.int/icd/entity/546689346	1 <	6D82	dementia	
14958	5	器質性健忘症候群・精神作用物質によらないもの	F04	=:6D72.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/882469859	1 <	6D72.0	Organic amnesic syndrome, not induced by psychoactive substances (ICD-10)	
14973	5	認知症に重ならないせん妄	F050	F:6D70.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/892917531	1 <	6D70.Z	「認知症に重ならない」を表現できないので、せん妄のみとした。 Delirium not superimposed on dementia, so described (ICD-10)	
14975	5	認知症に重なったせん妄	F051	F:6D70.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/546689346	1 =	6D70.Z / 6D82	認知症 + せん妄 Delirium superimposed on dementia (ICD-10)	
14986	5	急性錯乱状態	F058	↑:6D70.0 ↑:6D70.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/892917531	1 <	6D70.Z	acute confusional state: せん妄 (Delirium) のsynonymにacute confusional state NOSがある。	
14987	5	夜間せん妄	F059	=:6D70.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/892917531	1 <	6D70	CDDGで該当する記載見つからず。Nocurnal コーディングでまず。	
14988	5	老人性夜間せん妄	F059	=:6D70.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/892917531	1 <	6D70	CDDGで該当する記載見つからず。老人性についてICD11/19が該当	
14989	5	せん妄	F059	=:6D70.3			1 =	http://id.who.int/icd/entity/892917531	1 =	6D70	delirium	
14990	5	非アルコール性器質性幻覚状態	F060	=:6E61.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2018051983	1 =	6E61.0	F06.0 Incl. organic hallucinatory state (nonalcoholic)	
14991	5	器質性幻覚症	F060	=:6E61.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2018051983	1 =	6E61.0	F06.0 Incl. organic hallucinatory state (nonalcoholic)	
14992	5	皮膚寄生虫妄想	F060	=:6E61.0			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2018051983	1 <	6E61.0	F06.0 Incl. Dermatzoenwahn	
14993	5	器質性緊張病性障害	F061	=:6A42			1 ★	http://id.who.int/icd/entity/289492002.or	1 ★	6A41 OR 6E69	Organic catatonic disorder (ICD-10)	
14994	5	器質性の妄想状態および幻覚妄想状態	F062	F:6E62			1 =	http://id.who.int/icd/entity/518306574	1 =	6E61.2	ICD-11 では、物質または薬物によって誘発される緊張病 (Catatonia induced by substances or medications) と二次緊張病 (Catatonia)	
14995	5	器質性妄想性障害	F062	F:6E62			1 =	http://id.who.int/icd/entity/566524918	1 =	6E61.1	Secondary psychotic syndrome, with hallucinations and delusions	
14997	5	器質性混合性感情障害	F063	=:6E62			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1899175158	1 <	6E62.2	Secondary mood syndrome, with delusions	
14998	5	器質性躁病性障害	F063	=:6E62			1 =	http://id.who.int/icd/entity/216291184	1 =	6E62	Secondary mood syndrome	
14999	5	器質性躁病性障害	F063	=:6E62			1 =	http://id.who.int/icd/entity/880462195	1 =	6E62.1	Secondary mood syndrome, with manic symptoms	
15000	5	器質性うつ病性障害	F063	=:6E62			1 =	http://id.who.int/icd/entity/241382885	1 =	6E62.0	Secondary mood syndrome, with depressive symptoms	
15001	5	感染症後うつ病	F063	=:6E62			1 <	http://id.who.int/icd/entity/216291184	1 <	6E62	Secondary mood syndrome	
15002	5	動脈硬化性うつ病	F063	=:6E62			1 <	http://id.who.int/icd/entity/216291184	1 <	6E62	Secondary mood syndrome	
15003	5	器質性双極性障害	F063	=:6E62			1 <	http://id.who.int/icd/entity/216291184	1 <	6E62	Index termに記載あるが対象範囲異なる	

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

No	ICD10 章	ICD11 和代表 訳との 一致	ICD10 コード	10 => 11 で のコード の分類	ICD11 和訳に て現代 では不 適切	病名と 程度 関係	ICD11 Foundation URI	程度 関係	MMS Post Coordination	備考
15004	5 器質性不安障害	0 L	F064	=:6E63		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/2131412196	1 <	6E62	Organic anxiety disorder
15005	5 器質性解離性障害	0 L	F065	=:6E65		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/440469874	1 <	6E65	Organic dissociative disorder
15007	5 器質性情緒不安定性障害	0 L	F066	=:6E68 下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/440469874	1 <	6E65	Index term: Organic emotionally labile asthemic disorder
15008	5 軽度認知障害	0 L	F067	=:6D71		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/195531803	1 <	6D71	Mild neurocognitive disorder
15012	5 てんかん性精神病	0 L	F068	下:6E62		2 =	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E6Y	epileptic psychosis NOS mentioned as incl. in 10 CDDG 6E6Y Other specified secondary mental or behavioural syndrome
15015	5 多幸症	0 L	F068	下:6E62		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/451608306	1 =	MB24.9	euphoria
15019	5 内分泌性精神障害	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15020	5 動脈硬化性精神障害	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15021	5 脳出血後遺性精神障害	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15022	5 全身性エリテマトーナス精神病	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15027	5 高次脳機能障害	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15029	5 頭部外傷後精神障害	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15031	5 脳血管性精神障害	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15032	5 器質性脳症候群	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15035	5 症候性精神障害	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15036	5 子宮全摘術後愁訴	0 L	F069	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome
15037	5 器質性精神障害	0 L	F069	下:6E62		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	organic mental disorder :Secondary mental or behavioural syndromes associated with disorders or diseases classified elsewhereのsynonymに ある。
15041	5 前頭葉症候群	0 L	F070	下:6E62		1 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	organic mental disorder :Secondary mental or behavioural syndromes associated with disorders or diseases classified elsewhereのsynonymに ある。
15049	5 辺縁系てんかん人格症候群	0 L	F070	下:6E62		1 <	http://id.who.int/icd/ent/v/1324394161	1 <	6E68	limbic epilepsy personality syndrome (ICD-10)
15056	5 器質性パーソナリティ障害	0 L	F070	下:6E62		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/1324394161	1 <	6E68	organic personality disorder :Secondary personality changeの synonymに ある。
15058	5 器質性偽精神病質性人格	0 L	F070	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	2 <	6E62	organic pseudopsychopathic personality (ICD-10) :器質性人格障害 の 下位概念?
15059	5 脳炎後症候群	0 L	F071	下:6E62		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	1 <	6E62	Postencephalitic syndrome (ICD-10) :=>Secondary mental or behavioural syndromes associated with disorders or diseases classified elsewhere
15061	5 閉鎖性外傷性脳症	0 L	F072	=:6D71		3 =	http://id.who.int/icd/ent/v/2271610609/ http://id.who.int/icd/ent/v/195531803	1 =	NA07 / 6D71	頭蓋内損傷 (Intracranial injury) のsynonymに閉鎖性頭部外傷 (Closed head injury) あり +軽度認知障害 (index term)に Postconcussional encephalopathy) あり
15062	5 脳震盪後症候群	0 L	F072	=:6D71		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/1968685997	1 =	6D71	Postconcussional syndrome
15063	5 開放性外傷性脳症	0 L	F072	=:6D71		3 =	http://id.who.int/icd/ent/v/1667404773/ http://id.who.int/icd/ent/v/195531803	1 =	NA01 / 6D71	頭部の開放創 (Open wound of head) のsynonymに閉鎖性頭部外傷 (Closed head injury) あり +軽度認知障害 (index term)に Postconcussional encephalopathy) あり
15067	5 外傷性脳症・頭蓋内に達する開放創合併なし	0 L	F072	=:6D71		3 =	http://id.who.int/icd/ent/v/2271610609/ http://id.who.int/icd/ent/v/195531803	1 =	NA07 / 6D71	Post-traumatic brain syndrome ,nonpsychotic: Postconcussional syndrome (脳震盪後症候群) のsynonymに ある。
15068	5 非精神病性外傷後脳症候群	0 L	F072	=:6D71		1 =	http://id.who.int/icd/ent/v/1968685997	1 <	6D71	Post-traumatic brain syndrome ,nonpsychotic: Postconcussional syndrome (脳震盪後症候群) のsynonymに ある。
15070	5 外傷性脳症・頭蓋内に達する開放創合併あり	0 L	F072	=:6D71		3 =	http://id.who.int/icd/ent/v/1667404773/ http://id.who.int/icd/ent/v/195531803	1 =	NA01 / 6D71	頭部の開放創 (Open wound of head) +軽度認知障害 (index term (= Postconcussional encephalopathy) あり
15071	5 側頭葉症候群	0 L	F078	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	2 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome, unspecified
15072	5 器質性人格行動障害	0 L	F078	下:6E62		2 <	http://id.who.int/icd/ent/v/302122526	2 <	6E62	Secondary mental or behavioural syndrome, unspecified

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

No	ICD10 章	ICD11 和 代表 訳との 一致	ICD10 コード	10->11 の 情報	ICD11 和訳に あつた場合の 英語	病名と て現代 では不 適切	措置 関係	ICD11 Foundation URI	措置 関係	MMS Post Coordination	備考
15073	5	クローバー・ピーニー症候群	F078	F078	下:6E6Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z	
15075	5	間脳症	F078	F078	下:6E6Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z	
15076	5	失語・失行・失認症候群	F078	F078	下:6E6Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z	
15077	5	右半球器質性感情障害	F078	F078	下:6E6Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z	
15079	5	脳局所性精神症候群	F078	F078	下:6E6Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z	
15084	5	器質性精神病	F09	F09	下:6E8Z		2 =	http://id.who.int/icd/entity/69696921	1 <	6E8Z	Right hemispheric organic affective disorder (ICD-10)
15089	5	症状精神病	F09	F09	下:6E8Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/302122526	2 <	6E6Z	Mental, behavioural or neurodevelopmental disorders, unspecified: 症状精神病とは、頭(脳)を除くさまざまな身体の病気が原因で精神症状をおこす病気です。 らしいので、意味合いとしてsecondary...が相当すると思われる。
15090	5	宿酔	F100	F100	=:6C40.3	1	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3	アルコール中毒(Alcohol intoxication): 宿酔=alcohol hangoverはSynonymstにある。
15091	5	単純酩酊	F100	F100	=:6C40.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3	アルコール中毒(Alcohol intoxication): 酩酊=DrunknessはSynonymstにある。
15092	5	病的酩酊	F100	F100	=:6C40.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3	アルコール中毒(Alcohol intoxication): 病的酩酊=Pathological alcohol intoxicationはSynonymstにある。
15093	5	複雑酩酊	F100	F100	=:6C40.3		2 <	http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3	アルコール中毒: 複雑酩酊=Complex drunkennessは、ICD-11に無い。
15094	5	アルコール中毒せん妄	F100	F100	=:6C40.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1217486356	1 <	6C40.5	アルコール誘発性せん妄(Alcohol-induced delirium): アルコール中毒せん妄=alcohol deliriumはSynonymstにある。
15095	5	急性アルコール中毒	F100	F100	=:6C40.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1339202943	1 <	6C40.3	アルコール中毒(Alcohol intoxication): 急性アルコール中毒=acute alcohol intoxicationが類義語にある。
15098	5	アルコール乱用	F101	F101	=:6C40.1Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/714690795	1 <	6C40.1Z	アルコールの有害な使用/有害(Harmful pattern of use of alcohol): アルコール乱用=alcohol abuseはSynonymstにある。
15103	5	アルコール依存症	F102	F102	=:6C40.2Z/下:6C40.Z/上:8D44.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1580656198	1 <	6C40.2Z	アルコール依存症(Alcohol dependence): アルコール依存症=Alcohol addictionが類義語にある。
15112	5	アルコール離脱状態	F103	F103	=:6C40.4Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/998231424	1 <	6C40.4Z	アルコール離脱(Alcohol withdrawal): アルコール離脱状態=alcohol withdrawal stateがSynonymstにある。
15115	5	アルコール離脱せん妄	F104	F104	=:6C40.5		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1217486356	1 <	6C40.5	アルコール誘発性せん妄(Alcohol-induced delirium): アルコール離脱せん妄=alcohol withdrawal state with deliriumが類義語にある。
15121	5	アルコール幻覚症	F105	F105	=:6C40.6Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/226414625	1 <	6C40.60	幻覚を伴うアルコール誘発性精神病性障害(Alcohol-induced psychotic disorder with hallucinations): アルコール幻覚症=Alcoholic hallucinosisはSynonymstにある。
15122	5	アルコール性妄想	F105	F105	=:6C40.6Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/226414625	1 <	6C40.60	妄想を伴うアルコール誘発性精神病性障害(Alcohol-induced psychotic disorder with hallucinations): アルコール性妄想=Alcoholic delusion
15123	5	アルコール性精神病	F105	F105	=:6C40.6Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/76299330	1 <	6C40.6Z	アルコール誘発性精神病性障害(Alcohol-induced psychotic disorder): アルコール性精神病=Alcoholism with psychosisはSynonymstにある。
15125	5	アルコール性嫉妬	F105	F105	=:6C40.6Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1484332320	1 <	6C40.6Z	アルコール性嫉妬=Alcoholic jealousy
15135	5	アルコール性 Korsakoff 症候群	F106	F106	=:6D72.10		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1001737902	1 <	6D72.10	アルコール性 Korsakoff 症候群=Alcoholic Korsakoff Syndrome は、アルコール関連の神経障害になる。
15139	5	アルコール性フラッシュバック	F107	F107	上:6C40.Z/上:6D84.0		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1676588433	1 <	6C40.Z	アルコール性フラッシュバック=Alcoholic flashbacksはICD-11に無い。
15142	5	うつ状態アルコール中毒	F107	F107	上:6C40.Z/上:6D84.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/241576806	1 <	6C40.70	うつ状態アルコール中毒=depressed alcoholism
15143	5	慢性アルコール性脳症候群	F107	F107	上:6C40.Z/上:6D84.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1619582852	1 <	6D84.0	慢性アルコール性脳症候群=Chronic alcoholic brain syndrome: アルコール使用による認知症(Dementia) due to use of alcoholの Synonymstにある。

No	ICD10 章	ICD11 和 代表 訳との 義	ICD10 コード	10=>11 のコード の情報を	ICD11 和訳に て現代 では不 適切	病名と 程度	関係	ICD11 Foundation URI	関係	MMS Post Coordination	備考
15145	5	アルコール性運発性パーソナリティ障害	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0		Secondary personality change + アルコール	1 =	http://id.who.int/icd/entry/1334294161 & http://id.who.int/icd/entry/1991751314	1 =	6E68 & XM6U34	
15146	5	アルコール性発達性感情障害	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0		Secondary mood syndrome + アルコール	1 =	http://id.who.int/icd/entry/216291184 & http://id.who.int/icd/entry/1991751314	1 =	6E62 & XM6U34	アルコール性発達性障害=Alcoholic brain syndrome: アルコール使用による認知症(Dementia due to use of alcohol)のSynonym(s)にある。
15147	5	アルコール性脳症候群	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1619582852	1 <	6D84.0	アルコール性運発性精神障害性障害=Acute onset alcoholic psychosis: アルコール使用による認知症(Dementia due to use of alcohol)のSynonym(s)にある。
15148	5	アルコール性運発性精神障害性障害	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1619582852	1 <	6D84.0	
15149	5	アルコール性躁病	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	http://id.who.int/icd/entry/769299330	1 <	6C40.Z	アルコール性躁病=Alcoholic mania: アルコール誘発性精神障害性障害のSynonym(s)にある。
15150	5	アルコール性認知症	F107	上:6C40.Z 上:6D84.0			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1619582852	1 <	6D84.0	アルコール性認知症=Alcoholic dementia: アルコール使用による認知症(Dementia due to use of alcohol)のSynonym(s)にある。
15151	5	アヘン類使用による急性精神・行動障害	F110	=:6C43.3			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1395283456	1 <	6C43.3	アヘン類使用による精神・行動障害=Amental and behavioural disorders due to use of opioids, 急性使用=Acute intoxication: アヘン類中毒=opioid intoxication
15152	5	モルヒネ乱用	F111	=:6C43.1Z			1 =	http://id.who.int/icd/entry/506198470	1 <	6C43.Y	モルヒネ乱用=Disorders due to abuse of morphine: モルヒネの使用による障害(Disorders due to use of morphine)のSynonym(s)にある。
15153	5	アヘン中毒	F112	=:6C43.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1120716949	1 <	6C43.2Z	アヘン中毒=アヘン依存(Opium dependence): オピオイド依存症(Opioid dependence)のSynonym(s)にある。
15154	5	モルヒネ依存	F112	=:6C43.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entry/387142707	1 <	6C43.2Z	モルヒネ依存=Morphine dependence
15155	5	モルヒネ型薬物依存	F112	=:6C43.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entry/2143971168 & http://id.who.int/icd/entry/1715406755	1 =	6C43.2Z & XM1KZ	モルヒネ型薬物依存=薬物依存(drug dependence) + モルヒネとシタ。
15156	5	メサドン中毒	F112	=:6C43.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1628002224	1 <	6C43.2Z	メサドン中毒=Methadone addiction: メサドン依存(Methadone dependence)のSynonym(s)にある。
15157	5	麻薬中毒	F112	=:6C43.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entry/2143971168	1 <	6C43.2Z	麻薬中毒=Drug dependence: 未知または不特定の向精神薬依存(Unknown or unspecified psychoactive substance dependence)のSynonym(s)にある。
15158	5	大麻類使用による急性精神・行動障害	F120	=:6C41.3 上:6C42.3			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1387132352	1 <	6C41.3	大麻類使用による急性精神・行動障害=Mental and behavioural disorders due to use of cannabinoids, 急性使用=Acute intoxication: 大麻中毒=Cannabis intoxication
15161	5	マリファナ依存	F122	=:6C41.2Z 上:6C42.2Z 上:6C42.21 上			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1129015467	1 <	6C41.2Z	マリファナ依存=Cannabis dependence
15163	5	マリファナ中毒	F122	=:6C41.2Z 上:6C42.2Z 上:6C42.21 上			1 <	http://id.who.int/icd/entry/1561629231	1 <	6C41.3	マリファナ中毒=poisoning by marijuana: 大麻の有害な影響(Harmful effects of Cannabis)のSynonym(s)にある。Cannabis intoxicationとしてMMSのコードは同じ。
15165	5	大麻類使用による健忘症候群	F126	下:6D72.1			1 =	http://id.who.int/icd/entry/913846324	1 <	6D72.12	大麻類使用による健忘症候群(Amnesic syndrome): 薬物を含む他の特定の向精神薬による健忘症とした。
15166	5	大麻類使用による発達性および運発性精神障害性障害	F127	重:6C42.6 重:6C41.6			1 =	http://id.who.int/icd/entry/816184127	1 <	6C41.6	大麻発達性精神障害=Cannabis-induced psychotic disorder/ 発達性および運発性精神障害性障害(residual and late-onset psychotic disorder)
15167	5	鎮静薬による急性精神・行動障害	F130	=:6C44.3			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1314209089	1 <	6C44.3	鎮静剤、催眠剤、または抗不安剤中毒=Sedative, hypnotic or anxiolytic intoxication
15168	5	精神安定薬乱用	F131	上:6C44.11 上:6C44.0 上:6C44.10			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1870346724	1 <	6C46.3	精神安定薬乱用は、精神作用物質乱用(psychoactive substance abuse)と同義と判断。未知または不特定の向精神薬による中毒(intoxication due to unknown or unspecified psychoactive substance)のsynonym(s)=psychoactive substance abuserがある。
15171	5	バルビタール依存	F132	=:6C44.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entry/2000022550	1 =	6C44.2Z & XM1Z	鎮静、催眠または抗不安依存症 + バルビタール
15174	5	ベンゾジアゼピン依存症	F132	=:6C44.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entry/1505607466 & http://id.who.int/icd/entry/771629025	1 =	6C44.2Z & XM9X4	鎮静、催眠または抗不安依存症 + ベンゾジアゼピン精神安定剤

No	ICD10 章	ICD11 和 代表 訳との 一致	ICD10 コード	10 → 11 の マッピング 情報	ICD11 和訳に 対応した 場合の 英語	病名と コード では不 一致	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	MMS Post Coordination	備考
15176	5 睡眠薬依存	0 L	F132	=:6C44.2Z			1 =	1 <	6C44.2Z	鎮静、催眠または抗不安依存症
15178	5 精神安定薬依存	0 L	F132	=:6C44.2Z			1 =	1 <	6C44.2Z	鎮静、催眠または抗不安依存症
15180	5 コカイン使用による急性精神・行動障害	0 L	F140	=:6C45.3			1 =	1 <	6C45.3	コカイン中毒=Cocaine intoxication
15181	5 コカイン乱用	0 L	F141	=:6C45.1Z			1 =	1 <	6C45.1Z	コカイン乱用=Cocaine abuse; コカインの有害な使用、パターン (Harmful pattern of use of cocaine)のsynonymに ある。
15182	5 コカイン依存	0 L	F142	=:6C45.2Z			1 =	1 <	6C45.2Z	コカイン依存=Cocaine dependence
15184	5 カフェイン等の精神刺激薬使用による急性精神 ・行動障害	0 L	F150	=:6C46.3			1 =	1 <	6C46.3	Stimulant intoxication including amphetamines, methamphetamine or methcathinone
15186	5 カフェイン使用による急性精神・行動障害	0 L	F150a				1 =	1 <	6C46.3	
15188	5 アムフェタミン使用による急性精神・行動障害	0 L	F150b				1 =	1 <	6C46.3	
15189	5 アムフェタミン乱用	0 L	F151	=:6C46.1Z 上:6C46.0			1 =	1 <	6C46.1Z	アムフェタミン乱用=amphetamines abuse; アムフェタミン、メタン フェタミンまたはメカチロンを含む覚醒剤の有害な使用、パターン (Harmful pattern of use of stimulants including amphetamines, methamphetamine or methcathinone)のsynonymに ある。
15190	5 カフェイン中毒	0 L	F152	=:6C46.2Z			1 =	1 =	6C48.2	カフェイン中毒=Caffeine intoxication
15191	5 覚醒剤依存症	0 L	F152	=:6C46.2Z			1 =	1 <	6C46.2Z	覚醒剤依存症=Stimulant dependence
15192	5 アムフェタミン中毒	0 L	F152	=:6C46.2Z			1 =	1 <	6C46.3	アムフェタミン中毒=amphetamines intoxication
15193	5 カフェイン依存	0 L	F152a				1 <	1 <	6C48.2	Caffeine dependence (ICD-11に無い)。
15194	5 アムフェタミン依存	0 L	F152b				1 <	1 <	6C46.2	Stimulant dependence including amphetamines, methamphetamine or methcathinone
15196	5 精神刺激薬依存	0 L	F152c				1 =	1 <	6C46.2	Stimulant dependence
15197	5 覚醒剤精神病	0 L	F155	下:6C46.6Z			1 =	1 <	6C46.6Z	Stimulant-induced psychotic disorder including amphetamines, methamphetamine or methcathinone、アムフェタミン、メタン フェタミンまたはメカチロンを含む覚醒剤誘発性精神病性障害 Certain specified stimulant-induced mental or behavioural disorders including amphetamines, methamphetamine or methcathinone
15198	5 覚醒剤中毒後遺症	0 L	F157	下:6C46.6Z			1 <	1 <	6C46.7	
15200	5 LSD反応	0 L	F160	=:6C49.3			1 =	1 <	6C49.3	LSD reaction: Hallucinogen intoxicationのsynonymに ある。
15204	5 LSD使用による急性精神・行動障害	0 L	F160	=:6C49.3			1 =	1 <	6C49.3	Certain specified hallucinogen-induced mental or behavioural disorders
15205	5 幻覚薬使用による急性精神・行動障害	0 L	F160	=:6C49.3			1 =	1 <	6C49.2	Mental or behavioural disorders due to use of hallucinogens
15206	5 幻覚薬乱用	0 L	F161	=:6C49.1Z			1 =	1 <	6C49.1Z	Harmful pattern of use of hallucinogens
15209	5 幻覚薬依存	0 L	F162	=:6C49.2Z			1 =	1 <	6C49.2Z	Hallucinogen dependence
15211	5 タバコ使用による急性精神・行動障害	0 L	F170	=:6C4A.3			1 =	1 <	6C4A.2	Mental and behavioural disorders due to use of tobacco: Disorders due to use of nicotineのsynonymに ある。
15213	5 ニコチン依存症	0 L	F172	=:6C4A.2Z			1 =	1 <	6C4A.2Z	Nicotine dependence
15214	5 揮発性溶剤使用による急性精神・行動障害	0 L	F180	=:6C4B.3			1 =	1 <	6C4B.3	Volatile inhaled intoxication
15215	5 有機溶剤吸引	0 L	F181	=:6C4B.1Z			1 =	1 <	6C4B.1Z	harmful use of volatile solvents
15216	5 アシトン血症	0 L	F182	=:6C4B.2Z			1 <	1 <	6C4B.2Z	Disorders due to use of volatile inhalants
15218	5 エーテル中毒症	0 L	F182	=:6C4B.2Z			1 <	1 <	6C4B.2Z	Disorders due to use of volatile inhalants
15219	5 シンナー中毒	0 L	F182	=:6C4B.2Z			1 <	1 <	6C4B.2Z	Disorders due to use of volatile inhalants
15220	5 アシトン中毒症	0 L	F182	=:6C4B.2Z			1 <	1 <	6C4B.2Z	Disorders due to use of volatile inhalants
15221	5 シンナー嗜癖	0 L	F182	=:6C4B.2Z			1 <	1 <	6C4B.2Z	Disorders due to use of volatile inhalants

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第7章 標準病名 ～ (5ページのみ抜粋)

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 1和 訳と 一致	代表 同義 コード	ICD10 コード	10⇒11での マッピング情報	ICD11和訳 にあつた場 合の英訳	病名とし て現代で は不適切	確信度 係	ICD11 Foundation URI	確信 度	関係	MMS Representation	備考
1879	7	マイボーム腺炎	0 1	H000	H000	=9A01.2Z1 上:9A01.0 上: 9A01.1			1 =	http://d.who.int/icd/entity/1435390252 & http://d.who.int/icd/entity/1223272140	1 =	9A01Y&XA9D80	Infectious disorders of eyelid & Meibomian gland	
18881	7	眼瞼蜂巣炎	0 1	H000	H000	=9A01.2Z1 上:9A01.0 上: 9A01.1			1 =	http://d.who.int/icd/entity/1435390252 & http://d.who.int/icd/entity/2144774073 & http://d.who.int/icd/entity/1142630691	1 <	9A01Y/1B70.Z&XA3R81	Infectious disorders of eyelid / cellulitis NOS & eyelids	
18890	7	下眼瞼蜂巣炎	0 1	H000	H000	=9A01.2Z1 上:9A01.0 上: 9A01.1			1 =	http://d.who.int/icd/entity/1435390252 & http://d.who.int/icd/entity/2144774073 & http://d.who.int/icd/entity/146820019	1 <	9A01Y/1B70.Z&XA0V9	Infectious disorders of eyelid / cellulitis NOS & lower eyelids	
18891	7	上眼瞼蜂巣炎	0 1	H000	H000	=9A01.2Z1 上:9A01.0 上: 9A01.1			1 =	http://d.who.int/icd/entity/1435390252 & http://d.who.int/icd/entity/2144774073 & http://d.who.int/icd/entity/844452979	1 <	9A01Y/1B70.Z&XA9K79	Infectious disorders of eyelid / cellulitis NOS & upper eyelids	
18898	7	上尖性霰粒腫	0 1	H001	H001	=9A02.0Z			1 <	http://d.who.int/icd/entity/777918741	1 <	9A02.0Z		
18900	7	急性霰粒腫	0 1	H001	H001	=9A02.0Z			1 <	http://d.who.int/icd/entity/777918741 & http://d.who.int/icd/entity/786106375	1 <	9A02.0Z & XT5R	Chalazion & Acute	
18901	7	化膿性霰粒腫	0 1	H001	H001	=9A02.0Z			1 <	http://d.who.int/icd/entity/777918741	1 <	9A02.0Z		
18902	7	下尖性霰粒腫	0 1	H001	H001	=9A02.0Z			1 <	http://d.who.int/icd/entity/777918741	1 <	9A02.0Z		
18908	7	薬物性眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 <	http://d.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3	blepharitis, nonulcerative	
18909	7	潰瘍性眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 =	http://d.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3		
18913	7	しゅさ性眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 <	http://d.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3	Infectious blepharitis	
18914	7	毒物性眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 <	http://d.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3	Infectious blepharitis	
18915	7	湿疹性眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 <	http://d.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3	Infectious blepharitis	
18916	7	毛包眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 <	http://d.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3	Infectious blepharitis	
18917	7	眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 <	http://d.who.int/icd/entity/1475156994	1 <	9A01.3	Infectious blepharitis	
18919	7	ぶどう球菌性眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 =	http://d.who.int/icd/entity/1475156994 & http://d.who.int/icd/entity/428956900	1 =	9A01.3 & XN9ZG	Infectious blepharitis & Staphylococcus	
18920	7	眼角部眼瞼炎	0 1	H010	H010	=9A01.3 下: 9A02			1 =	http://d.who.int/icd/entity/2044502963	1 =	9A01.3 & XA0A03	Infectious blepharitis & Lateral canthus	
18924	7	アレルギー性眼瞼縁炎	0 1	H011	H011	下:9A06			1 =	http://d.who.int/icd/entity/394493841	1 <	9A06.Y	Allergic dermatitis of eyelid	
18928	7	湿疹性眼瞼皮膚炎	0 1	H011	H011	下:9A06			1 =	http://d.who.int/icd/entity/1226494097	1 <	9A06.Y	Eczematous dermatitis of eyelids	
18931	7	接触眼瞼皮膚炎	0 1	H011	H011	下:9A06			1 =	http://d.who.int/icd/entity/2083171222	1 <	9A06.Y	Contact dermatitis of eyelid	
18932	7	眼瞼乾皮症	0 1	H011	H011	下:9A06			1 =	http://d.who.int/icd/entity/144401595	1 <	9A06.Y	Xeroderma of eyelid	
18934	7	眼瞼腫孔	0 1	H018	H018	下:9A02			1 <	http://d.who.int/icd/entity/1504678744	1 <	9A02.Y	Other specified inflammatory disorders of eyelid	
18935	7	眼瞼びらん	0 1	H018	H018	下:9A02			1 <	http://d.who.int/icd/entity/1504678744	1 <	9A02.Y	Other specified inflammatory disorders of eyelid	
18936	7	睫毛内反症	0 1	H020	H020	上:9A03.1Z1 上:9A04.0			1 =	http://d.who.int/icd/entity/945071067	1 =	9A03.1Z	Entropion of eyelid	

対 Foundation 粒度

対 MMS 粒度

No	ICD10 章 標準病名	ICD11 1和訳との一致	ICD10 代表・同義コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合は不明	病名として現代で通用しない	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		
							関連係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation
18939	7 癩痕性眼瞼内反症	0 L	H202	上:9A03.1Z1 上:9A04.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/10582496688	1 =	9A03.10	Cicatricial entropion of eyelid
18940	7 睫毛乱生症	0 L	H202	上:9A03.1Z1 上:9A04.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/945071067	1 <	9A03.12	Entropion of eyelid
18942	7 老人性眼瞼内反症	0 L	H202	上:9A03.1Z1 上:9A04.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/787611099	1 =	9A03.12	Senile entropion of eyelid
18943	7 痙性眼瞼内反症	0 L	H202	上:9A03.1Z1 上:9A04.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1562340943	1 =	9A03.13	Spastic entropion of eyelid
18947	7 麻痺性眼瞼外反症	0 L	H201	上:9A03.2Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/857829804	1 <	9A03.2Z	Ectropion of eyelid, unspecified
18948	7 老人性眼瞼外反症	0 L	H201	上:9A03.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2033497540	1 =	9A03.2Z	Senile ectropion of eyelid
18952	7 癩痕性眼瞼外反症	0 L	H201	上:9A03.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1758603433	1 =	9A03.20	Cicatricial ectropion of eyelid
18954	7 痙性眼瞼外反症	0 L	H201	上:9A03.2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/182068824	1 =	9A03.23	Spastic ectropion of eyelid
18960	7 偽性眼瞼下垂症	0 L	H203	上:9A06.8			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.0Z	Blepharoptosis, unspecified
18964	7 筋無力性眼瞼下垂症	0 L	H204	上:9A03.0Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.0Z	Blepharoptosis, unspecified
18965	7 麻痺性眼瞼下垂症	0 L	H204	上:9A03.0Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1433019392	1 =	9A03.03	Paralytic ptosis of eyelid
18966	7 機械性眼瞼下垂症	0 L	H204	上:9A03.0Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1150073195	1 =	9A03.01	Mechanical ptosis of eyelid
18967	7 筋原性眼瞼下垂症	0 L	H204	上:9A03.0Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/807528854	1 =	9A03.02	Myogenic ptosis of eyelid
18968	7 交感神経性眼瞼下垂症	0 L	H204	上:9A03.0Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.0Z	Blepharoptosis, unspecified
18971	7 痙攣性眼瞼下垂症	0 L	H204	上:9A03.0Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1433019392	1 =	9A03.03	Paralytic ptosis of eyelid
18972	7 筋萎縮性眼瞼下垂	0 L	H204	上:9A03.0Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.0Z	Blepharoptosis, unspecified
18974	7 眼裂異常	0 L	H205	上:9A06.1 上:9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.0Z	Blepharoptosis, unspecified
18976	7 眼瞼癒痕	0 L	H205	上:9A06.1 上:9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/829235056	1 <	9A06.3	Traumatic scar of eyelid
18977	7 眼瞼後退症	0 L	H205	上:9A06.1 上:9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1361674069	1 <	9A03.0Z	Blepharoptosis, unspecified
18978	7 眼裂縮小	0 L	H205	上:9A06.1 上:9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/11235593	1 <	LA14.05	Congenital eyelid retraction
18979	7 眼裂狭小	0 L	H205	上:9A06.1 上:9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/11235593	1 <	LA14.05	Congenital eyelid retraction
18981	7 眼瞼縮小	0 L	H205	上:9A06.1 上:9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/11235593	1 <	LA14.05	Congenital eyelid retraction
18982	7 眼瞼癒着	0 L	H205	上:9A06.1 上:9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/136743240	1 <	9A06.Y	Other specified disorders of eyelid
18983	7 眼瞼狭窄	0 L	H205	上:9A06.1 上:9A03.3			1 <	http://id.who.int/icd/entity/136743240	1 <	9A06.Y	Other specified disorders of eyelid
18989	7 睫毛白毛	0 L	H207	上:9A06.1 上:9A03.5 上:9A04.1			1 <	http://id.who.int/icd/entity/469605305	1 <	9A04.Y	Acquired poliosis of eyelashes
18990	7 眼瞼白斑	0 L	H207	上:9A06.1 上:9A03.5 上:9A04.1			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1390019541	1 <	9A06.1	Vitiligo of eyelid or periorcular area

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 1和 訳と 一致	代表 同義 コード	ICD10 コード	10⇒11 での マッピング 情報	ICD11和訳 にあつた場 合の英訳	病名とし て現代 は不適切	関連 確信度 係	ICD11 Foundation URI	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
											確信 度	関係	MMS Representation	備考	
18991	7	眼瞼肝斑	0 L		H027	F:9A06I E: 9A03 S1 E: 9A04 1			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1367243240 / http://id.who.int/icd/entity/101755595	1 <		9A06V / ED60.1	Other specified disorders of eyelid / Melasma	
18993	7	腫毛脱毛	0 L		H027	F:9A06I E: 9A03 S1 E: 9A04.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/932302401	1 =		9A04.1	Madarosis of eyelid or perocular area	
18996	7	特異性眼瞼浮腫症	0 L		H028	F:9A06I E: 9A05 Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/136743240 / http://id.who.int/icd/entity/330898059	1 <		9A06V / EB04	Other specified disorders of eyelid / Idiopathic angioedema	
19001	7	マイボーム腺梗塞	0 L		H028	F:9A06I E: 9A05 Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2113471999	1 =		9A02.4	マイボーム腺機能不全 (Meibomian Gland Dysfunction: 以下、MGD)	
19004	7	瞼縁肥厚症	0 L		H028	F:9A06I E: 9A05 Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1367243240	1 <		9A06V	Other specified disorders of eyelid	
19005	7	眼瞼異物残留	0 L		H028	F:9A06I E: 9A05 Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/136743240 & http://id.who.int/icd/entity/2113471999	1 <		9A06V & XA9D 80	Other specified disorders of eyelid & Meibomian gland	
19008	7	瞼板腺分泌過多	0 L		H028	F:9A06I E: 9A05 Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1744602556 / http://id.who.int/icd/entity/1744602556	1 <		9A01.1 / 2F36.4	Abscess of eyelid / Cysts of eyelid	
19009	7	眼瞼良性腫瘤	0 L		H029	=MCI8I F: 9A02			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1744602556	1 <		9A01.1 / 2F36.4	Abscess of eyelid / Cysts of eyelid	
19010	7	眼瞼腫瘤	0 L		H029	=MCI8I F: 9A02			1 <	http://id.who.int/icd/entity/490003542	1 <		9A10V & XT8W	Inflammatory disorders of lacrimal gland & Chronic	
19012	7	慢性涙腺炎	0 L		H040	E:MC12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2022949279 & http://id.who.int/icd/entity/490003542	1 <		9A10V & XT5R	Inflammatory disorders of lacrimal gland & Acute	
19013	7	急性涙腺炎	0 L		H040	E:MC12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2022949279	1 <		9A10V & XT5R	Inflammatory disorders of lacrimal gland	
19014	7	涙腺炎	0 L		H040	E:MC12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1108174726	1 <		9A10.2	Disorders of lacrimal gland, unspecified	
19015	7	涙腺肥大	0 L		H040	E:MC12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/634778462	1 <		9A10.4	Underproduction of tears	
19016	7	ドライアイ	0 L		H041	F:9A12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1108174726 / http://id.who.int/icd/entity/1269792630	1 <		9A10.Z / 2F36.V	Disorders of lacrimal gland, unspecified / Other specified benign neoplasm of eye or ocular adnexa	
19017	7	涙腺粘液のう胞	0 L		H041	F:9A12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1108174726 / http://id.who.int/icd/entity/1269792630	1 <		9A10.Z / 2F36.V	Disorders of lacrimal gland, unspecified / Other specified benign neoplasm of eye or ocular adnexa	
19022	7	涙腺のう腫	0 L		H041	F:9A12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1464034329	1 <		9A10.Z	Disorders of lacrimal gland, unspecified	
19023	7	涙腺萎縮	0 L		H041	F:9A12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/224405565 / http://id.who.int/icd/entity/1611503766	1 =		MC13 / 9A10.3	Epiphora / Hyperlacrimation	
19026	7	涙液分泌不全	0 L		H041	F:9A12			1 =	http://id.who.int/icd/entity/224405565 / http://id.who.int/icd/entity/1611503766	1 =		MC13 / 9A10.3	Epiphora / Hyperlacrimation	
19030	7	涙涙	0 L		H042	=MC13			1 <	http://id.who.int/icd/entity/634778462 / http://id.who.int/icd/entity/1611503766	1 <		MC13 / 9A10.3	Epiphora / Hyperlacrimation	
19031	7	症候性涙涙症	0 L		H042	=MC13			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1628710366	1 <		9A1V	Other specified disorders of lacrimal apparatus	
19033	7	涙のう周囲腫瘍	0 L		H043	E:9A11.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1034960883 & http://id.who.int/icd/entity/2058324694	1 =		9A11.2 & XT1L	Dacryocystitis & Subacute	
19034	7	亜急性涙のう炎	0 L		H043	E:9A11.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/743890238	1 =		9A11.2	Acute dacryocystitis	
19036	7	急性涙のう炎	0 L		H043	E:9A11.2			1 =		1 =		9A11.2	Acute dacryocystitis	

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 1和訳との一致	代表・同義薬コード	ICD10 →ICD11での マッピング情報	ICD11和訳 にあつた場 合の英訳	病名として 現代で は不適切	関連 症候関係	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度	
									ICD11 Foundation URI	症候 関係	MMS Representation	備考
19037	7	涙のう周囲炎	0 L	H043	上:9A11.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A1Y	Other specified disorders of lacrimal apparatus
19046	7	涙のう炎	0 L	H043	上:9A11.2			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 =	9A11.2	Dacryocystitis
19050	7	涙小管のう胞	0 L	H044	下:9A12			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11Y & XA6C35	Anomaly of lacrimal apparatus or duct & Lacrimal canaliculi
19051	7	慢性涙のう炎	0 L	H044	下:9A12			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11.2	Chronic dacryocystitis
19058	7	鼻涙管結石	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11.2 & XA55W9	Disorders of lacrimal drainage system & Nasolacrimal duct
19059	7	涙道閉塞症	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11.8 & XA75Y9	Nasolacrimal duct obstruction & Lacrimal gland
19065	7	涙小管狭窄	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11.5 & XA6C35	Nasolacrimal canaliculus stenosis & Lacrimal canaliculi
19067	7	涙点外反	0 L	H045	=:9A11.2			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 =	9A11.0	Punctal ectropion
19070	7	涙小管結石症	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11.2 & XA55W9	Disorders of lacrimal drainage system & Lacrimal canaliculi
19072	7	総涙小管狭窄	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11.2 & XA55W9	Disorders of lacrimal drainage system & Lacrimal canaliculi
19074	7	鼻涙管狭窄症	0 L	H045	=:9A11.2			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 =	9A11.5	Nasolacrimal canaliculus stenosis
19076	7	涙小管閉塞症	0 L	H045	=:9A11.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11.8 & XA55W9	Nasolacrimal duct obstruction & Lacrimal canaliculi
19077	7	鼻涙管閉鎖症	0 L	H045	=:9A11.2			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 =	9A11.8	Nasolacrimal duct obstruction
19080	7	涙管腫	0 L	H046	下:9A12			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	2F36.Y	Benign neoplasm of lacrimal duct
19082	7	涙道腫	0 L	H046	下:9A12			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11Y	Other specified disorders of lacrimal drainage system Lacrimal
19083	7	涙のう瘻	0 L	H046	下:9A12			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11Y & XA0096	Other specified disorders of lacrimal drainage system & Lacrimal sac
19084	7	涙小管瘻	0 L	H046	下:9A12			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A11.2 & XA55W9	Disorders of lacrimal drainage system & Lacrimal canaliculi
19088	7	眼窩下膿瘍	0 L	H050	下:9A22.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A22.2	Orbital inflammation, unspecified
19091	7	テンプルのう炎	0 L	H050	下:9A22.2			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A22.2	Tenonitis of eye
19093	7	急性眼窩うづ血	0 L	H050	下:9A22.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A20.00 & XT5R	orbital congestion & Acute
19099	7	眼窩炎性偽腫瘍	0 L	H051	下:9A22.2			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A22.2	Pseudotumor of orbit
19104	7	眼窩筋炎	0 L	H051	下:9A22.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A22.2	Chronic orbital myositis
19106	7	炎症性眼窩うづ血	0 L	H051	下:9A22.2			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A20.00	orbital congestion
19108	7	眼窩炎	0 L	H051	下:9A22.2			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 =	9A22.2	Orbital inflammation
19109	7	眼窩偽腫瘍	0 L	H051	下:9A22.2			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A22.2	Pseudotumor of orbit
19110	7	眼球突出症	0 L	H052	=:9A20.00			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 =	9A20.00	Exophthalmic conditions
19112	7	拍動性眼球突出症	0 L	H052	=:9A20.00			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A20.00	Pulsating exophthalmos
19117	7	眼窩浮腫	0 L	H052	=:9A20.00			1 <	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A20.00	orbital swelling
19118	7	間欠性眼球突出症	0 L	H052	=:9A20.00			1 =	http://dx.doi.org/10.1002/9781118103966	1 <	9A20.00	Intermittent exophthalmos

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 1和 取と 一致	代表・ 同義 コード	ICD10 10⇒11 での マッピング 情報	ICD11和訳 にあつた場 合の英訳	病名とし て適切 は不適	確信度 係	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
									ICD11 Foundation URI	確信 度	関係	MMS Representation	
19119	7	眼球突出性眼筋麻痺	0 L	H052	=:9A20.00			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2096451605/	1 <	9A20.00 / 9C82.Y	Exophthalmic conditions / Ophthalmoplegia	
19121	7	眼窩うつ血	0 L	H052	=:9A20.00			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1848388735/	1 <	9A20.00	orbital congestion	
19126	7	眼窩外骨腫症	0 L	H053	=:9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/516153279/ & http://id.who.int/icd/entity/950647567/	1 <	2E83.0 & XH5Y87	Benign neoplasm of orbital bone & Osteochondroma	
19127	7	眼窩萎縮	0 L	H053	=:9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2059048078/	1 <	9A2.Y	Atrophy of orbit	
19132	7	外傷性眼筋脱臼症	0 L	H054	下:9A20.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1080492035/	1 <	9A20.01	Enophthalmos due to trauma or surgery	
19137	7	眼筋脱臼	0 L	H054	下:9A20.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/173831381/	1 =	9A20.01	Enophthalmos	
19138	7	眼筋内異物残留	0 L	H055	=:NA06.2 下: 9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/131493364/	1 <	NA06.2	Retained foreign body of ocular muscle	
19139	7	眼窩内異物残留	0 L	H055	=:NA06.2 下: 9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/105174385/	1 =	NA06.2	Retained foreign body following penetrating wound of orbit	
19140	7	外眼筋ミオパチー	0 L	H058	下:9A22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1877039847/ & http://id.who.int/icd/entity/1639496699/	1 <	8C77 & XA9WT4	Ocular myopathy & Extraocular muscle	
19141	7	眼窩脂肪ヘルニア	0 L	H058	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/73394252/	1 <	9A22	Disorders of orbit, unspecified	
19146	7	眼窩のう胞	0 L	H058	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1244231313/	1 <	9A23	Orbital cyst	
19147	7	眼窩隔壁弛緩症	0 L	H058	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/73394252/	1 <	9A22	Disorders of orbit, unspecified	
19151	7	眼窩内疾患	0 L	H059	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/73394252/	1 <	9A22	Disorders of orbit, unspecified	
19153	7	眼窩腫瘍	0 L	H059	下:9A22			1 <	http://id.who.int/icd/entity/73394252/	1 <	9A22	Disorders of orbit, unspecified	
19155	7	コッホ・ライナーズ菌性性	0 L	H100	=:9A60.3Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/447802965/	1 <	9A60.3Z	Koch-Weeks conjunctivitis	
19171	7	カタル性結膜炎	0 L	H102	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/831696556/	1 <	9A60.2	catarrhal ophthalmia	
19173	7	モラクセス・アクセンツエ	0 L	H102	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1104599251/	1 <	9A60.Y	morax-axenfeld conjunctivitis	
19175	7	化学性結膜炎	0 L	H102	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/831696556/	1 <	9A60.Y	Other specified conjunctivitis	
19178	7	急性濾胞性結膜炎	0 L	H102	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2065252360/ & http://id.who.int/icd/entity/786106375/	1 <	9A60.1 & XTSR	Follicular conjunctivitis & Acute	
19181	7	亜急性結膜炎	0 L	H103	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/831696556/ & http://id.who.int/icd/entity/2058324694/	1 <	9A60.Y & XTIL	conjunctivitis & Subacute	
19184	7	結膜化膿性肉芽腫	0 L	H104	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1974447087/	1 <	9A61.3	Pyogenic granuloma of conjunctiva	
19185	7	萎縮性角結膜炎	0 L	H104	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/741260397/	1 <	9A7.Y	Keratitis and keratoconjunctivitis	
19187	7	慢性濾胞性結膜炎	0 L	H104	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1448663971/	1 <	9A60.1	Chronic follicular conjunctivitis	
19190	7	慢性カタル性結膜炎	0 L	H104	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/831696556/ & http://id.who.int/icd/entity/490003542/	1 <	9A60.Z & XT8W	catarrhal ophthalmia & Chronic	
19191	7	眼瞼縁結膜炎	0 L	H105	=:9A60.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/956823887/	1 =	9A60.4	Blepharoconjunctivitis	
19192	7	接触性眼瞼結膜炎	0 L	H105	=:9A60.4			1 <	http://id.who.int/icd/entity/956823887/	1 <	9A60.4	Blepharoconjunctivitis	
19193	7	眼角部眼瞼縁結膜炎	0 L	H105	=:9A60.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/602571061/	1 <	9A60.4	Angular blepharoconjunctivitis	
19196	7	結膜びらん	0 L	H108	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/831696556/	1 <	9A60.Y	Inflammation of conjunctiva	
19199	7	バリエー結膜腺症候群	0 L	H108	下:9A60.2			1 =	http://id.who.int/icd/entity/996948013/	1 <	9A60.Y	Parinaud's oculoglandular syndrome	
19200	7	結膜濾胞症	0 L	H108	下:9A60.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2065252360/	1 <	9A60.1	Follicular conjunctivitis	
19208	7	結膜乾燥症	0 L	H111	=:9A61.6			1 =	http://id.who.int/icd/entity/11590568415/	1 <	9A61.6	Conjunctival xerosis, not elsewhere classified	

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第8章 標準病名 ～ (5ページのみ抜粋)

No	ICD10章	標準病名	ICD11和訳との一致	代表表・同義コード	ICD10コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にある場合の英語	病名とICD11が不適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
20771	8	緑膿菌性外耳炎	0 L	H602	=:AA02				1 =	1 <	AA02 & XN516 Malignant otitis externa & 緑膿菌 Pseudomonas aeruginosa
20777	8	急性化膿性外耳炎	0 L	H603	=:AA0Z/&XA6ZV6				1 =	1 <	AA0Z Acute bacterial inflammation of external ear (外耳の急性細菌性炎症)
20780	8	出血性外耳炎	0 L	H603	=:AA0Z/&XA6ZV6				1 <	1 <	AA0Z / MG27 Infectious diseases of external ear, unspecified & Bleeding
20781	8	U赤心性外耳炎	0 L	H603	=:AA0Z/&XA6ZV6				1 <	1 <	AA0Z & XK31 Infectious diseases of external ear, unspecified & Diffuse distribution
20783	8	感染性外耳炎	0 L	H603	=:AA0Z/&XA6ZV6				1 =	1 <	AA0Z Infectious diseases of external ear, unspecified
20785	8	外耳道閉塞性角化症	0 L	H604	=:AA40.2				1 =	1 <	AA4Y Keratitis obturans / Keratitis obturans of external ear (ICD-10)
20787	8	急性接触性外耳炎	0 L	H605	=:AA11				1 =	1 =	EK02.10 Irritant contact dermatitis of external ear
20790	8	アレルギー性外耳道炎	0 L	H605	=:AA11				1 =	1 =	EG40.0 Allergic contact dermatitis of external ear
20791	8	急性湿疹性外耳炎	0 L	H605	=:AA11				1 <	1 <	AA11 acute eczematoid otitis externa
20794	8	急性反応性外耳炎	0 L	H605	=:AA11				1 <	1 <	AA3Z & XT5R Otitis externa, unspecified & Acute
20795	8	耳介部皮膚炎	0 L	H605	=:AA11				1 <	1 <	AA3Z & X44E71 Otitis externa, unspecified & Pinna
20796	8	耳介周囲湿疹	0 L	H605	=:AA11				1 <	1 <	AA3Z & X44E71 Otitis externa, unspecified & Pinna
20797	8	急性光線性外耳炎	0 L	H605	=:AA11				1 <	1 <	AA3Z & XT5R Otitis externa, unspecified & Acute
20798	8	急性外耳炎	0 L	H605	=:AA11				1 <	1 <	AA3Z & XT5R Otitis externa, unspecified & Acute
20802	8	化学性急性外耳炎	0 L	H605	=:AA11				1 <	1 <	AA11 Acute noninfectious otitis externa
20804	8	外耳道痛	0 L	H609	F:AA3Z				1 <	1 <	AA3Z / MG3Z Otitis externa (外耳炎)MG3Z Pain, unspecified
20807	8	限局性外耳道炎	0 L	H609	F:AA3Z				1 <	1 <	AA3Z & XA3UC1 & X Otitis externa & External auditory canal & Localised distribution
20808	8	外耳道肉芽腫	0 L	H609	F:AA3Z				1 <	1 <	AA3Z & XA3UC1 Otitis externa & External auditory canal
20812	8	外耳道軟骨炎	0 L	H610	=:AA04				1 =	1 <	AA04 Perichondritis of external auditory canal
20817	8	耳介癬	0 L	H611	=:AA41				1 =	1 <	AA4Y External ear fistula (外耳瘻)
20821	8	軟耳垢	0 L	H612	=:AA42				1 <	1 <	AA42 External ear fistula (外耳瘻)
20829	8	複雑耳垢	0 L	H612	=:AA42				1 <	1 <	AA42 *マッピング表による、Impacted cerumen (耳垢栓塞) 複雑耳垢: complication of cerumen (注ICD-11に異当たらず)
20830	8	外傷性外耳道狭窄症	0 L	H613	=:AA40.1				1 <	1 <	AA40.1 AA40.1 Acquired stenosis of external auditory canal
20832	8	外耳道腫瘍	0 L	H618	U:AA40.0				1 <	1 <	AA6Z & XA3UC1 / 2F Diseases of external ear, unspecified & External auditory canal / tumour mass NOS
20833	8	外耳道掻刺	0 L	H618	U:AA40.0				1 <	1 <	AA6Z & XA3UC1 / NC Diseases of external ear, unspecified & External auditory canal / Superficial injury of unspecified body regions:scratch NOS
20834	8	耳介後部腫瘍	0 L	H618	U:AA40.0				1 <	1 <	AA6Z & XA3547 / 2F Diseases of external ear, unspecified & Posterior surface of pinna / tumour mass NOS

No	ICD10章	ICD11章	ICD11和訳	ICD10コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名とICD11が不適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
No	ICD10章	ICD11章	ICD11和訳	ICD10コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名とICD11が不適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
20837	8	耳癭孔		H618	上:AA40.0			1 =	AA4Y	External ear fistula (外耳瘻)と同じとみなした
20839	8	耳介後部腫脹		H618	上:AA40.0			1 <	AA6Z & XA3547 / M/Oedema, unspecified	Diseases of external ear, unspecified & Posterior surface of pinna / Oedema, unspecified
20840	8	耳介部腫瘍		H618	上:AA40.0			1 <	AA6Z & XA4E71 / ZF	Diseases of external ear, unspecified & pinna / tumour mass NOS
20845	8	急性滲出性中耳炎		H650	=AA80			1 =	AA80	Acute serous or mucoid otitis media (急性滲出性もしくは粘液性中耳炎)
20847	8	亜急性血性中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Acute and subacute sanguinous otitis media (急性および亜急性血性中耳炎)
20848	8	急性アレルギー性中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Acute and subacute allergic otitis media (急性およびアレルギー性中耳炎)
20849	8	亜急性漿液ムチン性中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Acute or subacute seromucinous otitis media (急性または亜急性の漿液ムチン性中耳炎)
20850	8	亜急性アレルギー性中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Acute and subacute allergic otitis media (急性およびアレルギー性中耳炎)
20851	8	急性非化膿性中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Acute nonsuppurative otitis media (急性非漿液性非化膿性中耳炎) *ただし漿液性急性非化膿性中耳炎NOS:acute nonsuppurative otitis media NOSが類義語にある
20852	8	急性ムコイド中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Acute and subacute seruginous otitis media (急性および亜急性血性中耳炎)
20853	8	急性血性中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Acute and subacute sanguinous otitis media (急性および亜急性血性中耳炎)
20854	8	亜急性ムコイド中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Subacute mucoid otitis media
20856	8	急性漿液ムチン性中耳炎		H651	=AA81			1 =	AA81	Acute or subacute seromucinous otitis media (急性または亜急性の漿液ムチン性中耳炎)
20861	8	慢性漿液性中耳炎		H652	下:AA82			1 =	AA82	Chronic serous or mucoid otitis media (慢性漿液性または粘液性中耳炎)
20864	8	慢性ムコイド中耳炎		H653	下:AA82			1 =	AA82	Chronic mucoid otitis media
20867	8	慢性非化膿性中耳炎		H654	下:AA82			1 =	AA82	nonsuppurative chronic otitis media, NOS
20868	8	好酸球性中耳炎		H654	下:AA82			1 <	AA8Z & XA0V82	Nonsuppurative otitis media (非化膿性中耳炎)& Eosinophils
20875	8	アレルギー性中耳炎		H659	下:AA8Z			1 =	AA8Z	Illegit otitis media NOS
20876	8	中耳炎後遺症		H659	下:AA8Z			1 <	AA8Z	*マツピング表による、Nonsuppurative otitis media (非化膿性中耳炎) 中耳炎後遺症:Sequelae of otitis media [はICD-11に該当たらず
20878	8	ムコイド中耳炎		H659	下:AA8Z			1 =	AB0Y	Otitis media due to Streptococcus pneumoniae
20879	8	ムコイド中耳炎		H659	下:AA8Z			1 =	AA8Z	ムコイド中耳炎:ムコイド型肺炎球菌を起炎菌とする、急性中耳炎
20890	8	水疱性中耳炎		H660	=AA90			1 <	AA8Z	mucoid otitis media
20893	8	慢性耳管鼓室化膿性中耳炎		H661	=AA91.0			1 =	AA91.0	*マツピング表による、Acute suppurative otitis media (急性化膿性中耳炎) 水疱性中耳炎:otitis media bullosa [はICD-11に該当たらず
20895	8	上鼓室化膿症		H662	=AA91.1			1 =	AA91.1	Chronic tubotympanic suppurative otitis media
20895	8	上鼓室化膿症		H662	=AA91.1			1 =	AA91.1	*マツピング表による、Chronic atticocentral suppurative otitis media (慢性上鼓室乳突洞化膿性中耳炎)

No	ICD10章	標準病名	ICD11和訳との一致	代表ICD10コード	10⇒11でのトランスラシク情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名とICD11が不適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
20899	8	慢性化膿性穿孔性中耳炎	0 L	H663	=:AA91.2			1 <	1 <	Chronic purulent otitis media * 説明に穿孔を含むという記載がある
20903	8	新生児中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Otitis media, unspecified & Neonatal
20904	8	術後慢性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 =	1 <	Chronic otitis media & Postoperative
20905	8	慢性中耳炎急性増悪	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Otitis media (中耳炎) & acute増悪のコード見当たらず
20906	8	鼓室内水腫	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	AB0Z &XA3K0Z / MG Otitis media (中耳炎) & Tympanic cavity / Fluid retention NOS
20907	8	再発性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 =	1 <	Otitis media (中耳炎) & Recurrent
20909	8	外傷性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Otitis media (中耳炎) 外傷性traumatic otitis media のコードICD-11に見当たらず
20913	8	慢性穿孔性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Chronic otitis media / Perforation of tympanic membrane, unspecified慢性中耳炎急性中耳炎や外傷などによって生じた鼓膜の穴(穿孔)が閉鎖せずに残存している状態
20914	8	慢性中耳炎術後再燃	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	AB01 & XY7V & XT44 Chronic otitis media & 術後: postoperative, & 再燃: Recrudescent
20915	8	陈旧性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Otitis media (中耳炎) 陈旧性見当たらず
20916	8	出血性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Otitis media / Bleeding
20917	8	外傷性穿孔性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 =	1 <	Otitis media (中耳炎) 鼓膜外傷性穿孔: Traumatic perforation of ear drum
20918	8	術後性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 =	1 <	Otitis media (中耳炎) postoperative
20919	8	単純性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	単純性中耳炎: simple otitis media はICD-11に見当たらず
20922	8	中耳炎性顔面神経麻痺	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Otitis media (中耳炎) Disorders of facial nerve, unspecified
20923	8	慢性中耳炎後遺症	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Chronic Otitis media & 後遺症: sequelae of chronic otitis media はICD-11に見当たらず
20927	8	穿孔性中耳炎	0 L	H669	=:AB0Z			1 <	1 <	Otitis media (中耳炎) / Perforation of tympanic membrane, unspecified
20932	8	慢性耳管炎	0 L	H680	=:AB10.2			1 =	1 <	Eustachian salpingitis (耳管炎) & Chronic
20935	8	急性扁桃耳管炎	0 L	H680	=:AB10.2			1 <	1 <	* トンビツク素によるEustachian salpingitis (耳管炎) & Acute
20939	8	耳管狭窄症	0 L	H681	=:AB10.3			1 =	1 <	XA7XV6 Eustachian tube
20940	8	耳管閉塞症	0 L	H681	=:AB10.3			1 =	1 =	耳管狭窄症: Eustachian tube stenosis
20948	8	耳管機能低下	0 L	H699	F:AB10.2			1 =	1 <	Disorders of Eustachian tube (耳管障害)
20965	8	錐体尖端炎	0 L	H702	=:AB11.2			1 =	1 =	Petrositis
20967	8	乳様突起炎	0 L	H709	F:AB11.2			1 =	1 =	Mastoiditis or related conditions (乳様突起炎及び関連病態)
20970	8	コリスネリツク肉芽腫	0 L	H71	=:AB12			1 =	1 <	Cholesteatoma of middle ear (中耳真珠腫)
20973	8	仮性真珠腫	0 L	H71	=:AB12			1 =	1 <	中耳炎の一種で、コリスネリツク肉芽腫
20975	8	コリスネリツク腫	0 L	H71	=:AB12			1 =	1 <	真珠腫性中耳炎 cholesteatoma NOS cholesteatoma NOS

No	ICD10章	標準病名	ICD11和訳とICD10との一致	ICD11和訳にあっては不適切	病名とICD11との不一致	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考	
			代表コード	10⇒11での対応コード	ICD11和訳にあっては不適切	確信度	関係	MMS Representation	
20978	8	鼓室茸状腫症	0 L H71	=AB12		1 <	1 <	AB12	Cholesteatoma of middle ear(中耳茸状腫)
20983	8	鼓膜全欠損	0 L H728	下:AB13.2		1 =	1 <	AB13.Y	Total perforation of tympanic membrane
20991	8	水疱性鼓膜炎	0 L H730	=AB14		1 =	1 <	AB14	Bullous myringitis
20994	8	鼓膜炎	0 L H738	下:AB12		1 <	1 <	AB1.Y / MG4Y	Disorder of tympanic membrane, unspecified / hyperaemia NEC
20995	8	鼓膜炎	0 L H738	下:AB12		1 =	1 <	AB1.Y	myringitis NEC
20996	8	肉芽性鼓膜炎	0 L H738	下:AB12		1 <	1 <	AB1.Y	肉芽性鼓膜炎:Granular myringitis (はICD-11に見当たらず)
20997	8	鼓膜出血	0 L H738	下:AB12		1 <	1 <	AB1.Y / MG27	Disorder of tympanic membrane, unspecified / Bleeding
20998	8	鼓膜湿疹	0 L H738	下:AB12		1 <	1 <	AB1.Y / EA8Z	Disorder of tympanic membrane, unspecified / Eczema
20999	8	上鼓室炎	0 L H738	下:AB12		1 =	1 <	AB1.Y & XA3KB2	myringitis NEC & Tympanic cavity
21001	8	外耳道鼓膜損傷	0 L H739	下:AB12		1 <	1 <	AB1.Y & XA3UC1	Disorder of tympanic membrane, unspecified & External auditory canal
21003	8	鼓膜癒着症	0 L H741	=AB17		1 <	1 <	AB17 & XA08X4 T	Adhesive middle ear disease & ympanic membrane
21008	8	外傷性耳小骨脱臼	0 L H742	=AB18		1 <	1 <	AB18	Dislocation of ear ossicles (耳小骨脱臼) * ただし「外傷性」の記載なし
21009	8	外傷性耳小骨離断	0 L H742	=AB18		1 <	1 <	AB18	Discontinuity of ear ossicles (耳小骨離断) * ただし「外傷性」の記載なし
21020	8	茎状突起過長症	0 L H748	下:AB12		1 <	1 <	AB1.Y	Eagle Syndrome : Other specified diseases of middle ear or mastoid
21024	8	迷路骨包耳硬化症	0 L H802	=AB33		1 =	1 <	AB33	Otosclerosis involving otic capsule (迷路骨包を含む耳硬化症)
21027	8	蝸牛型メニエール病	0 L H810	=AB31.0		1 <	1 <	AB31.0 & XA01V0	Meniere disease (メニエール病) & Cochlea
21029	8	前庭型メニエール病	0 L H810	=AB31.0		1 <	1 <	AB31.0 & XA44P4	Meniere disease (メニエール病) & Auditory vestibule
21033	8	内リンパ水腫	0 L H810	=AB31.0		1 <	1 <	AB31.0	* コービング表によるとMeniere disease (メニエール病) 内リンパ水腫: endolymphatic hydrops * 突発性内リンパ水腫が類義語にある
21042	8	内耳性めまい	0 L H810	=AB31.0		1 <	1 <	AB31.2	BPPV - [benign positional paroxysmal vertigo] とみなした
21048	8	遅発性内リンパ水腫	0 L H810	=AB31.0		1 <	1 <	AB31.0 XT64	endolymphatic hydrops & Delayed onset
21052	8	良性発作性めまい	0 L H811	=AB31.2		1 =	1 =	AB31.2	Benign positional paroxysmal vertigo (良性発作性頭位/体位性めまい) * ただし「頭位/体位」の記載あり
21056	8	体位性めまい	0 L H811	=AB31.2		1 =	1 =	AB31.2	良性発作性めまい: benign paroxysmal vertigo
21063	8	末梢性めまい症	0 L H813	=AB34.1		1 =	1 <	AB34.1	"Benign positional paroxysmal vertigo" is elicited by certain critical provocative physical positions of the patient
21065	8	頭位めまい症	0 L H814	=IMB48.00		1 =	1 =	AB31.2	良性発作性頭位めまい: benign positional paroxysmal vertigo (* ただし「頭位/体位」の記載あり)
21067	8	中枢性めまい症	0 L H814	=IMB48.00		1 =	1 =	MB48.00	Vertigo of central origin
21071	8	頭位変換性めまい	0 L H814	=IMB48.00		1 =	1 <	AB31.2	Benign positional paroxysmal vertigo (良性発作性頭位/体位性めまい) * ただし「頭位/体位」の記載ありと同じとみなした
21072	8	中枢性眼振	0 L H814	=IMB48.00		1 =	1 <	MB48.00	Central positional nystagmus

No	ICD10章	ICD11章	ICD11和訳	ICD10コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳に於ける該当の英語	病名上ICD11と不連符	Foundation 粒度	ICD11 Foundation URI	対MMS 粒度	MMS Representation	備考
21073	8	中樞性頭位眼振	ICD11和訳と一致	H814	=:MB48.00			1 =	https://id.who.int/icd/entry/796932381	1 <	MB48.00	central positional vertigo
21074	8	小脳血管性めまい	ICD11和訳と一致	H814	=:MB48.00			1 =	https://id.who.int/icd/entry/796932381	1 <	MB48.00	
21077	8	ホニ工症候群	ICD11和訳と一致	H818	下:AB34.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entry/794468052	1 <	AB34.Z	*「ウェブ」表によると、Disorders of vestibular function(前庭機能障害) Bonnier's syndrome
21078	8	器質性めまい	ICD11和訳と一致	H818	下:AB34.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entry/794468052	1 <	AB34.Z	*「ウェブ」表によると、Disorders of vestibular function(前庭機能障害)めまいを引き起こす器質疾患は、内耳前庭疾患、脳血管障害や変性疾患、脳腫瘍を含む中枢疾患、脳血流低下による失神を伴う循環器疾患など
21080	8	頭位眼振	ICD11和訳と一致	H819	下:AB34.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1300772836	1 <	AB31.2	*「ウェブ」表によると、Disorders of vestibular function(前庭機能障害)があるが、「末梢性中枢性両疾患における頭位眼振」頭位変換眼振」など多様性があり、どれを指すの不明確でない。頭位性めまいによる眼振であれば、benign paroxysmal nystagmus と与えることができる。
21081	8	前庭性運動失調症	ICD11和訳と一致	H819	下:AB34.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entry/794468052 / https://id.who.int/icd/entry/99719518	1 <	AB34.Z / MB45.0	Disorders of vestibular function(前庭機能障害)運動失調症 ataxia
21082	8	末梢前庭障害	ICD11和訳と一致	H819	下:AB34.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entry/794468052	1 <	AB34.Z	Disorders of vestibular function(前庭機能障害)末梢前庭障害: peripheral vestibular dysfunction (注:CD-11に該当は「末梢前庭障害」)
21088	8	痙性めまい	ICD11和訳と一致	H819	下:AB34.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entry/794468052 / https://id.who.int/icd/entry/157838476	1 <	AB34.Z / MB47.3	Spasticity/痙性: Spasticity
21093	8	平衡異常	ICD11和訳と一致	H819	下:AB34.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/181247302	1 =	MB48.1	Disorder equilibrium
21096	8	回転性めまい	ICD11和訳と一致	H819	下:AB34.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1398684694	1 =	MB48.02	Vertigo
21101	8	急性迷路炎	ICD11和訳と一致	H830	=:AB30.1			1 =	https://id.who.int/icd/entry/786106375	1 =	AB30.1 & XT5R	Labyrinthitis (迷路炎)& Acute
21103	8	中耳炎性内耳炎	ICD11和訳と一致	H830	=:AB30.1			1 =	https://id.who.int/icd/entry/901550793 / https://id.who.int/icd/entry/1079654421	1 <	AB30.1 / AB0Z	Labyrinthitis / Otitis media 中耳炎の原因菌が内耳に入って内耳炎を起す
21105	8	細菌性内耳炎	ICD11和訳と一致	H830	=:AB30.1			1 =	https://id.who.int/icd/entry/901550793 / https://id.who.int/icd/entry/520429137	1 <	AB30.1 / 1C41	Labyrinthitis (迷路炎)/ disease caused by bacteria
21112	8	迷路機能異常	ICD11和訳と一致	H832	=:AB36			1 =	https://id.who.int/icd/entry/609882020	1 =	AB36	Labyrinthine dysfunction
21115	8	迷路機能低下症	ICD11和訳と一致	H832	=:AB36			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1808116960	1 <	AB36	Hypofunction of labyrinth
21120	8	末梢迷路障害	ICD11和訳と一致	H832	=:AB36			1 <	https://id.who.int/icd/entry/609882020	1 <	AB36	labyrinthine disorder NOS
21130	8	迷路障害	ICD11和訳と一致	H839	下:AB32			1 <	https://id.who.int/icd/entry/609882020	1 <	AB36	labyrinthine disorder NOS
21132	8	両側性伝音難聴	ICD11和訳と一致	H900	=:AB51.0			1 =	https://id.who.int/icd/entry/606147016 & https://id.who.int/icd/entry/627678748	1 <	AB51.0 & XK91	conduction deafness & Bilateral
21133	8	一側性伝音難聴	ICD11和訳と一致	H901	重:AB51.0 重:AB50.0			1 =	https://id.who.int/icd/entry/606147016 & https://id.who.int/icd/entry/1038788978	1 <	AB51.0 & XK70	conduction deafness & Unilateral, unspecified
21138	8	老年発症型両側性感音難聴	ICD11和訳と一致	H903	下:AB51.1 上:FC23.2			1 <	https://id.who.int/icd/entry/1351369017 & https://id.who.int/icd/entry/627678743 & https://id.who.int/icd/entry/275453639	1 <	AB51.1 & XK91 & XT7	Acquired sensorineural hearing loss (後天性感音難聴)&Bilateral & Adolescent
21139	8	両側性高音障害漸増型感音難聴	ICD11和訳と一致	H903	下:AB51.1 上:FC23.2			1 <	https://id.who.int/icd/entry/1351369017 & https://id.who.int/icd/entry/627678743 & https://id.who.int/icd/entry/1030064818	1 <	AB51.1 & XK91 & XT	Acquired sensorineural hearing loss (後天性感音難聴)&Bilateral & Gradual onset 漸増型は徐々に低下するケース
21140	8	両側性感音難聴	ICD11和訳と一致	H903	下:AB51.1 上:FC23.2			1 <	https://id.who.int/icd/entry/1351369017 & https://id.who.int/icd/entry/627678743	1 <	AB51.1 & XK91	Acquired sensorineural hearing loss (後天性感音難聴)& Bilateral
21142	8	両側性高音障害急墜型感音難聴	ICD11和訳と一致	H903	下:AB51.1 上:FC23.2			1 <	https://id.who.int/icd/entry/1351369017 & https://id.who.int/icd/entry/627678743 & https://id.who.int/icd/entry/1385443355	1 <	AB51.1 & XK91 & XT3	Acquired sensorineural hearing loss (後天性感音難聴)& Bilateral & Rapid onset

標準病名のICD-11コーディング作業結果

～ 第11章 標準病名 (歯科以外) ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表 同義コード	ICD10 10⇒11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名上 (ICD11) での不整合	強度	関係	ICD11 Foundation URI	強度	関係	MMS Representation	備考
対 Foundation 粒度													
対 MMS 粒度													
26135	11 舌潰瘍	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1 <	<	DA03Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26136	11 リガ・フエーデ病	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1 <	<	DA03Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26137	11 カカリ性舌炎	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26138	11 慢性舌炎	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384 & https://id.who.int/icd/entity/490003542	1 <	<	DA03.0 & X18W	Glossitis & Chronic
26139	11 舌炎	1 L	K140	=:DA03.0	Glossitis		1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1 <	<	DA03Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26141	11 悪液質アフト	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26143	11 マラ一舌炎	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26144	11 舌ひらん	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1 <	<	DA03Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26145	11 舌膿瘍	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/1405733502	1 <	<	DA01.30	Sublingual abscess
26146	11 舌乳頭炎	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26147	11 硬化性舌炎	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26148	11 表在性舌炎	0 L	K140	=:DA03.0			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26149	11 良性移動性舌炎	1 L	K141	=:DA03.1	Benign migratory glossitis		1 <	<					
26151	11 地図状舌	1 L	K141	=:DA03.1	Oral erythema migrans		1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26152	11 剥離性舌炎	0 L	K141	=:DA03.1			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26153	11 剥離性眼局性舌炎	0 L	K141	=:DA03.1			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26154	11 正中菱形舌炎	1 L	K142	=:DA03.3	persistent tuberculum impar		1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/843084384	1 <	<	DA03.0	Glossitis
26155	11 舌苔	1 L	K143	=:DA03.4	tongue coat								
26157	11 黒毛舌	1 L	K143	=:DA03.4	melanoglossia								
26158	11 舌乳頭肥大	0 L	K143	=:DA03.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1189946017	1 =	=	DA03.4	Hypertrophy of tongue papillae
26159	11 舌乳頭萎縮	0 L	K144	=:DA03.2			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/889434421	1 =	=	DA03.2	Atrophy of tongue papillae
26161	11 亀裂舌	0 L	K145	=:DA03			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/699700094	1 <	<	DA03Y	Fissured tongue
26164	11 溝状舌	0 L	K145	=:DA03			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/699700094	1 =	=	DA03Y	Fissured tongue
26166	11 舌痛症	0 L	K146	=:DA0F0			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/6189988578	1 =	=	DA0F0	Burning mouth syndrome
26171	11 舌根部粘膜下出血	0 L	K148	=:DA03			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/304004834	1 <	<	DA03Y	Tongue haemorrhage not elsewhere classified
26172	11 舌肥大	0 L	K148	=:DA03			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1950617208	1 =	=	DA03Y	Hypertrophy of tongue
26173	11 縦歯状舌	1 L	K148	=:DA03	Crenated tongue								
26174	11 舌腫瘍	0 L	K148	=:DA03			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/1844086508 & https://id.who.int/icd/entity/1769856759	1 <	<	2F90 & XA1T19	tumour mass NOS & Tongue
26176	11 舌萎縮	0 L	K148	=:DA03			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/889434421	1 <	<	DA03.2	Atrophy of tongue papillae
26178	11 舌色素沈着症	0 L	K148	=:DA03			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/928435705	1 <	<	DA03Y	Other specified diseases of tongue
26179	11 舌根腫瘍	0 L	K148	=:DA03			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/1844086508 & https://id.who.int/icd/entity/1769856759	1 <	<	2F90 & XA1T19	tumour mass NOS & Tongue
26182	11 舌ホド一フ	0 L	K149	=:DA03			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/928435705	1 <	<	DA03Y	Other specified diseases of tongue
26185	11 好酸球性食道炎	1 L	K20	=:DA24.2	Eosinophilic oesophagitis								
26186	11 食道炎	1 L	K20	=:DA24.2	Oesophagitis								
26187	11 腐食性食道炎	0 L	K20	=:DA24.2			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1540965840 / https://id.who.int/icd/entity/1438820135	1 =	=	DA24.Y / NE11	Other specified oesophagitis / Corrosion of unspecified body region, unspecified degree
26188	11 フルカリ性食道炎	1 L	K20	=:DA24.2	Alkaline oesophagitis								

腐食性食道炎は、酸やフルカリ性薬、重金屬などの組織壊傷性の強い薬剤の取用により発症する食道炎

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表 同義 二点	ICD10 10>11 でのコード ソフト情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名上 大分類 不適合	強度 関係	ICD11 Foundation URI	強度 関係	MMS Representation	備考
						対 Foundation 粒度			対 MMS 粒度		
26189	11 壊死性食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z	neotrising oesophagitis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease]
26190	11 感染性食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z	infectious oesophagitis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26191	11 化学性食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z	chemical oesophagitis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26192	11 消化性食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z	peptic esophagitis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26193	11 剥離性食道炎	0 L	K20	=:D:A2.4.Z	postoperative oesophagitis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA21.Y	Other specified oesophagitis
26194	11 術後食道炎	1 L	K20	=:D:A2.4.Z	abscess of oesophagus						
26195	11 食道腫瘍	1 L	K20	=:D:A2.4.Z	reflux oesophagitis						
26197	11 逆流性食道炎	1 L	K210	U:-D:A2.4.Z E: DA22.Z							
26198	11 維持療法が必要な難治性逆流性食道炎	0 L	K210	U:-D:A2.4.Z E: DA22.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease]
26200	11 術後難治性逆流性食道炎	0 L	K210	U:-D:A2.4.Z E: DA22.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26201	11 維持療法が必要な術後難治性逆流性食道炎	0 L	K210	U:-D:A2.4.Z E: DA22.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26202	11 術後逆流性食道炎	0 L	K210	U:-D:A2.4.Z E: DA22.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z &XY7V	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease] & Postoperative
26203	11 難治性逆流性食道炎	0 L	K210	U:-D:A2.4.Z E: DA22.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entity/1391387859	1 <	DA22.Z	GORD - [gastro-oesophageal reflux disease]
26204	11 非びらん性胃食道逆流症	1 L	K219	F:-D:A2.2.Z	Non-erosive gastro-oesophageal reflux disease						
26205	11 胃食道逆流症	1 L	K219	F:-D:A2.2.Z	Gastro-oesophageal reflux disease						
26212	11 巨大食道	1 L	K220	=:D:A2.1.0	Megaesophagus						
26214	11 食道アライズ	1 L	K220	=:D:A2.1.0	oesophagus achalasia						
26215	11 薬剤性食道腫瘍	0 L	K221	=:D:A2.5.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entity/2041404971	1 =	DA25.31	Drug-induced oesophageal ulcer
26217	11 真菌性食道腫瘍	1 L	K221	=:D:A2.5.Z	Fungal oesophageal ulcer						
26218	11 食道びらん	1 L	K221	=:D:A2.5.Z	Oesophageal erosion						
26219	11 消化性食道腫瘍	1 L	K221	=:D:A2.5.Z	peptic oesophageal ulcer						
26221	11 噴門部潰瘍	1 L	K221	=:D:A2.5.Z	cardia ulcer						
26222	11 食道腫瘍	1 L	K221	=:D:A2.5.Z	Oesophageal ulcer						
26223	11 ヘルペト潰瘍	1 L	K221	=:D:A2.5.Z	Barrett ulcer						
26226	11 食道閉塞症	0 L	K222	=:D:A2.0 F: ME2.4.2	cardia stenosis		1 =	https://id.who.int/icd/entity/873018279	1 =	DA20.0	Oesophageal obstruction
26227	11 噴門狹窄	1 L	K222	=:D:A2.0 F: ME2.4.2							
26228	11 食道圧迫症	0 L	K222	=:D:A2.0 F: ME2.4.2	oesophageal narrowing		1 =	https://id.who.int/icd/entity/1507231999	1 <	DA20.0	Compression of oesophagus
26231	11 食道狹窄	1 L	K222	=:D:A2.0 F: ME2.4.2							
26232	11 食道癭痕	0 L	K222	=:D:A2.0 F: ME2.4.2			1 <	https://id.who.int/icd/entity/1594312948	1 <	DA2Z / ME2Y	Diseases of oesophagus, unspecified / Other specified clinical findings in the digestive system
26233	11 食道良性狹窄	0 L	K222	=:D:A2.0 F: ME2.4.2			1 =	https://id.who.int/icd/entity/1684319314	1 <	DA20.0	Constriction of oesophagus
26234	11 腐食性食道狹窄	0 L	K222	=:D:A2.0 F: ME2.4.2			1 =	https://id.who.int/icd/entity/1684319314	1 <	DA20.0 / NE11	Constriction of oesophagus / Corrosion of unspecified body region, unspecified degree
26238	11 特発性食道破裂	1 L	K223	=:D:A2.0.3Z1 E: DA20.30	Spontaneous rupture of oesophagus						
26239	11 食道穿孔	1 L	K223	=:D:A2.0.3Z1 E: DA20.30	oesophageal perforated						

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表 同義 用語	ICD10 10→11 のマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名上 (ICD11) 不適合	強度	関係	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
									ICD11 Foundation URI	強度	関係	MMS Representation	
26240	11 螺旋状食道	0 L	K224	=:DA21.2 E: DA21.22 E:DA21.1 E:DA21.21 E: DA21.22 E:DA21.20 E:DA21.3 =:DA21.2 E: DA21.22 E:DA21.1 E:DA21.21 E:DA21.20 E:DA21.3	oesophageal spasm		1 =		https://id.who.int/icd/entity/220915819	1 <	DA21.20	Corkscrew Esophagus	
26241	11 食道痙攣	1 L	K224	DA21.22 E:DA21.20 E:DA21.3 =:DA21.2 E: DA21.22 E:DA21.1 E:DA21.21 E:DA21.20 E:DA21.3	oesophageal spasm		1 =			1 <	ME24.A2	Oesophageal haemorrhage	
26242	11 ひまん性食道痙攣	1 L	K224	DA21.22 E:DA21.20 E:DA21.3 =:DA21.2 E: DA21.22 E:DA21.1 E:DA21.21 E:DA21.20 E:DA21.3	Diffuse oesophageal spasm		1 =			1 =	DA21.0	oesophageal achalasia	
26245	11 咽頭食道憩室	1 L	K225	=:DA20.1	pharyngo-oesophageal diverticulum		1 =			1 =	DA26.3	Mallory-Weiss syndrome	
26248	11 ロキタンスキー憩室	1 L	K225	=:DA20.1	Rokitansky diverticulum		1 =			1 =			
26251	11 後天性食道憩室	1 L	K225	=:DA20.1	acquired oesophageal diverticulum		1 =			1 =			
26257	11 フロリ・ワイス症候群	0 L	K226	=:DA26.3			1 =		https://id.who.int/icd/entity/860549324	1 =	DA26.3		
26258	11 ヘルツト食道	1 L	K227	=:DA23.2	Barrett oesophagus		1 =			1 =			
26260	11 食道粘膜下腫瘍	0 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1			1 <		https://id.who.int/icd/entity/1572683579	1 <	2E87	Benign gastrointestinal stromal tumour of oesophagus GIST(ジスト)-Gastrointestinal Stromal Tumor)は、胃や腸の消化管壁の粘膜下にある未分化間葉系細胞に由来する「肉腫」の一種とされ、いわゆる「がん」には属しません。	
26261	11 食道ポリープ	0 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1			1 =		https://id.who.int/icd/entity/1617510698	1 <	2E92.0	Hyperplastic polyp of oesophagus	
26262	11 食道通過障害	0 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1			1 =		https://id.who.int/icd/entity/1594312948/ https://id.who.int/icd/entity/923782542	1 <	DA2Z / VV40	Diseases of oesophagus / impairments in oesophageal passage of substances	
26263	11 食道腫瘍	0 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1			1 <		https://id.who.int/icd/entity/182745816	1 <	2E92.0	Benign neoplasm of oesophagus	
26266	11 食道軟化症	1 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1	oesophagomalacia		1 =			1 =			
26268	11 食道のう胞	0 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1	oesophageal cyst		1 =		https://id.who.int/icd/entity/558017605	1 <	DA2Y	Oesophageal cyst	
26269	11 食道瘻	1 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1	oesophageal fistula		1 =		https://id.who.int/icd/entity/752713197	1 =			
26270	11 食道出血	0 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1			1 =		https://id.who.int/icd/entity/193000689	1 <	DA2Y	Dilatation of oesophagus	
26272	11 食道拡張症	0 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1			1 =		https://id.who.int/icd/entity/752713197	1 =	ME24.A2	Oesophageal haemorrhage	
26273	11 食道弛緩症	0 L	K228	E:DA20.2 E: DA21 E:DA26.2 E:DA26.1			1 =		https://id.who.int/icd/entity/63664846	1 =	DA21.0	oesophageal achalasia	
26275	11 食道障害	1 L	K229	E:DA2Z	oesophageal disorder		1 =			1 =			

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表 同義コード	ICD10 10=>11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名上 (ICD11) 大分類 不適切	強度	関係	ICD11 Foundation URI	強度	関係	MMS Representation	備考
対 Foundation 粒度													
対 MMS 粒度													
26276	11 エトシ又性胃潰瘍	0 L	K250	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/387848341	1	<	DA60.3	Stress ulcer of stomach
26285	11 術後胃潰瘍	0 L	K250	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1001257626 & https://id.who.int/icd/entity/182265087	1	=	DA60.6Y & XY7V	Gastric ulcer due to external causes & Postoperative
26286	11 デュロワオイ潰瘍	0 L	K250	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1001257676 / https://id.who.int/icd/entity/915551573	1	<	DA60.6Y / DA43.2	Gastric ulcer due to external causes / Dieulafoy vascular malformation of stomach
26288	11 急性出血性胃潰瘍	1 L	K250	F:.DA60.Z	acute haemorrhagic gastric ulcer		1	=	https://id.who.int/icd/entity/13682763406	1	<	DA42.72	AGWL - [acute gastric mucosal lesion]
26289	11 急性胃粘膜炎	0 L	K250	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/275405892	1	<	DA60Y	Acute perforated gastric ulcer
26290	11 急性胃潰瘍穿孔	0 L	K251	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/275405892 / https://id.who.int/icd/entity/940081656	1	<	DA60Y / MG27	Acute perforated gastric ulcer / Haemorrhage; not elsewhere classified
26291	11 急性出血性胃潰瘍穿孔	0 L	K252	F:.DA60.Z	acute eroded gastric ulcer		1	=					
26292	11 急性胃潰瘍	1 L	K253	F:.DA60.Z									
26294	11 出血性胃潰瘍	1 L	K254	F:.DA60.Z	haemorrhagic stomach ulcer								
26296	11 多発性出血性胃潰瘍	0 L	K254	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/939323099	1	<	DA60Y	Haemorrhagic stomach ulcer
26297	11 エトシ又性潰瘍	0 L	K254	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1437411258 & https://id.who.int/icd/entity/765024726	1	<	DA60Y & XM8Y6	Gastric ulcer & steroid
26299	11 エトシ又性潰瘍	0 L	K254	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1437411258	1	<	DA60Y	Acute perforated gastric ulcer
26302	11 穿孔性胃潰瘍	0 L	K255	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1437411258 & https://id.who.int/icd/entity/72131353160	1	<	DA60Y & XM8Y6	Gastric ulcer & steroid
26308	11 エトシ又性潰瘍穿孔	0 L	K255	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1437411258 & https://id.who.int/icd/entity/765024726	1	<	DA60Y & XM8Y6	Gastric ulcer & steroid
26309	11 穿通性胃潰瘍	0 L	K255	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/437411258	1	<	DA60Y	Perforation of stomach
26310	11 胃穿孔	0 L	K255	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/819812005	1	<	ME24.3Y	Gastric ulcer
26312	11 出血性胃潰瘍穿孔	0 L	K256	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/939323099 / https://id.who.int/icd/entity/230565312	1	<	DA60Y / DA61	Haemorrhagic stomach ulcer / Peptic ulcer; unspecified as acute or chronic, with perforation
26315	11 慢性胃潰瘍	0 L	K257	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1437411258 & https://id.who.int/icd/entity/490003542	1	<	DA60Y & XT8W	Gastric ulcer & Chronic
26320	11 胃潰瘍瘢痕	0 L	K257	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1033154855	1	<	DA60Y	Ulcer scar of the stomach
26322	11 慢性胃潰瘍活動期	0 L	K257	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1437411258 & https://id.who.int/icd/entity/490003542 & https://id.who.int/icd/entity/772847694	1	<	DA60Y & XT8W & XT98	Gastric ulcer & Chronic & Active
26324	11 再発性胃潰瘍	0 L	K257	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1437411258 & https://id.who.int/icd/entity/172131353160	1	<	DA60Y & XT8W	Gastric ulcer & Recurrent
26328	11 残胃潰瘍	0 L	K259	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1437411258 / https://id.who.int/icd/entity/1844182634	1	<	DA60Y / QF01.Y	Gastric ulcer &; gastrocomy status 残胃潰瘍とは、外科的胃切除術後の残胃に生じる潰瘍を示す病態
26330	11 胃潰瘍	1 L	K259	F:.DA60.Z	Gastric ulcer		1	=					
26332	11 薬剤性胃潰瘍	0 L	K259	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1486914773	1	=	DA60.62	Drug-induced gastric ulcer
26333	11 多発胃潰瘍	0 L	K259	F:.DA60.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/1437411258	1	<	DA60Y	Gastric ulcer
26336	11 NSAIDs胃潰瘍	0 L	K259	F:.DA60.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1750844488	1	<	DA60.62	Ulcer of the stomach due to NSAID - [non-steroidal anti-inflammatory drug]
26337	11 胃ひらん	1 L	K259	F:.DA60.Z	erosion of stomach		1	<	https://id.who.int/icd/entity/1437411258	1	<	DA60Y	Gastric ulcer
26338	11 難治性胃潰瘍	0 L	K259	F:.DA60.Z			1	<					
26339	11 急性出血性十二指腸潰瘍	1 L	K260	F:.DA63.Z	acute haemorrhagic duodenal ulcer		1	=	https://id.who.int/icd/entity/2144907019	1	=	DA63.3	Stress ulcer of duodenum
26340	11 エトシ又性十二指腸潰瘍	0 L	K260	F:.DA63.Z			1	<	https://id.who.int/icd/entity/553678663 & https://id.who.int/icd/entity/182265087	1	<	DA63.Z & XY7V	Duodenal ulcer, unspecified & Postoperative
26343	11 術後十二指腸潰瘍穿孔	0 L	K261	F:.DA63.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/313082510	1	<	DA63Y	Acute perforated duodenal ulcer
26346	11 急性出血性十二指腸潰瘍	0 L	K262	F:.DA63.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/1731626003	1	<	DA63Y	Acute haemorrhagic perforated duodenal ulcer
26347	11 急性十二指腸潰瘍	1 L	K263	F:.DA63.Z	acute duodenal ulcer								
26350	11 出血性十二指腸潰瘍	0 L	K264	F:.DA63.Z			1	=	https://id.who.int/icd/entity/553678663 / https://id.who.int/icd/entity/940081656	1	<	DA63Y / MG27	Duodenal ulcer / Haemorrhage; not elsewhere classified

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表 同義 二点	ICD10 10⇒11 のコード	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名上 大分類 不適合	強度 関係	ICD11 Foundation URI	強度 関係	MMS Representation	備考
26351	11 十二指腸穿孔	1 L	K265	F:.DA63.Z	Perforation of duodenum		1 =	https://id.who.int/icd/entity/15982276925	1 <	DA63Y	Perforated duodenal ulcer
26353	11 穿孔性十二指腸潰瘍	0 L	K265	F:.DA63.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63Y	Other specified duodenal ulcer
26355	11 穿通性十二指腸潰瘍	0 L	K265	F:.DA63.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63Y	Other specified duodenal ulcer
26358	11 出血性十二指腸潰瘍穿孔	0 L	K266	F:.DA63.Z	Perforated duodenal ulcer / Haemorrhage, not elsewhere classified		1 =	https://id.who.int/icd/entity/15982276925 https://id.who.int/icd/entity/940081656	1 <	DA63Y / MG27	Perforated duodenal ulcer / Haemorrhage, not elsewhere classified
26360	11 慢性十二指腸潰瘍	1 L	K267	F:.DA63.Z	Chronic duodenal ulcer		1 <	https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63Y	Other specified duodenal ulcer
26366	11 十二指腸潰瘍癒後	0 L	K267	F:.DA63.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63Y	Other specified duodenal ulcer
26367	11 慢性十二指腸潰瘍活動期	0 L	K267	F:.DA63.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entity/553678663 & https://id.who.int/icd/entity/490003542 & https://id.who.int/icd/entity/172847694	1 <	DA63.Z & XT8W & XT98	Duodenal ulcer & Chronic & Active
26371	11 再発性十二指腸潰瘍	0 L	K267	F:.DA63.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entity/553678663 & https://id.who.int/icd/entity/172847694	1 <	DA63.Z & XT44	Duodenal ulcer & Recurrent
26372	11 多発性十二指腸潰瘍	0 L	K269	F:.DA63.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/553678663 & https://id.who.int/icd/entity/1721353160	1 <	DA63.Z	Duodenal ulcer, unspecified
26374	11 難治性十二指腸潰瘍	0 L	K269	F:.DA63.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63.Z	Duodenal ulcer, unspecified
26375	11 十二指腸潰瘍	1 L	K269	F:.DA63.Z	Duodenal ulcer		1 <	https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63.Z	Duodenal ulcer, unspecified
26378	11 NSAIDs十二指腸潰瘍	0 L	K269	F:.DA63.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entity/371582185	1 <	DA63.50	Duodenal ulcer due to NSAID - [non-steroidal anti-inflammatory drug]
26379	11 十二指腸びらん	1 L	K269	F:.DA63.Z	Duodenal erosion		1 <	https://id.who.int/icd/entity/553678663	1 <	DA63Y	Other specified duodenal ulcer
26381	11 十二指腸球後部潰瘍	0 L	K269	F:.DA63.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/145813715 & https://id.who.int/icd/entity/18265087	1 <	DA61 & XT7V	peptic ulcer disease & Postoperative
26383	11 クラウン潰瘍	1 L	K270	F:.DA61	Cushings ulcer		1 <	https://id.who.int/icd/entity/145813715	1 <	DA61	peptic ulcer disease
26385	11 術後胃十二指腸潰瘍	0 L	K270	F:.DA61			1 <	https://id.who.int/icd/entity/145813715	1 <	DA61	peptic ulcer disease
26388	11 ストレス潰瘍	0 L	K270	F:.DA61			1 <	https://id.who.int/icd/entity/145813715	1 <	DA61	peptic ulcer disease
26390	11 胃十二指腸潰瘍癒後	0 L	K277	F:.DA61			1 <	https://id.who.int/icd/entity/145813715	1 <	DA61	peptic ulcer disease
26392	11 胃十二指腸潰瘍	1 L	K279	F:.DA61	gastroduodenal ulcer		1 <	https://id.who.int/icd/entity/145813715	1 <	DA61	peptic ulcer disease
26395	11 NSAIDs潰瘍	0 L	K279	F:.DA61			1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481 / https://id.who.int/icd/entity/204414353	1 <	DA62.Z / ME24.9Z	Anastomotic ulcer, unspecified / Gastrointestinal bleeding, unspecified
26401	11 出血性吻合部潰瘍	0 L	K284	F:.DA62.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481 / https://id.who.int/icd/entity/472717853	1 <	DA62.Z / ME24.3Y	Anastomotic ulcer, unspecified / Digestive system perforation
26403	11 穿孔性吻合部潰瘍	0 L	K285	F:.DA62.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z	Anastomotic ulcer, unspecified
26404	11 吻合部潰瘍癒後	0 L	K287	F:.DA62.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z	Anastomotic ulcer, unspecified
26406	11 難治性吻合部潰瘍	0 L	K289	F:.DA62.Z	Anastomotic ulcer		1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z	Anastomotic ulcer, unspecified
26409	11 吻合部潰瘍	1 L	K289	F:.DA62.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z	Anastomotic ulcer, unspecified
26412	11 出血性胃炎	1 L	K290	=:DA42.7Z	haemorrhagic gastritis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z	Anastomotic ulcer, unspecified
26415	11 急性胃炎	1 L	K291	F:.DA42.Z	acute gastritis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z	Anastomotic ulcer, unspecified
26416	11 急性びらん性胃炎	1 L	K291	F:.DA42.Z	acute erosive gastritis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/958574481	1 <	DA62.Z	Anastomotic ulcer, unspecified
26419	11 胃空腸間胃炎	0 L	K291	F:.DA42.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/1398301359 & https://id.who.int/icd/entity/18598211	1 <	DA94.Z & XA8UM1	Noninfectious enteritis or ulcer of small intestine, unspecified 6 Jejunum
26421	11 胃腸癌癒後	1 L	K291	F:.DA42.Z	Phlegmonous gastritis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/1871672644	1 <	DA42.Z	Gastritis, unspecified
26422	11 胃周囲炎	0 L	K291	F:.DA42.Z	Alcoholic gastritis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/1871672644	1 <	DA42.Z	Gastritis, unspecified
26423	11 アルコール性胃炎	1 L	K292	=:DA42.80			1 =	https://id.who.int/icd/entity/624491761	1 =	DA42.71	Chronic superficial gastritis of unknown aetiology
26426	11 表層性胃炎	1 L	K293	=:DA42.71	atrophic gastritis		1 <	https://id.who.int/icd/entity/456893792	1 <	DA42.73	Gastric atrophy
26431	11 萎縮性胃炎	0 L	K294	=:DA42.73			1 =	https://id.who.int/icd/entity/1871672644 & https://id.who.int/icd/entity/490003542	1 <	DA42.Z & XT8W	Gastritis, unspecified & Chronic
26435	11 慢性胃炎	0 L	K295	F:.DA42.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/1796017140	1 <	DA42.75	Granulomatous gastritis of unknown aetiology
26438	11 肉芽腫性胃炎	0 L	K296	F:.DA42.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entity/1796017140	1 <	DA42.75	Granulomatous gastritis of unknown aetiology

標準病名のICD-11コーディング作業結果 ～ 第12章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD11標準病名	ICD11和訳との一致	代表・同コード	ICD10 10=>11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
							値 関係 ICD11 Foundation URI	値 関係 MMS Representation	
28311	12 皮膚病 ぶどう球菌性熱傷様皮膚症	0 L	L00	=EA50.2			1 = http://id.who.int/icd/entry/11554593739	1 = EA50.2	Staphylococcal scalded skin syndrome
28313	12 全身伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 < http://id.who.int/icd/entry/971176543	1 < 1872.2	伝染性膿痂疹-膿痂疹、全身性は無し。
28314	12 外耳膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/1188082376	1 = AA3Y / 1872	外耳膿痂疹(Otitis externa in impetigo)
28316	12 膿痂疹外耳炎	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/1188082376	1 = AA3Y / 1872	Otitis externa in impetigo
28317	12 痂皮性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/25824900	1 < 1872.1	膿痂疹には、水泡性と痂皮性性の2種類があり、水泡性とはそれ以外に分けられている。痂皮性性は、Non-bullous impetigo
28318	12 上肢伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/971176543 & http://id.who.int/icd/entry/286233688	1 = 1872.Y & XA4BA8	伝染性膿痂疹 & 上肢-XA4BA8 Upper extremity
28319	12 外陰部膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/986233688	1 = 1872.Y & XA78U5	伝染性膿痂疹 & XA78U5 Vulva
28320	12 頸幹伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/947150833	1 = 1872.Z & XA3FR3	伝染性膿痂疹 & XA3FR3 Trunk
28321	12 下肢伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/971176543 & http://id.who.int/icd/entry/2093217246	1 = 1872.Y & XA45A6	伝染性膿痂疹 & XA45A6 Lower extremity
28324	12 顔面膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/971176543 & http://id.who.int/icd/entry/968129184	1 = 1872.Y & XA86S4	伝染性膿痂疹 & XA86S4 Face
28326	12 連鎖球菌性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/971176543 & http://id.who.int/icd/entry/1997317917	1 = 1872.Y & XN3NM	伝染性膿痂疹 & XN3NM Streptococcus
28329	12 伝染性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/971176543	1 < 1872.2	伝染性膿痂疹-膿痂疹
28332	12 新生児膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/971176543 & http://id.who.int/icd/entry/1352518340	1 = 1872.Y & XT16	伝染性膿痂疹 & XT16 Neonatal
28333	12 白色ぶどう球菌性膿痂疹	0 L	L010	重:1872.0 重:1872.1 重:1872.Z			1 = http://id.who.int/icd/entry/971176543 & http://id.who.int/icd/entry/428956900	1 = 1872.Y & XN9ZG	白色ぶどう球菌性膿痂疹(土肥)→ブドウ球菌性伝染性膿痂疹という名称が一般化。伝染性膿痂疹XN9ZG Staphylococcus
28335	12 顔面膿痂疹性湿疹	0 L	L011	=1872.2			1 < http://id.who.int/icd/entry/968129184	1 < 1872.2 & XA86S4	皮膚の二次刺激 & XA86S4 Face
28337	12 腰部膿痂疹性湿疹	0 L	L011	=1872.2			1 < http://id.who.int/icd/entry/25824900 & http://id.who.int/icd/entry/1894266247	1 < 1872.2 & XA3VA7	皮膚の二次刺激 & XA3VA7 Buttock
28339	12 膿痂疹性湿疹	0 L	L011	=1872.2			1 < http://id.who.int/icd/entry/25824900	1 < 1872.2	皮膚の二次刺激
28340	12 全身膿痂疹性湿疹	0 L	L011	=1872.2			1 < http://id.who.int/icd/entry/25824900	1 < 1872.2	皮膚の二次刺激、全身は無し。

No	ICD10 標準病名 章	ICD11和 訳との 一致	代表・同 義	ICD10 コード	10⇒11での マッピング情報	ICD11和訳に あつた場合 の英語	病名とし て現代 では不 適切	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考	
								値	関係	値	関係		
								ICD11 Foundation URI	ICD11 Foundation URI	MMS Representation			
28342	12 頸幹膿疱性湿疹	0 L		L011	=1B72.2			http://id.who.int/icd/entity/25824900 & http://id.who.int/icd/entity/947150833	http://id.who.int/icd/entity/25824900 & http://id.who.int/icd/entity/947150833	1 <		皮膚の二次刺激 & XA3FR3	
28343	12 上肢膿疱性湿疹	0 L		L011	=1B72.2			http://id.who.int/icd/entity/25824900 & http://id.who.int/icd/entity/986233688	http://id.who.int/icd/entity/25824900 & http://id.who.int/icd/entity/986233688	1 <		皮膚の二次刺激 & XA4BA8 [Upper limb]	
28344	12 頭部膿疱性湿疹	0 L		L011	=1B72.2			http://id.who.int/icd/entity/25824900 & http://id.who.int/icd/entity/1351976561	http://id.who.int/icd/entity/25824900 & http://id.who.int/icd/entity/1351976561	1 <		皮膚の二次刺激 & XA20Q1 Head[頭部:head]	
28347	12 顔面膿瘍	0 L		L020	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/968129184	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/968129184	1 =		1B75.3 & XA86S4	*【膿瘍=abscess】& XA86S4 Face ☆L02000項目 に共通する整理せつ(おでこ)は、 ノドツ球菌感染により生じる皮膚膿瘍であり、 毛包とその周囲の組織を侵す。 よつは複数のせつが皮下でつな がってできる病変であり、せつ よつよりも化膿が深く、膿 液化を来す。それらは皮下膿 瘍より小さく、浅在性である。 診断は病変の外観による。
28350	12 下顎部膿瘍	0 L		L020	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/608198862	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/608198862	1 =		1B75.3 & XA2C62	*【膿瘍=abscess】& XA2C62 Chin :ICD-11 X章において は、皮膚として考えると下 顎部は「顎」に含まれる と判断した。
28351	12 顔面よつ	0 L		L020	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/968129184	http://id.who.int/icd/entity/968129184	1 =		1B75.1 & XA86S4	*【よつ=Carbuncle】& XA86S4 Face
28352	12 頬部膿瘍	0 L		L020	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1286369458	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1286369458	1 =		1B75.3 & XA7MK8	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍 ⇒abscess】は類義語。& 頬部=Cheek
28353	12 顔面せつ	0 L		L020	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/968129184	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/968129184	1 =		1B75.0 & XA86S4	*【せつ=Furuncle】& XA86S4 Face
28356	12 前額部膿瘍	0 L		L020	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/862454798	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/862454798	1 =		1B75.3 & XA6TR8	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍 ⇒abscess】は類義語。& 前額部=Forehead
28358	12 頸部よつ	0 L		L021	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/956558826	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/956558826	1 =		1B75.1 & XA7AA6	*【よつ=Carbuncle】& XA7AA6 Neck
28360	12 頸部せつ	0 L		L021	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/956558826	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/956558826	1 =		1B75.0 & XA7AA6	*【せつ=Furuncle】& XA7AA6 Neck
28363	12 頸部膿瘍	0 L		L021	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/956558826	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/956558826	1 =		1B75.3 & XA7AA6	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍 ⇒abscess】は類義語。& 頸部=Neck
28373	12 背部膿瘍	0 L		L022	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1187030	http://id.who.int/icd/entity/1187030	1 =		1B75.3 & XA2P90	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍 ⇒abscess】は類義語。& 背中=Back
28375	12 胸部よつ	0 L		L022	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/650081113	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/650081113	1 =		1B75.1 & XA5D93	*【よつ=Carbuncle】& 【胸部=Thorax】
28377	12 会陰部よつ	0 L		L022	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/402925049	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/402925049	1 =		1B75.1 & XA5N9	*【よつ=Carbuncle】& 会陰=Perineum
28381	12 臍部せつ	0 L		L022	重:1B75.01重: 1B75.21重:1B75. 31重:1B75.1			http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1330482498	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1330482498	1 =		1B75.0 & XA3MT8	*【せつ=Furuncle】& 臍=Umbilicus

		対 Foundation 粒度				対 MMS 粒度							
No	ICD10 標準病名章	ICD11和訳との一致	代表・同コード	ICD10 10=>11 でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	病名として現代では不適切	価値	関係	ICD11 Foundation URI	価値	関係	MMS Representation	備考
28382	12 会陰部せつ	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/402925049	1 =		1B75.0 & XA53N9	*【せつ=Furuncle】& 会陰=Perineum
28383	12 会陰部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/402925049	1 =		1B75.3 & XA53N9	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 会陰=Perineum
28385	12 臍部よち	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1330482498	1 =		1B75.1 & XA3MT8	*【よち=Carbuncle】& 臍=Umbilicus
28386	12 腹部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1983193090	1 =		1B75.3 & XA6GV0	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 腹部=Abdomen
28388	12 胸部せつ	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/650081113	1 =		1B75.0 & XA5D93	*【せつ=Furuncle】& 【胸部=Thorax】
28390	12 肋骨周囲膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			2 <		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/650081113	2 <		1B75.3 & XA5D93	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。肋骨周囲膿瘍=Pericostal abscessは、無い。肋骨周囲=around the ribsも無い。そのため、胸郭=XA5D93 Thoraxの下位とした。
28395	12 肩胛部よち	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1206407267	1 =		1B75.1 & XA0GN7	*【よち=Carbuncle】& 【肩胛部=Inguinal region】
28396	12 肩胛部せつ	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1206407267	1 =		1B75.0 & XA0GN7	*【せつ=Furuncle】& 【鼠径部=linguinal region】
28398	12 腹部よち	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1983193090	1 =		1B75.1 & XA6GV0	*【よち=Carbuncle】& 腹部=Abdomen
28400	12 臍部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1330482498	1 =		1B75.3 & XA3MT8	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 臍=Umbilicus
28401	12 腸骨部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1286173258	1 =		1B75.3 & XA0NH8	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 腸骨領域=Iliac region
28404	12 下腹部膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/2105593940	1 =		1B75.3 & XA4TC0	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 下腹部=Lower abdomen
28405	12 背部せつ	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1187030	1 =		1B75.0 & XA2P90	*【せつ=Furuncle】& 背部=Back
28406	12 膈壁膿瘍	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/119571850	1 =		1B75.3 & XA3KX0	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。& 膈壁=Abdominal wall
28407	12 背部よち	0 L	L022	重:1875.0 重:1875.2 重:1875.3 重:1875.1			1 =		http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1182030	1 =		1B75.1 & XA2P90	*【よち=Carbuncle】& 背部=Back

No	ICD10 標準病名 章	ICD11和 訳との 一致	代表・同 義	ICD10 コード	10⇒11での マッピング情報	ICD11和訳に あつた場合 の英語	病名とし て現代 では不 適切	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
								価値 関係	ICD11 Foundation Uri	価値 関係	MMS Representation	
28411	12 前胸部膿瘍	0 L		L022	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/481043491	1 =	1B75.3 & XA2RT1 & 前胸部=Precordium	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 前胸部=Precordium
28413	12 側胸部膿瘍	0 L		L022	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			2 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/691256124	1 =	1B75.3 & XA7884	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 側胸部=横胸部領域
28415	12 腹部せつ	0 L		L022	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1983193090	1 =	1B75.0 & XA6GV0	*【せつ= Furuncle】& 腹部=Abdomen
28416	12 腰部膿瘍	0 L		L022	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1218764272	1 =	1B75.3 & XA9ET2	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【腰=Lower back】皮膚科なので、Surface topographyからLower backを選択した。
28418	12 肩胛部膿瘍	0 L		L022	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1206407267	1 =	1B75.3 & XA0GN7	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【肩胛部=Inguinal region】
28420	12 股部膿瘍	0 L		L023	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1894266247	1 =	1B75.3 & XA3VA7	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【股部=Buttock】
28422	12 股部せつ	0 L		L023	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1081137172 & http://id.who.int/icd/entity/1894266247	1 =	1B75.0 & XA3VA7	*【せつ= Furuncle】& 【股部=Buttock】
28424	12 股部ぶよ	0 L		L023	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1894266247	1 =	1B75.1 & XA3VA7	*【ぶよ=Carbuncle】& 【股部=Buttock】
28425	12 示指膿瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/15105170	1 =	1B75.3 & XA6NZ0	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【示指(人差し指=index finger)】
28429	12 小指膿瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1621005983	1 =	1B75.3 & XA5EN3	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【小指=little finger】
28430	12 足背膿瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/2084017562	1 =	1B75.3 & XA8BE2	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【足背=dorsum of foot】
28431	12 環指膿瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1823823558	1 =	1B75.3 & XA06X8	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【環指(薬指)=ring finger】
28433	12 中指膿瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/806667718	1 =	1B75.3 & XA0Y38	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【中指=middle finger】
28434	12 趾膿瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1324834502 & http://id.who.int/icd/entity/1735902769	1 =	1B75.3 & XA4LC9	*皮膚の化膿性膿瘍【膿瘍=abscess】は類義語。 & 【趾=Toes】
28435	12 腋窩ぶよ	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1456834066 & http://id.who.int/icd/entity/1494375321	1 =	1B75.1 & XA17J1	*【ぶよ=Carbuncle】& 【腋窩=Axilla】

No	ICD10 標準病名 章	ICD11和 訳との 一致	代表・同 義	ICD10 コード	10⇒11での マッピング情報	ICD11和訳に あつた場合 の英語	病名とし て現代 では不 適切	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
								関係	値	関係	値	
28444	12 足趾腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA1XM4	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【足踵→足の裏で発症 足の裏⇒Sole of foot】
28449	12 下腿腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA45A6	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【下腿⇒lower leg】
28451	12 肩よう	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.1 & XA2ND5	*【よう⇒Carbuncle】&【肩⇒Shoulder】
28456	12 大腿部腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA5S78	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【大腿部⇒Thigh】
28457	12 前腕腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA7WB0	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【前腕⇒Forearm】
28460	12 腋窩せつ	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.0 & XA17J1	*【せつ⇒Furuncle】&【腋窩⇒Axilla】
28466	12 肩せつ	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.0 & XA2ND5	*【せつ⇒Furuncle】&【肩⇒Shoulder】
28474	12 腋窩部腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA17J1	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【腋窩⇒Axilla】
28475	12 上腕腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA6809	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【上腕⇒Upper arm】
28477	12 足腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA47V8	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【足⇒Foot】
28479	12 手指腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 <	1B75.3 & XA2593	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【手指⇒fingers: Fingers and thumbのindex termにある】
28485	12 膝部腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA8KL5	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【膝部⇒knee】
28486	12 股関節部よう	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.1 & XA4XS4	*【よう⇒Carbuncle】&【股関節部⇒股関節⇒hip joint】
28488	12 母指腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA8DJ6	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【母指⇒Thumb】
28489	12 手背腫瘍	0 L		L024	重:1B75.0 重: 1B75.2 重:1B75. 3 重:1B75.1			1 =		1 =	1B75.3 & XA30Z6	*皮膚の化膿性腫瘍【腫瘍⇒abscess】は類義語。 &【手背⇒Dorsum of hand】

標準病名のICD-11コーディング作業結果 ～ 第14章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と 一致	代表・同 語	ICD10 コード	10⇒11での マッピング情報	ICD11和訳にあつた 病名の英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
33846	14 急性びまん性膜性糸球体腎炎	0 L		N002	F:MF8Z		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/8171733606/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome / diffuse membranous glomerulonephritis
33847	14 急性びまん性マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N003	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/1017635638/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome / Glomerular disease with diffuse mesangial proliferation
33848	14 急性びまん性管内増殖性糸球体腎炎	0 L		N004	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/1817105154/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome : diffuse endocapillary proliferative glomerulonephritis
33849	14 急性マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N006	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/1041399919/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome : dense deposit disease
33850	14 急性びまん性半月体形成性糸球体腎炎	0 L		N007	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ / http://id.who.int/icd/entitv/1290243376/	1 <		GB40 / MF8Y	Acute nephritic syndrome : diffuse crescentic glomerulonephritis
33852	14 溶連菌感染後急性糸球体腎炎	0 L		N009	=:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1932151457/ & http://id.who.int/icd/entitv/1997317917/ / http://id.who.int/icd/entitv/520429137/	1 <		GB40 & XN3NM / 1C41	Acute glomerulonephritis after streptococcal infection
33857	14 急速進行性びまん性膜性糸球体腎炎	0 L		N012	F:MF8Z		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1084292542/ / http://id.who.int/icd/entitv/1084292542/ / http://id.who.int/icd/entitv/8171733606/	1 <		GB40 / MF8Y	Rapidly progressive nephritic syndrome : diffuse membranous glomerulonephritis
33858	14 急速進行性びまん性管内増殖性糸球体腎炎	0 L		N014	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1817105154/ / http://id.who.int/icd/entitv/1084292542/ / http://id.who.int/icd/entitv/1817105154/	1 <		GB40 / MF8Y	Rapidly progressive nephritic syndrome : Diffuse endocapillary proliferation
33859	14 急速進行性マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N016	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1041399919/ / http://id.who.int/icd/entitv/1041399919/	1 <		GB40 / MF8Y	Rapidly progressive nephritic syndrome : dense deposit disease
33861	14 抗糸球体基底膜腎炎	0 L		N017	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ / http://id.who.int/icd/entitv/591736785/	1 <		GB40 / MF85	Anti-glomerular basement membrane antibody mediated disease
33867	14 急速進行性びまん性半月体形成性糸球体腎炎	0 L		N017	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1084292542/ / http://id.who.int/icd/entitv/1041399919/	1 <		GB40 / MF8Y	Rapidly progressive nephritic syndrome : diffuse crescentic glomerulonephritis
33869	14 ANCA関連腎炎	0 L		N017	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ / http://id.who.int/icd/entitv/1404622826/	1 <		GB40 / 4A4A.AZ	Nephritic syndrome/ANCA - [Antineutrophil cytoplasmic antibodies] associated vasculitis
33871	14 特発性半月体形成性糸球体腎炎	0 L		N017	F:GB40		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ & http://id.who.int/icd/entitv/894194405/ / http://id.who.int/icd/entitv/1039550850/	1 <		GB40&XB5F/MF8Y	Idiopathic Crescent glomerulonephritis
33877	14 IgA腎症	0 L		N028	F:MF8Z		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ / http://id.who.int/icd/entitv/30371100/	1 <		GB40 / MF8Y	Nephritic syndrome/ Glomerular disease with IgA disease
33879	14 血尿症候群	0 L		N029	=:MF8Z		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1345372703/	1 <		GB4Y	Recurrent or persistent glomerular haematuria
33883	14 腎性血尿	0 L		N029	=:MF8Z		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1345372703/	1 <		GB4Y	Recurrent or persistent glomerular haematuria
33887	14 糸球体性血尿	0 L		N029	=:MF8Z		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1345372703/	1 <		GB4Y	Recurrent or persistent glomerular haematuria
33893	14 軽症慢性腎炎症候群	0 L		N030	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/914480092/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : minor glomerular abnormality
33894	14 慢性びまん性膜性糸球体腎炎	0 L		N032	F:MF8Z		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/661079735/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : diffuse membranous glomerulonephritis
33895	14 慢性びまん性マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N033	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1110215459/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : diffuse mesangial proliferative glomerulonephritis
33896	14 慢性びまん性管内増殖性糸球体腎炎	0 L		N034	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/834803895/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : diffuse endocapillary proliferative glomerulonephritis
33897	14 慢性マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N036	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/539264478/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : dense deposit disease
33898	14 慢性びまん性半月体形成性糸球体腎炎	0 L		N037	F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/164920904/	1 <		GB40	GB40 Chronic nephritic syndrome : diffuse crescentic glomerulonephritis
33901	14 慢性腎炎症候群	0 L		N039	=:MF8Z / F:GB40		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ & http://id.who.int/icd/entitv/490003542/ / http://id.who.int/icd/entitv/1039550850/	1 <		GB40 & XT8W / MF8Z	Nephritic syndrome&慢性/Clinical findings in specimens from the urinary system
33910	14 微小変化型マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N040	F:GB41		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1629260860/	1 <		GB41	Minimal change glomerulonephritis
33911	14 巣状分節性糸球体硬化症マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N041	F:GB41		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/184209951/ / http://id.who.int/icd/entitv/1623933120/	1 <		GB41 / MF8Y	Nephrotic syndrome : Glomerular disease with focal and segmental sclerosis
33912	14 びまん性膜性糸球体腎炎マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N042	F:GB41		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/184209951/ / http://id.who.int/icd/entitv/8171733606/	1 <		GB41 / MF8Y	Nephrotic syndrome :Diffuse membranous glomerulonephritis
33913	14 びまん性管内増殖性糸球体腎炎マクニウム増殖性糸球体腎炎	0 L		N044	F:GB41		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/184209951/ / http://id.who.int/icd/entitv/1817105154/	1 <		GB41 / MF8Y	Nephrotic syndrome : diffuse endocapillary proliferative glomerulonephritis

No	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と薬の一致	代表・同一コード	ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた病名の英語	ICD11 確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
33914	14 デリスアテボヅツト病ネフローゼ症候群	0 L	N046	046	下:GB41	https://id.who.int/icd/entitv/1184209951/ /http://id.who.int/icd/entitv/1041399219	1 =	1 <	GB41 / MF8Y	1 <	GB41 / MF8Y	Nephrotic syndrome : dense deposit disease	
33915	14 びまん性メサンギウム硬化症	0 L	N048	048	下:GB41	https://id.who.int/icd/entitv/1184209951/ /http://id.who.int/icd/entitv/84161233	1 =	1 <	GB41 / MF80	1 <	GB41 / MF80	Nephrotic syndrome/Diffuse mesangial sclerosis	
33917	14 一次性ネフローゼ症候群	0 L	N049	049	下:GB41	https://id.who.int/icd/entitv/1184209951/	1 =	1 =	GB41	1 =	GB41	Nephrotic syndrome/明らかな原因疾患がないものが一次性ネフローゼ症候群	
33920	14 難治性ネフローゼ症候群	0 L	N049	049	下:GB41	https://id.who.int/icd/entitv/1184209951/	1 <	1 <	GB41	1 =	GB41	Nephrotic syndrome	
33922	14 小児ネフローゼ症候群	0 L	N049	049	下:GB41	https://id.who.int/icd/entitv/1184209951/	1 <	1 <	GB41	1 =	GB41	Nephrotic syndrome	
33923	14 二次性ネフローゼ症候群	0 L	N049	049	下:GB41	https://id.who.int/icd/entitv/1184209951/ & https://id.who.int/icd/entitv/1721353160/	1 <	1 <	GB41	1 =	GB41	Nephrotic syndrome	
33925	14 頻回再発型ネフローゼ症候群	0 L	N049	049	下:GB41	https://id.who.int/icd/entitv/1184209951/	1 <	1 <	GB41 & XT44	1 =	GB41 & XT44	Nephrotic syndrome&再発	
33928	14 ステロイド依存性ネフローゼ症候群	0 L	N049	049	下:GB41	https://id.who.int/icd/entitv/1184209951/	1 <	1 <	GB41	1 <	GB41	nephritic syndrome : minor glomerular abnormality	
33929	14 微小糸球体変化	0 L	N050	050	=:MF8Z 下:GB40	http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ /http://id.who.int/icd/entitv/312582803	1 =	1 <	GB40 / MF8Y	1 <	GB40 / MF8Y	nephritic syndrome : minor glomerular abnormality	
33931	14 巣状糸球体腎炎	0 L	N051	051	=:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/1623933120/ /http://id.who.int/icd/entitv/1783829886/	1 >	1 <	GB40 / MF8Y	1 <	GB40 / MF8Y	Nephritic syndrome/Glomerular disease with focal and segmental sclerosis	
33935	14 膜性腎症	0 L	N052	052	=:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ /http://id.who.int/icd/entitv/817733606	1 =	1 =	GB40 / MF8Y	1 <	GB40 / MF8Y	Nephritic syndrome/Diffuse membranous glomerulonephritis	
33938	14 メサンギウム増殖性糸球体腎炎	0 L	N053	053	=:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/1110215459/	1 =	1 =	GB40	1 <	GB40	Chronic nephritic syndrome : diffuse mesangial proliferative glomerulonephritis 慢性糸球体腎炎の1つ	
33941	14 管内性増殖性糸球体腎炎	0 L	N054	054	=:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/834803895/	1 =	1 =	GB40	1 <	GB40	Chronic nephritic syndrome : diffuse endocapillary proliferative glomerulonephritis	
33944	14 膜性増殖性糸球体腎炎3型	0 L	N055	055	下:GB40	https://id.who.int/icd/entitv/1418319139/	1 =	1 =	GB40	1 <	GB40	Membranoproliferative glomerulonephritis, types 1 and 3, or NOS	
33945	14 膜性増殖性糸球体腎炎1型	0 L	N055	055	下:GB40	https://id.who.int/icd/entitv/14183191399/	1 =	1 =	GB40	1 <	GB40	Membranoproliferative glomerulonephritis, types 1 and 3, or NOS	
33948	14 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0 L	N055	055	下:GB40	https://id.who.int/icd/entitv/539264478/	1 <	1 <	GB40	1 <	GB40	Chronic nephritic syndrome : dense deposit disease	
33950	14 膜性増殖性糸球体腎炎2型	0 L	N056	056	=:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/539264478/	1 =	1 =	GB40	1 <	GB40	Membranoproliferative glomerulonephritis, type 2	
33955	14 半月体形成性糸球体腎炎	0 L	N057	057	=:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/1164920904/	1 =	1 =	GB40	1 <	GB40	Chronic nephritic syndrome : diffuse crescentic glomerulonephritis	
33957	14 増殖性糸球体腎炎	0 L	N058	058	下:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/939941130/	1 =	1 =	GB40	1 <	GB40	GB40 Proliferative glomerulonephritis NOS	
33959	14 糸球体腎炎	0 L	N059	059	=:GB40	https://id.who.int/icd/entitv/658360080/	1 =	1 =	GB42	1 =	GB42	Glomerular diseases, unspecified	
33960	14 腎炎	0 L	N059	059	=:GB40	https://id.who.int/icd/entitv/1783829886/	1 =	1 =	GB40	1 =	GB40	Nephritic syndrome	
33962	14 糸球体性蛋白尿症	0 L	N069	069	下:GB42 Z	https://id.who.int/icd/entitv/1467154806/	1 =	1 =	GB42 Z	1 =	GB42 Z	Persistent proteinuria or albuminuria, unspecified	
33964	14 リボタンバク糸球体症	0 L	N078	078	重:GB42	https://id.who.int/icd/entitv/69778702/	1 =	1 =	MF82	1 =	MF82	Lipoprotein glomerulopathy	
33965	14 フアロネクソソ腎症	0 L	N078	078	重:GB42	https://id.who.int/icd/entitv/1872994378/	1 =	1 =	MF81	1 =	MF81	Fibronectin glomerulopathy	
33967	14 家族性腎炎	0 L	N079	079	=:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/749865544/	1 =	1 =	MF8Y	1 <	MF8Y	Glomerular disease with appearance typical of familial and genetic diseases	
33970	14 LMX1B関連腎症	0 L	N079	079	=:MF8Z	https://id.who.int/icd/entitv/1783829886/ /http://id.who.int/icd/entitv/1121867410	1 =	1 =	GB40 / D24.10	1 <	GB40 / D24.10	ネフローゼ症候群(爪膝蓋骨症候群) / LMX1B関連腎症	
33973	14 気腫性腎盂腎炎	0 L	N10	10	上:GB50 上:GB51	https://id.who.int/icd/entitv/1935203065/	1 <	1 <	GB55 Z	1 <	GB55 Z	Chronic tubulo-interstitial nephritis, unspecified	
33976	14 単純性腎盂腎炎	0 L	N10	10	上:GB50 上:GB51	https://id.who.int/icd/entitv/1935203065/	1 <	1 <	GB55 Z	1 <	GB55 Z	Chronic tubulo-interstitial nephritis, unspecified	
33979	14 急性巣状細菌性腎炎	0 L	N10	10	上:GB50 上:GB51	https://id.who.int/icd/entitv/403411521/	1 =	1 =	GB51	1 =	GB51	Acute bacterial pyelonephritis	
33985	14 逆流性腎症	0 L	N110	110	下:GB55 Z	https://id.who.int/icd/entitv/416405628/	1 =	1 <	GB55 Z	1 <	GB55 Z	Refluxive chronic pyelonephritis, not otherwise specified	
33986	14 慢性閉塞性腎盂腎炎	0 L	N111	111	下:GB55 Z	https://id.who.int/icd/entitv/1214692275/	1 =	1 =	GB55 Z	1 <	GB55 Z	Obstructive chronic pyelonephritis, not otherwise specified	
33987	14 非閉塞性慢性腎盂腎炎	0 L	N118	118	下:GB55 Z	https://id.who.int/icd/entitv/1297257549/	1 =	1 =	GB55 Z	1 <	GB55 Z	Nonobstructive chronic pyelonephritis not otherwise specified	

No	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と 薬の一致	代表・同 コード	ICD10 コード	10⇒11での マッピング情報	ICD11和訳に 関する 英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
33989	14 IgG4関連腎臓病	0 L	N119		F:GB55.Z		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1877692678	1 =		4A43.0	IgG4-related kidney disease
33995	14 慢性複雑性腎盂腎炎	0 L	N119		F:GB55.Z		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1297257549	1 <		GB55.Z	Nonobstructive chronic pyelonephritis not otherwise specified
33998	14 術後腎盂腎炎	0 L	N12		=:GB54		1 <		https://id.who.int/icd/entity/15155455142	1 <		GB54	Pyelonephritis not otherwise specified
34000	14 上行性腎盂腎炎	0 L	N12		=:GB54		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1346439976	1 <		GB55.Z	Chronic pyelonephritis
34001	14 BKウイルス腎症	0 L	N12		=:GB54		1 <		https://id.who.int/icd/entity/133532468 & https://id.who.int/icd/entity/773413721	1 <		GB54 & KN9WH	Tubulo-interstitial nephritis, not specified as acute or chronic; Polyomavirus
34004	14 腎盂腎炎	0 L	N12		=:GB54		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1272641957	1 =		GB54	Pyonephritis
34006	14 尿管腎盂移行部閉塞を伴う水腎症	0 L	N130		=:GB56.0		1 =		https://id.who.int/icd/entity/64756013	1 <		GB56.0	Hydronephrosis with ureteropelvic junction obstruction
34007	14 後天性腎盂尿管移行部狭窄を伴う水腎症	0 L	N130		=:GB56.0		1 =		https://id.who.int/icd/entity/953391681	1 <		GB56.0	GB56.0 Hydronephrosis with ureteropelvic junction obstruction, acquired
34008	14 尿管狭窄を伴う水腎症	0 L	N131		=:GB56.1		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1137718649	1 =		GB56.1	Hydronephrosis with ureteral obstruction
34009	14 尿管結石性閉塞を伴う水腎症	0 L	N132		=:GB56.2		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1022294860	1 =		GB56.2	Calculus of ureter with calculus of kidney and hydronephrosis
34012	14 腎結石性閉塞を伴う水腎症	0 L	N132		=:GB56.2		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1022294860	1 <		GB56.2	Calculus of ureter with calculus of kidney and hydronephrosis
34013	14 腎盂拡張	0 L	N133		=:GB56.4		1 =		https://id.who.int/icd/entity/904530955	1 <		GB56.4	Calyx dilatation
34014	14 両側水腎尿管症	0 L	N133		=:GB56.4		1 =		https://id.who.int/icd/entity/627678743 & https://id.who.int/icd/entity/1379313682 & https://id.who.int/icd/entity/627678743	1 <		GB56.4 & KN9J	Hydrourteronephrosis & Bilateral
34015	14 両側水腎症	0 L	N133		=:GB56.4		1 =		https://id.who.int/icd/entity/901992465	1 <		GB56.4	Hydronephrotic kidney atrophy
34017	14 萎縮性水腎症	0 L	N133		=:GB56.4		1 <		https://id.who.int/icd/entity/821518619	1 <		GB56.4	Hydrourteronephrosis
34019	14 後天性水腎症	0 L	N133		=:GB56.4		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1379313682	1 <		GB56.4	Hydronephrosis NOS
34021	14 水腎尿管症	0 L	N133		=:GB56.4		1 =		https://id.who.int/icd/entity/821518619	1 <		GB56.4	Hydrourteronephrosis
34023	14 水腎尿管症	0 L	N134		=:GB90.1		1 =		https://id.who.int/icd/entity/567831942	1 =		GB90.1	Hydrourter
34025	14 水尿管症	0 L	N135		=:GB90.2		1 =		https://id.who.int/icd/entity/150547476	1 <		GB90.2	Kinking and stricture of ureter without hydronephrosis
34027	14 水腎症を伴わない後天性腎盂尿管移行部狭	0 L	N135		=:GB90.2		1 =		https://id.who.int/icd/entity/967295607	1 =		FB51.4	Retroperitoneal fibrosis
34028	14 後腹膜線維症	0 L	N135		=:GB90.2		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1656637330	1 <		GB56.Z	Obstructive or reflux nephropathy, unspecified
34040	14 腎外尿逆流	0 L	N138		F:GB56.Z		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1656637330	1 <		GB56.Z	Obstructive or reflux nephropathy, unspecified
34046	14 尿路閉塞	0 L	N139		F:GB56.Z		1 =		https://id.who.int/icd/entity/501385645	1 <		GB56.Z	Obstructive or reflux nephropathy, unspecified
34049	14 NSAIDs腎症	0 L	N140		=:GB55.Z		1 =		https://id.who.int/icd/entity/501385645	1 <		GB55.Y	Analgic nephropathy
34051	14 造影剤腎症	0 L	N141		=:GB55.Z		1 =		https://id.who.int/icd/entity/727651889 & http://id.who.int/icd/entity/184534831	1 <		GB55.Y & XW2571	Chronic tubulo-interstitial nephritis associated with drugs, toxins or environmental agents & X-ray contrast media, iodinated
34054	14 薬剤性腎障害	0 L	N142		=:GB55.Z		1 =		https://id.who.int/icd/entity/727651889	1 <		GB55.Y	Chronic tubulo-interstitial nephritis associated with drugs, toxins or environmental agents
34055	14 薬物性腎障害	0 L	N142		=:GB55.Z		1 =		https://id.who.int/icd/entity/727651889	1 <		GB55.Y	Chronic tubulo-interstitial nephritis associated with drugs, toxins or environmental agents
34056	14 重金属誘発性腎症	0 L	N143		=:GB55.1		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1766840660	1 =		GB55.1	Nephropathy induced by heavy metals
34057	14 中毒性腎症	0 L	N144		F:GB52		1 <		https://id.who.int/icd/entity/1210263011	1 <		GB52	Renal tubulo-interstitial disease, unspecified
34062	14 腎感染症	0 L	N159		F:GB52		1 =		https://id.who.int/icd/entity/1248991996	1 <		GB55.Y	Chronic tubulo-interstitial nephritis associated with kidney infections
34063	14 ショック腎	0 L	N170		=:GB52		1 =		https://id.who.int/icd/entity/476391827	1 <		GB60.Z	Acute kidney failure, stage unspecified
34064	14 急性腎性腎不全	0 L	N170		=:GB52		1 =		https://id.who.int/icd/entity/476391827	1 =		GB60.Z	Acute kidney failure, stage unspecified
34067	14 急性腎皮質壊死	0 L	N171		重:GB60.Z		1 <		https://id.who.int/icd/entity/629276055	1 <		GB60.Z	Acute renal failure with tubular necrosis
34068	14 腎髓質壊死	0 L	N172		=:GB53		1 =		https://id.who.int/icd/entity/338317373	1 <		GB53	Acute renal papillary necrosis
34069	14 腎乳頭壊死	0 L	N172		=:GB53		1 =		https://id.who.int/icd/entity/338317373	1 <		GB53	Acute renal papillary necrosis
34070	14 急性腎後性腎不全	0 L	N178		重:GB60.Z		1 <		https://id.who.int/icd/entity/476391827	1 <		GB60.Z	Acute kidney failure, stage unspecified (腎前性: 全身疾患のため腎臓への血流が低下する場合)

ICD 10 章	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と薬の一致	代表・同一コード	ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた病名の英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
34071	14 急性腎前性腎不全	0 L	N178		重:GB60.2		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/47639182Z	1 <		GB60.2	GB60.2 Acute kidney failure, stage unspecified (腎後性:腎臓より下部の尿路(尿管・膀胱・尿道)に原因がある場合)
34074	14 急性尿毒症性腎症	0 L	N179		重:GB60.2		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/47639182Z	1 <		GB60.2	GB60.2 Acute kidney failure, stage unspecified
34078	14 慢性腎臓病ステージG1	0 L	N181		=:GB61.0		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/93390226Z	1 =		GB61.0	Chronic kidney disease, stage 1
34085	14 慢性腎臓病ステージG2	0 L	N182		=:GB61.1		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1124558660	1 =		GB61.1	Chronic kidney disease, stage 2
34091	14 慢性腎臓病ステージG3b	0 L	N183		上:GB61.2 上:GB61.3		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/671059308	1 =		GB61.3	Chronic kidney disease, stage 3b
34093	14 慢性腎臓病ステージG3	0 L	N183		上:GB61.2 上:GB61.3		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1416760208	1 >		GB61.2	Chronic kidney disease stage 3 NOS
34107	14 慢性腎臓病ステージG3a	0 L	N183		上:GB61.2 上:GB61.3		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1416760208	1 =		GB61.2	Chronic kidney disease, stage 3a
34112	14 慢性腎臓病ステージG4	0 L	N184		=:GB61.4		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1436694854	1 =		GB61.4	Chronic kidney disease, stage 4
34123	14 赤血球造血刺激因子製剤低反応性貧血	0 L	N185		=:GB61.5		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/8743359291 / http://id.who.int/icd/entitv/412389819	1 <		3A71.2/GB61.2	Anaemia in chronic kidney disease/Chronic kidney disease, stage unspecified
34129	14 尿毒症性多発性ニューロパチー	0 L	N185		=:GB61.5		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/58868923	1 <		GB62/8C0Z	uraemia NOS/multiple neuropathy
34137	14 尿毒症性ニューロパチー	0 L	N185		=:GB61.5		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/761526554 / http://id.who.int/icd/entitv/58868923	1 <		GB62/8C0Z	GB62/8C0Z uraemia NOS/neuropathy NOS
34139	14 尿毒症肺	0 L	N185		=:GB61.5		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/761526554 / http://id.who.int/icd/entitv/850824593	1 <		GB62/C940Y	uraemia NOS/Other specified diseases of the respiratory system
34140	14 慢性腎臓病ステージG5D	0 L	N185		=:GB61.5		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/820638928	1 <		GB61.5	Chronic kidney disease, stage 5
34142	14 尿毒症性脳症	0 L	N185		=:GB61.5		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/1927024232	1 <		GB62/8E47	uraemia NOS/Metabolic encephalopathy
34144	14 腎性網膜症	0 L	N185		=:GB61.5		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/2000854880 / http://id.who.int/icd/entitv/412389819	1 <		9B71.Z/GB61	Retinopathy/Chronic kidney disease
34146	14 尿毒症性心筋症	0 L	N185		=:GB61.5		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/282225286 / http://id.who.int/icd/entitv/761526554	1 <		BC43.Y/GB62	Other specified cardiomyopathy/uraemia NOS
34147	14 慢性腎臓病ステージG5	0 L	N185		=:GB61.5		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/820638928	1 =		GB61.5	Chronic kidney disease, stage 5
34151	14 腎性無尿	0 L	N19		F:GB62		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/761526554 / http://id.who.int/icd/entitv/248693056	1 <		GB62/MF51	Kidney failure, unspecified/Anuria
34152	14 無機能腎	0 L	N19		F:GB62		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/761526554	1 <		GB62	renal shutdown NOS
34153	14 尿毒症	0 L	N19		F:GB62		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/761526554	1 <		GB62	uraemia NOS
34157	14 腎性貧血	0 L	N19		F:GB62		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/8743359291 / http://id.who.int/icd/entitv/412389819	1 <		3A71.Z/GB61.2	Anaemia in chronic kidney disease/Chronic kidney disease, stage unspecified
34159	14 多発性腎結石	0 L	N200		=:GB70.0Z		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/389168514	1 <		GB70.0Z	multiple kidney calculus
34160	14 腎結石自排	0 L	N200		=:GB70.0Z		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/389168514	1 <		GB70.0Z	GB70.0Z Calculus of kidney unspecified
34164	14 珊瑚状結石	0 L	N200		=:GB70.0Z		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/389168514	1 <		GB70.0Z	GB70.0Z Calculus of kidney (サブコ状結石とは上部尿路結石の形態の一種)
34169	14 腎砂状結石	0 L	N200		=:GB70.0Z		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/389168514	1 <		GB70.0Z	GB70.0Z Calculus of kidney
34177	14 尿管腎結石	0 L	N202		上:GB70.0Z 上:GB70.1		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/295907514	1 =		GB70.0Z	GB70.0Z Calculus of upper urinary tract, unspecified
34185	14 膀胱憩室結石	0 L	N210		=:GB71.0		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/197850369	1 =		GB71.0	Calculus in bladder
34193	14 腎性骨軟化症	0 L	N250		=:GB62		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1017718945 / http://id.who.int/icd/entitv/4148249600	1 <		GB62/F83.2Z	renal osteodystrophy/osteomalacia NOS
34195	14 腎性骨ジストロフィー	0 L	N250		=:GB62		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/1017718945	1 <		GB62	ROD - [renal osteodystrophy]
34196	14 リン酸喪失性尿細管障害	0 L	N250		=:GB62		1 <		https://id.who.int/icd/entitv/1017718945	1 <		GB62	Hypophosphatemia in chronic kidney disease
34201	14 2型尿細管性アシドーシス	0 L	N258		上:GB90.4A 上:GB90.46 上:GB90.49		1 =		https://id.who.int/icd/entitv/1207939938	1 =		GB90.44	Type II renal tubular acidosis

ICD 10 章	ICD 10 標準病名	ICD11 和訳と一致	代表・同一コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた病名の英語	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS	備考
34205	14 原発性尿管管性アジドーシス	0 L	N258	上:GB90.441.E: GB90.461.E: GB90.49		1 <		https://id.who.int/icd/entity/1272869150	1 <		GB90.44	renal tubular acidosis
34207	14 腎原性続発性副甲状腺機能亢進症	0 L	N258	上:GB90.441.E: GB90.461.E: GB90.49	https://id.who.int/icd/entity/1442252937/ http://id.who.int/icd/entity/412389819	1 =			1 <	5A51.1/GB61.2	Secondary hyperparathyroidism/Chronic kidney disease, stage unspecified	
34209	14 遠位尿管管性アジドーシス	0 L	N258	上:GB90.441.E: GB90.461.E: GB90.49	https://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 =			1 <	GB90.44	Distal renal tubular acidosis	
34210	14 ライトハウット-オルブライト症候群	0 L	N258	上:GB90.441.E: GB90.461.E: GB90.49	https://id.who.int/icd/entity/1272869150	1 =			1 <	GB90.44	lightwood-Albright syndrome	
34218	14 遅延性副甲状腺機能亢進症	0 L	N258	上:GB90.441.E: GB90.461.E: GB90.49	https://id.who.int/icd/entity/9633776/ http://id.who.int/icd/entity/412389819	1 <			1 <	5A51.Y/GB61.Z	Other specified hyperparathyroidism/Chronic kidney disease, stage unspecified	
34219	14 二次性近位尿管管性アジドーシス	0 L	N258	上:GB90.441.E: GB90.461.E: GB90.49	https://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 <			1 <	GB90.44	Proximal renal tubular acidosis	
34221	14 一次性近位尿管管性アジドーシス	0 L	N258	上:GB90.441.E: GB90.461.E: GB90.49	https://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 <			1 <	GB90.44	GB90.44 Proximal renal tubular acidosis	
34222	14 1型尿管管性アジドーシス	0 L	N258	上:GB90.441.E: GB90.461.E: GB90.49	https://id.who.int/icd/entity/1321454324	1 =			1 <	GB90.44	GB90.44 Type I renal tubular acidosis	
34224	14 急性尿管管障害	0 L	N259	下:GB90.4Z	https://id.who.int/icd/entity/1815482567/ http://id.who.int/icd/entity/786106375	1 =			1 <	GB90.4Z&XT5R	Renal tubular function disorders, unspecified& Acute	
34225	14 巣状腎硬化症	0 L	N26	下:MF54.Z1.E: MF54.11.E: MF54.0	https://id.who.int/icd/entity/1623933120	1 =			1 <	MF8Y	focal sclerosis	
34227	14 萎縮腎	0 L	N26	下:MF54.Z1.E: MF54.11.E: MF54.0	https://id.who.int/icd/entity/117862072	1 =			1 <	MF54.0	renal atrophy	
34228	14 一側性矮小腎	0 L	N270	=:MF54.2	https://id.who.int/icd/entity/743132352	1 =			1 <	MF54.2	Small kidney unilateral	
34229	14 両側性矮小腎	0 L	N271	=:MF54.2	https://id.who.int/icd/entity/1224769878	1 =			1 <	MF54.2	Small kidney bilateral	
34230	14 矮小腎	0 L	N279	下:MF54.2	https://id.who.int/icd/entity/1649255214	1 =			1 =	MF54.2	Small kidney	
34232	14 腎動脈血栓症	0 L	N280	=:GB90.3	https://id.who.int/icd/entity/1993889507	1 =			1 <	GB90.3	renal artery clot	
34236	14 腎動脈閉塞症	0 L	N280	=:GB90.3	https://id.who.int/icd/entity/1993889507	1 =			1 <	GB90.3	GB90.3 renal arterial occlusion	
34238	14 腎虚血	0 L	N280	=:GB90.3	https://id.who.int/icd/entity/1857712225	1 =			1 =	GB90.3	GB90.3 kidney ischemia	
34239	14 腎コルステロール塞栓症	0 L	N280	=:GB90.3	https://id.who.int/icd/entity/1376329063	1 =			1 <	BD53.40	Cholesterol atheroembolism to kidneys	
34244	14 多のう胞化萎縮腎	0 L	N281	=:GB80.2	https://id.who.int/icd/entity/822955213/ http://id.who.int/icd/entity/117862072	1 <			1 <	GB80.Y/MF54.0	Multiple localized renal cysts/renal atrophy	
34247	14 傍腎孟のう胞	0 L	N281	=:GB80.2	https://id.who.int/icd/entity/1914297331/ http://id.who.int/icd/entity/1038788978	1 <			1 <	GB80.Z&KK70	Nonfamilial nongenetic cystic kidney disease, unspecified&Unilateral, unspecified	
34249	14 孤立性腎のう胞	0 L	N281	=:GB80.2	https://id.who.int/icd/entity/598591206	1 =			1 <	GB80.0/GB80.Y	Solitary simple renal cyst / Solitary localized renal cyst	
34252	14 後天性腎のう胞	0 L	N281	=:GB80.2	https://id.who.int/icd/entity/1435131505	1 <			1 <	GB88.0	Simple renal cyst (後天性嚢胞は単純性であり、すなわち、形状は円形で、平滑な壁により境界が明確である。病変は孤立性の場合と多発性の場合がある。)	
34254	14 単純性腎のう胞	0 L	N281	=:GB80.2	https://id.who.int/icd/entity/1435131505	1 =			1 =	GB88.0	Simple renal cyst	
34256	14 腎のう胞	0 L	N281	=:GB80.Z	https://id.who.int/icd/entity/1993889507	1 =			1 <	GB90.3	renal artery clot	

標準病名のICD-11コーディング作業結果 ～ 第15章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳と一致	代表ICD10コード	10≧11でのサブコーディング情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	MMS Representatio n	備考
35483	15 腹膜妊娠	0 L	0000	=:JA01.0		1 =	1 =	JA01.0	Abdominal pregnancy
35487	15 卵管妊娠破裂	0 L	0001	=:JA01.1		1 =	1 <	JA01.1	Rupture of fallopian tube due to pregnancy
35491	15 卵管峡部妊娠	0 L	0001	=:JA01.1	http://id.who.int/icd/entity/913821868 & http://id.who.int/icd/entity/987725990	1 =	1 =	JA01.1&XA3EF0	Tubal pregnancy & Fallopian Tube
35497	15 子宮頸管妊娠	0 L	0008	下:JA01.2	http://id.who.int/icd/entity/514389732	1 =	1 <	JA01.Y	Cervical pregnancy
35498	15 子宮筋層内妊娠	0 L	0008	下:JA01.2	http://id.who.int/icd/entity/514389732 & http://id.who.int/icd/entity/918009805	1 =	1 =	JA01.Y&XA2LU5	Other specified ectopic pregnancy & Myometrium
35500	15 子宮広間膜内妊娠	0 L	0008	下:JA01.2	http://id.who.int/icd/entity/1302701349 & http://id.who.int/icd/entity/1560155880	1 =	1 =	JA01.Y & XA0E9	Pregnancy in broad ligament
35503	15 副角妊娠	0 L	0008	下:JA01.2	http://id.who.int/icd/entity/1560155880	1 =	1 <	JA01.Y	Corneal gestation or pregnancy
35509	15 非侵入全奇胎	0 L	0010	=:JA02.0	http://id.who.int/icd/entity/1338299833	1 =	1 =	JA02.0	Complete hydatidiform mole
35510	15 胎児共存奇胎	0 L	0010	=:JA02.0	http://id.who.int/icd/entity/1338299833	1 <	1 <	JA02.0	「正常妊娠十全奇胎」から成る双胎
35515	15 非侵入部分奇胎	0 L	0011	=:JA02.1	http://id.who.int/icd/entity/714020909	1 =	1 =	JA02.1	Incomplete or partial hydatidiform mole
35524	15 塞栓症併発不全流産	0 L	0032	=:JA00.02	http://id.who.int/icd/entity/1130176621	1 =	1 =	JA00.02	Spontaneous abortion, incomplete, complicated by embolism
35525	15 不全流産	0 L	0034	=:JA00.04	http://id.who.int/icd/entity/1442348653	1 =	1 =	JA00.04	Spontaneous abortion, incomplete, without complication (胎芽あるいは胎児および附属物が子宮内に排出され、一部が子宮内に残留し、子宮が十分に収縮せず、子宮口も閉鎖しない)。出血などの症状が持続している状態)
35528	15 進行流産	0 L	0039	下:JA00.0	http://id.who.int/icd/entity/964163142	1 =	1 =	JA00.09	Spontaneous abortion, complete or unspecified, without complication (胎芽あるいは胎児とその附属物が子宮外に排出されている状態。「完全流産」と「不全流産」に分けられる。Spontaneous abortion, complete or unspecified, without complication (胎芽あるいは胎児とその附属物が完全に排出された状態。完全流産の多くの場合、子宮は十分に収縮し、子宮口は閉鎖する。)
35530	15 完全流産	0 L	0039	下:JA00.0	http://id.who.int/icd/entity/964163142	1 =	1 =	JA00.09	Spontaneous abortion, complete or unspecified, without complication (胎芽あるいは胎児とその附属物が完全に排出された状態。完全流産の多くの場合、子宮は十分に収縮し、子宮口は閉鎖する。)
35531	15 塞栓症合併不全人工流産	0 L	0042	下:JA00.12	http://id.who.int/icd/entity/2015645992	1 =	1 =	JA00.12	Induced abortion, incomplete, complicated by embolism
35539	15 非医学的人工妊娠中絶	0 L	0059	=:JA00.39	http://id.who.int/icd/entity/59320124	1 <	1 <	JA00.39	Other or unspecified failed attempted abortion, without complication
35542	15 人工妊娠中絶の不成功	0 L	0074	=:JA00.34	http://id.who.int/icd/entity/1862709011	1 =	1 =	JA00.34	Failed medical abortion, without complication
35543	15 流産後子宮傍結合組織炎	0 L	0080	=:JA05.0	http://id.who.int/icd/entity/650231750	1 <	1 <	JA05.0	Genital tract or pelvic infection following abortion, ectopic or molar pregnancy
35544	15 流産後子宮内膜炎	0 L	0080	=:JA05.0	http://id.who.int/icd/entity/650231750	1 <	1 <	JA05.0	Genital tract or pelvic infection following abortion, ectopic or molar pregnancy
35545	15 流産後卵管炎	0 L	0080	=:JA05.0	http://id.who.int/icd/entity/1258559873	1 =	1 <	JA05.0	Oophoritis following pregnancy with abortive outcome
35547	15 流産後卵巣炎	0 L	0080	=:JA05.0	http://id.who.int/icd/entity/50436307	1 =	1 <	JA05.0	Salpingo-oophoritis following pregnancy with abortive outcome
35548	15 流産後敗血症性ショック	0 L	0080	=:JA05.0	http://id.who.int/icd/entity/650231750 / http://id.who.int/icd/entity/622600769	1 =	1 =	JA05.0/1G40	Genital tract or pelvic infection following abortion, ectopic or molar pregnancy / Sepsis without septic shock

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳と一致の一致	代表・ICD10 コード	10 ≧ 11 でのサブタイプ情報の	ICD11和訳にあつた場合の英語	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		MMS Representatio n	備考
						ICD11 和訳と一致	ICD10 コード	確信度	関係		
35549	15 流産後卵管卵巣炎	0 L	0080	=:JA05.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/50436307	1 <		JA05.0	Salpingo-oophoritis following pregnancy with abortive outcome
35550	15 流産後敗血症	0 L	0080	=:JA05.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1486595936	1 <		JA05.0	Sepsis following abortion
35552	15 流産後DIC	0 L	0081	=:JA05.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/539671670	1 <		JA05.1	Intravascular coagulation following pregnancy with abortive outcome Parent(s)
35553	15 流産後無プロゲロン症	0 L	0081	=:JA05.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/17227231880	1 <		JA05.1	Afibrinogenaemia following pregnancy with abortive outcome
35554	15 流産後尿毒症	0 L	0084	=:JA05.4		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1397149747	1 <		JA05.4	Uraemia following pregnancy with abortive outcome
35555	15 流産後尿管管壊死	0 L	0084	=:JA05.4		1 =	http://id.who.int/icd/entity/312201574	1 <		JA05.4	Renal tubular necrosis following pregnancy with abortive outcome
35556	15 流産後乏尿	0 L	0084	=:JA05.4		1 =	http://id.who.int/icd/entity/578910208	1 <		JA05.4	Oliguria following pregnancy with abortive outcome
35557	15 流産後無尿	0 L	0084	=:JA05.4		1 =	http://id.who.int/icd/entity/562199727/ http://id.who.int/icd/entity/438465102	1 =		JA05.4 / MF51	Renal failure following abortion, ectopic or molar pregnancy / Anuria
35558	15 妊娠・分娩・産褥の既存の本態性高血圧症	0 L	0100	=:JA20.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1126579721	1 =		JA20.0	Pre-existing essential hypertension complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35559	15 妊娠・分娩・産褥の既存の高血圧性心疾患	0 L	0101	=:JA20.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/644739997	1 =		JA20.1	Pre-existing hypertensive heart disease complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35560	15 妊娠・分娩・産褥の既存の高血圧性腎疾患	0 L	0102	=:JA20.2		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1388356450	1 =		JA20.2	Pre-existing hypertensive renal disease complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35561	15 妊娠・分娩・産褥の既存の高血圧性心腎疾患	0 L	0103	=:JA20.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/931884792	1 =		JA20.3	Pre-existing hypertensive heart and renal disease complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35562	15 妊娠・分娩・産褥の既存の二次性高血圧症	0 L	0104	=:JA20.4		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1147534692	1 =		JA20.4	Pre-existing secondary hypertension complicating pregnancy, childbirth or the puerperium
35567	15 妊娠浮腫	0 L	0120	=:JA22.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1582913208	1 =		JA22.1	Oedema of pregnancy
35568	15 妊娠蛋白尿	0 L	0121	=:JA22.0		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1042184245	1 <		JA22	Oedema, proteinuria, or hypertensive disorders in pregnancy, childbirth, or the puerperium, unspecified
35569	15 妊娠中一過性高血圧症	0 L	013	=:JA23		1 <	http://id.who.int/icd/entity/2118553363	1 <		JA23	Gestational hypertension
35572	15 軽症妊娠高血圧症候群	0 L	0140	=:JA24.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/2044260215	1 =		JA24.0	Mild to moderate pre-eclampsia
35575	15 重症妊娠高血圧症候群	0 L	0141	=:JA24.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/479404771	1 =		JA24.1	Severe pre-eclampsia
35581	15 HELLP症候群	0 L	0142	=:JA24.2		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1748922908	1 =		JA24.2	HELLP syndrome
35582	15 遷发型妊娠高血圧症候群	0 L	0149	下:JA24.2		1 <	http://id.who.int/icd/entity/229121159	1 <		JA24.Z	Pre-eclampsia, unspecified
35585	15 妊娠高血圧症候群	0 L	0149	下:JA24.2		1 <	http://id.who.int/icd/entity/229121159	1 <		JA24.Z	Pre-eclampsia, unspecified
35591	15 早発型妊娠高血圧症候群	0 L	0149	下:JA24.2		1 <	http://id.who.int/icd/entity/229121159	1 <		JA24.Z	Pre-eclampsia, unspecified
35595	15 子癇発作	0 L	0159	=:JA25.3		1 <	http://id.who.int/icd/entity/250375350	1 <		JA25.3	Eclampsia, time period unspecified
35597	15 産後高血圧症	0 L	016	下:JA22		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1042184245	1 <		JA22	Oedema, proteinuria, or hypertensive disorders in pregnancy, childbirth, or the puerperium, unspecified

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳と一致	代表ICD10コード	10 ≧ 11 でのサブリンク情報	ICD11和訳にあつた場合の英語	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	MMS Representatio n	備考
35599	15 絨毛膜下血腫	0 L	0208	下:JA40		1 <	1 <	JA40.Z	Haemorrhage in early pregnancy, unspecified
35600	15 妊娠初期の出血	0 L	0209	下:JA40		1 <	1 <	JA40.Z	Haemorrhage in early pregnancy, unspecified
35601	15 軽症妊娠悪阻	0 L	0210	=:JA60.0		1 =	1 =	JA60.0	Mild hyperemesis gravidarum
35604	15 悪阻	0 L	0210	=:JA60.0		1 =	1 >	JA60.0	hyperemesis gravidarum NOS
35608	15 ウェルニツク脳症を伴う妊娠悪阻	0 L	0211	=:JA60.1		1 =	1 >	JA60.1 /585A.10	Hyperemesis gravidarum with metabolic disturbance / Wernicke encephalopathy
35609	15 電解質異常を伴う妊娠悪阻	0 L	0211	=:JA60.1		1 =	1 >	JA60.1	Hyperemesis gravidarum with electrolyte imbalance
35610	15 ビタミン欠乏症を伴う妊娠悪阻	0 L	0211	=:JA60.1		1 =	1 >	JA60.1 /587Y	Hyperemesis gravidarum with metabolic disturbance / Vitamin deficiencies
35612	15 炭水化物欠乏症を伴う妊娠悪阻	0 L	0211	=:JA60.1		1 =	1 >	JA60.1	Hyperemesis gravidarum with carbohydrate depletion
35615	15 妊娠後期嘔吐	0 L	0212	=:JA60.2		1 =	1 =	JA60.2	Late vomiting of pregnancy
35617	15 妊娠性静脈瘤	0 L	0220	=:JA61.0		1 =	1 =	JA61.0	Varicose veins of lower extremity in pregnancy
35620	15 妊娠中の性器の静脈瘤	0 L	0221	=:JA61.1		1 =	1 =	JA61.1	Genital varices in pregnancy
35623	15 妊娠中の下肢血栓性静脈炎	0 L	0222	=:JA61.2		1 =	1 =	JA61.2 / BD70.0	Superficial thrombophlebitis in pregnancy / Superficial thrombophlebitis of lower limbs
35624	15 妊娠中の深在静脈血栓症	0 L	0223	=:JA61.3		1 =	1 =	JA61.3	Deep phlebothrombosis in pregnancy
35629	15 妊娠性静脈炎	0 L	0229	下:JA61.Z		1 =	1 =	JA61.Y	Gestational phlebitis NOS
35630	15 妊娠性静脈血栓症	0 L	0229	下:JA61.Z		1 <	1 <	JA61.Y	Phlebitis complicating pregnancy
35636	15 妊娠中の子宮頸管炎	0 L	0235	=:JA62.4		1 =	1 <	JA62.4	Cervicitis complicating pregnancy
35639	15 子宮内感染症	0 L	0235	=:JA62.4		1 =	1 <	JA62.4	Infections of the genital tract in pregnancy
35643	15 妊娠中の性器感染症	0 L	0235	=:JA62.4		1 =	1 <	JA62.4	Infections of the genital tract in pregnancy
35644	15 妊娠中の日群溶連菌性膣炎	0 L	0235	=:JA62.4		1 =	1 =	JA62.4 & XA1K7 & XN2M1	Vaginitis complicating pregnancy & vagina & Streptococcus, group B
35646	15 妊娠中の子宮内感染	0 L	0235	=:JA62.4		1 =	1 =	JA62.4 & XA9N3	Intrauterine infection in pregnancy & Uterus
35647	15 妊娠中の尿路性器感染症	0 L	0239	下:JA62.Z		1 =	1 =	JA62.Z	Infection of genitourinary tract in pregnancy, site unspecified
35648	15 1型糖尿病合併妊娠	0 L	0240	=:JA63.0		1 =	1 =	JA63.0	Pre-existing type 1 diabetes mellitus in pregnancy
35652	15 2型糖尿病合併妊娠	0 L	0241	=:JA63.1		1 =	1 =	JA63.1	Pre-existing type 2 diabetes mellitus in pregnancy
35657	15 妊娠中の栄養失調症	0 L	025	=:JA64		1 =	1 =	A64	Malnutrition in pregnancy
35658	15 妊娠中の体重過剰増加	0 L	0260	=:JA65.2		1 =	1 =	JA65.2	Excessive weight gain in pregnancy
35660	15 習慣流産妊娠の管理	0 L	0262	=:JA65.4		1 =	1 =	JA65.4	Pregnancy care of habitual aborter
35661	15 妊娠中の遺残した子宮内避妊器具	0 L	0263	=:JA65.5		1 =	1 =	JA65.5	Retained intrauterine contraceptive device in pregnancy
35670	15 妊娠中の黄疸	0 L	0266	上:JA65.0		1 =	1 =	JA65.0/M/E10.1	Liver disorders in pregnancy, childbirth or the puerperium / Unspecified jaundice
35672	15 妊娠中肝障害	0 L	0266	上:JA65.0		1 =	1 =	JA65.0	Liver disorders in pregnancy, childbirth or the puerperium

No	ICD10 標準病名章	ICD11 和訳と一致	代表・同義コード	10 ≧ 11 でのサブリンク情報	対 Foundation 粒度			対 MMS 粒度		
					ICD11 和訳にあつた場合の英語	ICD11 和訳の精度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係
35674	15 妊娠性反復性黄疸	0 L	O266	上:JA65.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1110228123 & http://id.who.int/icd/entity/1721353160 / http://id.who.int/icd/entity/1056591229	1 =	JA65.0&XT44/ME10.1	Liver disorders in pregnancy, childbirth or the puerperium & Recurrent / Unspecified jaundice	
35675	15 恥骨結合開離	0 L	O267	=:JA65.7	1 =	http://id.who.int/icd/entity/661090575	1 =	JA65.7	Subluxation of symphysis pubis in pregnancy, childbirth or the puerperium	
35676	15 妊娠高血圧網膜症	0 L	O268	下:JA65.ZI.上: JA65.11.上: JA65.11.上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/218513628 & http://id.who.int/icd/entity/714822826	1 =	9B71.1.&XT0S	Hypertensive retinopathy & Pregnancy	
35680	15 妊娠腎	0 L	O268	下:JA65.ZI.上: JA65.11.上: JA65.11.上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1820143581	1 <	JA65.Y	Nephropathy in pregnancy	
35681	15 水腎症合併妊娠	0 L	O268	下:JA65.ZI.上: JA65.11.上: JA65.11.上: JA65.12	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1820143581 / http://id.who.int/icd/entity/1379313682	1 <	JA65.Y / GB56.4	Nephropathy in pregnanc / hydronephrosis	
35682	15 妊娠性エコーノイズ	0 L	O268	JA65.11.上: JA65.11.上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/810195673	1 <	DA0B.Y	Pregnancy-associated gingivitis	
35684	15 妊娠性末梢神経炎	0 L	O268	下:JA65.ZI.上: JA65.11.上: JA65.11.上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1545981529	1 <	JA65.Y	Peripheral neuritis complicating pregnancy or puerperium	
35685	15 妊娠性の衰弱および疲労	0 L	O268	下:JA65.ZI.上: JA65.11.上: JA65.11.上: JA65.12	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1430926096	1 <	JA65.Y	pregnancy-related exhaustion and fatigue	
35686	15 妊娠水腎症	0 L	O268	下:JA65.ZI.上: JA65.11.上: JA65.11.上: JA65.12	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1820143581 / http://id.who.int/icd/entity/1379313682	1 <	JA65.Y / GB56.4	Nephropathy in pregnanc / hydronephrosis	
35691	15 妊娠中の肺の圧迫性虚脱	0 L	O290	=:JA67.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1068885712	1 <	JA67.0	Pressure collapse of lung due to anaesthesia during pregnancy	
35692	15 妊娠中マントリリン症候群	0 L	O290	=:JA67.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/375502347 / http://id.who.int/icd/entity/854587674	1 <	JA67.0 / CA72	Mendelson syndrome due to anaesthesia during pregnancy / Mendelson syndrome	
35693	15 妊娠中呼吸器合併症	0 L	O290	=:JA67.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/437072167	1 =	JA67.0	Pulmonary complications of anaesthesia during pregnancy	
35694	15 妊娠中誤嚥性肺炎	0 L	O290	=:JA67.0	1 =	http://id.who.int/icd/entity/1660500938 / http://id.who.int/icd/entity/1975993872	1 =	JA67.0 / CA71.0	Inhalation of stomach contents or secretions due to anaesthesia during pregnancy / Pneumonitis due to inhalation of food or vomit	
35700	15 妊娠中の挿管不成功	0 L	O296	=:JA67.5	1 =	http://id.who.int/icd/entity/212365095	1 =	JA67.5	Failed or difficult intubation during pregnancy	
35701	15 妊娠中の挿管困難	0 L	O296	=:JA67.5	1 =	http://id.who.int/icd/entity/212365095	1 =	JA67.5	Failed or difficult intubation during pregnancy	
35703	15 一絛毛膜二羊膜性双胎	0 L	O300	=:JA80.0	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1662154859	1 <	JA80.0	Twin pregnancy 2人の赤ちゃんが一つの胎盤を共有し、その間が羊膜で隔てられています。	

No	ICD10 標準病名	ICD11 和訳との一致	代表薬コード	ICD10 10 ≧ 11 でのサブタイプ情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		MMS Representatio n	備考
						ICD11 和訳との一致	ICD11 関係	ICD11 関係	ICD11 関係		
35704	15 二絨毛膜二羊膜性双胎	0 L	0300	=:JA80.0		1 <	http://id.who.int/icd/entity/16621548599	1 <	JA80.0		2人の赤ちゃんが各自の胎盤をもち、各自が絨毛と羊膜という層の腹に包まれています。
35707	15 一絨毛膜一羊膜性双胎	0 L	0300	=:JA80.0		1 <	http://id.who.int/icd/entity/16621548599	1 <	JA80.0		2人の赤ちゃんが一つの胎盤を共有し、その間を隔てるものはありません。
35713	15 五胎妊娠	0 L	0308	下:JA80.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/775149547	1 <	JA80.Y		Quintuplet pregnancy
35717	15 一胎以上流産後の妊娠継続	0 L	0311	=:JA81.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/446791040	1 =	JA81.1		Continuing pregnancy after abortion of one fetus or more
35718	15 一胎以上子宮内死亡後の妊娠継続	0 L	0312	=:JA81.2		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1846291841	1 =	JA81.2		Continuing pregnancy after intrauterine death of one fetus or more
35719	15 多胎妊娠に特異的な合併症	0 L	0318	下:JA81.Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1070955958	1 =	JA81.Z		Maternal care related to complications specific to multiple gestation, unspecified
35720	15 不安定胎位のための母体管理	0 L	0320	=:JA82.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/2121076950	1 =	JA82.0		Maternal care for unstable lie
35721	15 不全足位	0 L	0321	=:JA82.1		1 <	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0		片脚は下へ伸ばし、片脚は上にあげた状態。Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction (骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児)
35722	15 全足位	0 L	0321	=:JA82.1		1 <	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0		両脚を下へ伸ばした状態Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction (骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児)
35723	15 単殿位	0 L	0321	=:JA82.1		1 <	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0		胎児のお尻が下で、V字型の姿勢をしており骨盤位の8割が単殿位で経産分娩も可能Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction (骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児)
35724	15 骨盤位のための母体管理	0 L	0321	=:JA82.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/455531840	1 =	JA82.1		Maternal care for breech presentation
35726	15 膝位	0 L	0321	=:JA82.1		1 <	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0		両膝をついた姿勢「全膝位」、片膝をついた「不全膝位」Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction (骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児)
35727	15 複殿位	0 L	0321	=:JA82.1		1 <	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0		臀部に足部が同時に下降するのを複殿位Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction (骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児)
35728	15 足位	0 L	0321	=:JA82.1		1 <	http://id.who.int/icd/entity/682638346	1 <	KA05.0		脚を伸ばして立ったように、足先が子宮口側を向いている状態。Fetus or newborn affected by breech delivery or extraction (骨盤位または骨盤位の影響を受けた胎児または新生児)
35729	15 横位のための母体管理	0 L	0322	=:JA82.2		1 =	http://id.who.int/icd/entity/728699714	1 =	JA82.2		Maternal care for transverse presentation of fetus
35731	15 斜位のための母体管理	0 L	0322	=:JA82.2		1 =	http://id.who.int/icd/entity/784253996	1 =	JA82.2		Maternal care for oblique presentation
35732	15 前頭位分娩	0 L	0323	=:JA82.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/180371499	1 =	JA82.3		Maternal care for face, brow or chin presentation
35733	15 頤位のための母体管理	0 L	0323	=:JA82.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/180371499	1 =	JA82.3		Maternal care for face, brow or chin presentation
35734	15 顔位のための母体管理	0 L	0323	=:JA82.3		1 =	http://id.who.int/icd/entity/180371499	1 =	JA82.3		Maternal care for face, brow or chin presentation

～ 第16章 標準病名 ～

標準病名のICD-11コーディング作業結果

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳の一致	代替コード	ICD10 コード	10 ⇒ 11 でのマッピング情報	ICD11 和訳に当たった場合の表	対 Foundation 関係	ICD11 Foundation URI	対 MNIS 関係	MNIS Representation	備考
36400	16	高血圧性障害のある母体より出生した児	0 1	P000	≧KA00.0			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.0	Fetus or newborn affected by maternal hypertensive disorders
36404	16	大腸菌感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN6P4	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Escherichia coli (大腸菌) J+XN6P4 Escherichia coli]
36409	16	成人下咽頭白血病ウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XH6TE2	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Adult T-cell leukemia (成人下咽頭白血病) J+XH6TE2 Adult T-cell leukemia/lymphoma (HTLV-1 positive)]
36421	16	単核ヘルペスウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN41T & XN5V1	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Herpes simplex virus (単核ヘルペスウイルス) J+XN41T & XN5V1] の C、面方を付加
36422	16	ヒトパピローマウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN81Y	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Human papillomavirus (ヒトパピローマウイルス) J+XN81Y Human papillomavirus]
36423	16	日群溶連菌感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN2M1	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Streptococcal infection, Group B (日群溶連菌感染症) J+XN2M1 Streptococcus, Group B]
36424	16	トキソプラズマ感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN7HC	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Toxoplasma (トキソプラズマ) J+XN7HC Toxoplasma]
36429	16	コクサッキーウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN3MC	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Coxsackievirus (コクサッキーウイルス) J+XN3MC Coxsackievirus]
36441	16	クラミジア感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN27H	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Chlamydia (クラミジア) J+XN27H Chlamydia]
36445	16	水痘・帯状疱疹ウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN07A	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Varicella zoster virus (水痘・帯状疱疹ウイルス) J+XN07A Varicella zoster virus]
36449	16	風疹ウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN2WE	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Rubella virus (風疹ウイルス) J+XN2WE Rubella virus]
36456	16	HIV感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN487	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [HIV (HIV) J+XN487 Human immunodeficiency virus]
36458	16	B型肝炎ウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN0GA	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Hepatitis B virus (B型肝炎ウイルス) J+XN0GA Hepatitis B virus]
36459	16	梅毒感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 <	KA00.3	Syphilis complicating pregnancy, childbirth or puerperium, affecting fetus or newborn (胎児または新生児に影響を与える、妊娠、分娩または産後)に合併する梅毒 ⇒ index term にある
36460	16	サイトメガロウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN3SQ	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Cytomegalovirus (サイトメガロウイルス) J+XN3SQ Cytomegalovirus]
36463	16	C型肝炎ウイルス感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 & XN1EZ	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Hepatitis C virus (C型肝炎ウイルス) J+XN1EZ Hepatitis C virus]
36465	16	カンジダ感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 =	KA00.3 / 1F23	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Candidosis (カンジダ) J+ 1F23 Candidosis]
36468	16	ヒトヘルペスウイルスB19感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 <	KA00.3 / 1F04	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Human Parvovirus B19 infection (ヒトヘルペスウイルスB19) J+ 1F04 Erythema infectiosum (index term) にある]
36469	16	真菌感染母体より出生した児	0 1	P002	≧KA00.3			1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1745-2924-16-10326	1 <	KA00.3 / 1F22	Fetus or newborn affected by maternal infectious diseases/KAO0.3 (母体の感染症により影響を受けた胎児または新生児) [Mycosis (真菌) J+ 1F22 Mycoses, unspecified (all index term) にある]

No	ICD10 章	疾病名称	ICD11 和 訳語の 一致	代替 用語	ICD10 コード	10 ≧ 11 でのコード ング情報	ICD11 和訳に 基づく 変換の 変換	対 Foundation 程度	対 ICD11 Foundation URI	対 ICD11 程度	対 MMS 程度	MMS Representation	備考
36472	16	タリエー病母体より出生した児	0 1	P008	下:KA00 Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA00 / EC20 2		Fetus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y 現在の妊娠とは無関係の場合もありうる詳細不明の母体の病態により影響を受けた児または新生児) タリエー病:Diener's disease + EC20 2 Hereditary acantholytic dermatoses (index term にある) Fetus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y 関節リウマチ: Rheumatoid arthritis + FA20 Rheumatoid arthritis	
36478	16	関節リウマチ母体より出生した児	0 1	P008	下:KA00 Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA00 / FA20		Fetus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y 関節リウマチ: Rheumatoid arthritis + FA20 Rheumatoid arthritis	
36479	16	皮膚筋炎母体より出生した児	0 1	P008	下:KA00 Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 =	KA00 / 4A41 0		Fetus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y 皮膚筋炎: Dermatomyositis + 4A41 0 Dermatomyositis	
36481	16	バセドウ病母体	0 1	P008	下:KA00 Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA00 / 5A02 0		Fetus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y バセドウ病: Basedow disease + 5A02 0 Thyrotoxicosis with diffuse goitre (index term にある)	
36482	16	橋本病母体より出生した児	0 1	P008	下:KA00 Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA00 / 5A03 20		Fetus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y 橋本病: Hashimoto disease + 5A03 20 Hashimoto thyroiditis (index term にある)	
36483	16	SLE 母体	0 1	P008	下:KA00 Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 =	KA00 / 4A40 0		Fetus or newborn affected by unspecified maternal condition that may be unrelated to present pregnancy/KA00.Y SLE: Systemic lupus erythematosus + 4A40 0 Systemic lupus erythematosus	
36484	16	前期破水による胎児の障害	0 1	P011	KA01.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 =	KA01.1		Fetus or newborn affected by ectopic pregnancy/ (子宮外妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 腰痛: Abdominal pregnancy /KA01.4 の包含	
36485	16	前期破水による新生児の障害	0 1	P011	KA01.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 =	KA01.1		Fetus or newborn affected by premature rupture of membranes/KA01.1	
36486	16	胎児腹膜炎	0 1	P014	KA01.4		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 =	KA01.4		Fetus or newborn affected by premature rupture of membranes/KA01.1	
36488	16	双胎妊娠胎児	0 1	P015	KA01.5		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.5		Fetus or newborn affected by Twin pregnancy/KA01.5 双胎は、index term にある	
36489	16	三胎妊娠新生児	0 1	P015	KA01.5		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.5		Fetus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 三胎妊娠: Triplet pregnancy は、index term にある	
36490	16	五胎妊娠胎児	0 1	P015	KA01.5		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.5		Fetus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 五胎妊娠: Quintuplet pregnancy は、index term にある	
36491	16	双胎妊娠新生児	0 1	P015	KA01.5		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.5		Fetus or newborn affected by Twin pregnancy/KA01.5 (双胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児)	
36492	16	五胎妊娠新生児	0 1	P015	KA01.5		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.5		Fetus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 五胎妊娠: Quintuplet pregnancy は、index term にある	
36493	16	三胎妊娠胎児	0 1	P015	KA01.5		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.5		Fetus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 三胎妊娠: Triplet pregnancy	
36494	16	双生児	0 1	P015	KA01.5		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.5		Fetus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 双生児: Twin(s) (newborn) は、index term にある	
36495	16	四胎妊娠胎児	0 1	P015	KA01.5		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.5		Fetus or newborn affected by multiple pregnancy/KA01.5 (多胎妊娠により影響を受けた胎児または新生児) 四胎妊娠: Quadriplet pregnancy は、index term にある	
36498	16	自然流産胎児	0 1	P018	下:KA01 Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA01.Y		Fetus or newborn affected by unspecified maternal complication of pregnancy (詳細不明の母体の妊娠合併症に影響を受けた胎児または新生児) 自然流産、胎児: Spontaneous abortion, fetus/KA01.Y (index term にある)	
36499	16	胎盤早期剥離新生児	0 1	P021	KA02.Y		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA02.Y		Fetus or newborn affected by premature separation of placenta/KA02.Y 胎盤早期剥離: Premature separation of placenta	
36500	16	胎盤早期剥離胎児	0 1	P021	KA02.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 <	KA02.Y		Fetus and newborn affected by premature separation of placenta/KA02.Y	
36501	16	分娩前出血新生児	0 1	P021	KA02.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/14752875/187519	1 =	KA01.8		分娩前出血: Antepartum haemorrhage ⇒ Antepartum haemorrhage affecting fetus or newborn/KA01.8	

No	ICD10 章	病名	ICD11 和訳	代碼	ICD10 コード	10 ⇒ 11 のマッピング情報	ICD11 和訳に当たった場合の変更	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
36502	16	分娩前出血胎児	0 1	P021	=KA02.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	KA01.8 分娩前出血 Antepartum haemorrhage ⇒ Antepartum haemorrhage affecting fetus or newborn/KA01.8
36503	16	胎盤梗塞胎児	0 1	P022	=KA02.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	胎盤梗塞 Placental infarction ⇒ Fetus or newborn affected by placental infarction/KA02.2
36504	16	胎盤機能低下新生児	0 1	P022	=KA02.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	胎盤機能低下 胎盤機能不全 Placental dysfunction / Insufficiency ⇒ Fetus or newborn affected by placental dysfunction, not otherwise specified/KA02.Y の index term がある 胎盤機能不全 Placental dysfunction / Insufficiency ⇒ Fetus or newborn affected by placental dysfunction, not otherwise specified/KA02.Y の index term がある
36505	16	胎児胎盤機能低下	0 1	P022	=KA02.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	胎盤梗塞 Placental infarction ⇒ Fetus or newborn affected by placental infarction/KA02.2
36506	16	胎盤梗塞新生児	0 1	P022	=KA02.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by placental infarction/KA02.2
36509	16	胎盤梗塞による胎児の障害	0 1	P023	=KA02.4		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by placental transfusion syndromes/KA02.4
36511	16	胎盤梗塞による胎児の障害	0 1	P023	=KA02.4		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by placental transfusion syndromes/KA02.4
36513	16	胎盤梗塞による胎児の障害	0 1	P024	=KA03.0		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by placental transfusion syndromes/KA03.0
36514	16	胎児胎盤頸部巻絡	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus or newborn affected by cord around neck/KA03.1 ⇒ 胎盤頸部巻絡 Cord (tightly) around neck Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児 ⇒ 胎盤巻絡 Entanglement of cord
36516	16	胎児胎盤巻絡	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus or newborn affected by cord around neck/KA03.1 ⇒ 胎盤巻絡 Entanglement of cord
36517	16	胎盤圧迫による胎児の障害	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児
36519	16	胎児胎盤過捻転	0 1	P025	=KA03.1		1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児
36520	16	新生児胎盤過捻転	0 1	P025	=KA03.1		1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児
36521	16	胎児胎盤下肢巻絡	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児
36522	16	新生児胎盤下肢巻絡	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児
36524	16	新生児胎盤巻絡	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児 ⇒ 胎盤巻絡 Entanglement of cord
36525	16	新生児胎盤上肢巻絡	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児
36526	16	新生児胎盤結節	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus or newborn affected by umbilical cord knot/LB03.Y 胎盤結節 Knot in cord/LB03.Yの index term がある Fetus or newborn affected by cord around neck/KA03.1 ⇒ 胎盤頸部巻絡 Cord (tightly) around neck
36527	16	新生児胎盤頸部巻絡	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus or newborn affected by cord around neck/KA03.1 ⇒ 胎盤頸部巻絡 Cord (tightly) around neck KA03.1 の index term がある
36528	16	胎児胎盤上肢巻絡	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by other compression of umbilical cord/KA03.1 の他の圧迫により影響を受けた胎児または新生児
36529	16	胎児胎盤結節	0 1	P025	=KA03.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus or newborn affected by umbilical cord knot/LB03.Y 胎盤結節 Knot in cord/LB03.Yの index term がある Fetus or newborn affected by cord around neck/KA03.1 ⇒ 胎盤頸部巻絡 Cord (tightly) around neck
36530	16	胎児胎盤過短	0 1	P026	=KA03.Z1上KA03.20		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by short umbilical cord/KA03.20
36531	16	新生児胎盤過短	0 1	P026	=KA03.Z1上KA03.20		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by short umbilical cord/KA03.20
36532	16	胎盤脱着遅延	0 1	P026	=KA03.Z1上KA03.20		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	胎盤脱着遅延 Delayed separation of umbilical cord Fetus or newborn affected by vasa praevia/KA03.3
36533	16	胎盤脱着不全	0 1	P026	=KA03.Z1上KA03.20		1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	胎盤脱着不全 Placental abruption* ICD-11中に該当する訳語見当たらず ⇒ 胎盤脱着不全 Placental abruption* ICD-11中に該当する訳語見当たらず * ICD-11中に該当する訳語見当たらず
36534	16	前置血管新生児	0 1	P026	=KA03.Z1上KA03.20		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by vasa praevia/KA03.3
36535	16	胎盤脱着不全	0 1	P026	=KA03.Z1上KA03.20		2 <	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	2 <	Fetus or newborn affected by other unspecified conditions of umbilical cord 胎盤脱着不全 Separation failure of umbilical cord ? * ICD-11中に該当する訳語見当たらず
36536	16	前置血管胎児	0 1	P026	=KA03.Z1上KA03.20		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 =	Fetus or newborn affected by vasa praevia/KA03.3
36537	16	胎位異常新生児	0 1	P031	=KA05.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1475287520244238008	1 <	Fetus and newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery

No	ICD10 章	疾病病名	ICD11 和訳の 一致の 数	代 表 的 ICD10 コード	10 分級 の コード	ICD11 和訳に あつた 場合の 一致の 数	対 Foundation 関係	ICD11 Foundation URI	対 ICD10 関係	対 ICD11 関係	MMS Representation	備考
36538	16	横位新生児	0 1	P031	=KA05.1	1 >	1 >	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.1	Fetus and newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery Fetus and newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery
36540	16	横位胎児	0 1	P031	=KA05.1	1 >	1 >	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.1	Fetus and newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition and disproportion during labour and delivery
36541	16	胎位異常胎児	0 1	P031	=KA05.1	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.1	Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition or disproportion during labour or delivery/KA05.1 (分娩中の他の胎位異常、胎位異常及び胎児骨盤不均衡により影響を受けた胎児または新生児)
36542	16	胎向異常新生児	0 1	P031	=KA05.1	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.1	Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition or disproportion during labour or delivery/KA05.1 (分娩中の他の胎位異常、胎位異常及び胎児骨盤不均衡により影響を受けた胎児または新生児)
36543	16	胎向異常胎児	0 1	P031	=KA05.1	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.1	Fetus or newborn affected by other malpresentation, malposition or disproportion during labour or delivery/KA05.1 (分娩中の他の胎位異常、胎位異常及び胎児骨盤不均衡により影響を受けた胎児または新生児)
36544	16	鉗子分娩による新生児の障害	0 1	P032	=KA05.2	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA05.2	Fetus or newborn affected by forceps delivery/KA05.2
36545	16	吸引分娩による新生児の障害	0 1	P033	=KA05.3	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA05.3	Fetus or newborn affected by vacuum extractor/KA05.3
36547	16	希切産症候群	0 1	P034	=KA05.4	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA05.4	Fetus or newborn affected by caesarean delivery/KA05.4
36548	16	急速分娩による新生児の障害	0 1	P035	=KA05.5	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA05.5	Fetus or newborn affected by precipitate delivery/KA05.5
36549	16	異常子宮収縮による新生児の障害	0 1	P036	=KA05.6	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA05.6	Fetus or newborn affected by abnormal uterine contractions/KA05.6
36550	16	微弱陣痛胎児	0 1	P036	=KA05.6	1 <	1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.6	Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by abnormal uterine contractions/KA05.6
36551	16	過強陣痛新生児	0 1	P036	=KA05.6	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.6	Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by abnormal uterine contractions/KA05.6
36552	16	微弱陣痛新生児	0 1	P036	=KA05.6	1 <	1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.6	Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by abnormal uterine contractions/KA05.6
36553	16	過強陣痛胎児	0 1	P036	=KA05.6	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA05.6	Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by uterine inertia/KA05.6 (陣痛の影響を受けた胎児または新生児) Fetus or newborn affected by abnormal uterine contractions/KA05.6
36554	16	向精神薬服用母体より出生した児	0 1	P041	=KA06.2	1 <	1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA06.2	過強陣痛: strong uterine contraction Fetus or newborn affected by other maternal medication/KA06.2 向精神薬: psychotropic drugs
36555	16	抗悪露薬服用母体より出生した児	0 1	P041	=KA06.2	1 <	1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA06.2	過強陣痛: strong uterine contraction Fetus or newborn affected by other maternal medication/KA06.2 抗悪露薬: anticonvulsant
36567	16	超低出生体重児	0 1	P070	=KA21.02	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA21.02	Fetus or newborn affected by other maternal medication/KA21.0 Extremely low birth weight of newborn/KA21.0
36569	16	超低出生体重児	0 1	P071a	=KA21.02	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA21.02	Very low birth weight of newborn/KA21.1
36572	16	低出生体重児	0 1	P071b	=KA21.02	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA21.02	Low birth weight of newborn/KA21.2
36575	16	妊娠28週未満で出生した児	0 1	P072	=KA21.32	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA21.32	Extreme prematurity of newborn/KA21.3
36577	16	妊娠28週以降の早産児	0 1	P073	=KA21.42	1 <	1 <	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA21.42	Preterm newborn/KA21.4
36583	16	過体重児	0 1	P081	=KA22.0	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA22.0	過体重児: exceptionally large newborn/KA22.0
36584	16	高身長児	0 1	P081	=KA22.0	2 =	2 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	2 =	2 =	KA22/5812	Disorders of newborn related to long gestation or high birth weight/ (遅延妊娠及び高出生体重に関連する新生児の障害) 高身長: tall stature (はるか、高身長児) に対する名英訳は ICD-11 に見あたらず Disorders of newborn related to long gestation or high birth weight/KA22.2 (遅延妊娠及び高出生体重に関連する新生児の障害)
36585	16	胎児発育過度	0 1	P081	=KA22.2	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA22.2	胎児発育過度: excessive fetal growth
36588	16	分娩時新生児硬膜下出血	0 1	P100	=KA40.00	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA40.00	Subdural haemorrhage due to birth injury/KA40.00
36589	16	分娩時新生児脳出血	0 1	P101	=KA40.01	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA40.01	Cerebral haemorrhage due to birth injury/KA40.01
36590	16	分娩時新生児脳室内出血	0 1	P102	=KA40.03	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA40.03	Intraventricular haemorrhage due to birth injury/KA40.03
36591	16	分娩時新生児毛膜下出血	0 1	P103	=KA40.04	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA40.04	Subchoroidal haemorrhage due to birth injury/KA40.04
36592	16	分娩時新生児下唇裂傷	0 1	P104	=KA40.05	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 =	1 =	KA40.05	Remonial tear due to birth injury/KA40.05
36593	16	分娩時新生児頭蓋内裂傷	0 1	P109	=KA40.02	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA40.02	Intracranial laceration or haemorrhage due to birth injury/
36594	16	分娩時新生児頭蓋内出血	0 1	P109	=KA40.02	1 =	1 =	http://dx.doi.org/10.1186/1308357020	1 <	1 <	KA40.02	Intracranial laceration or haemorrhage due to birth injury/

No	ICD10 章	傷害病名	ICD11 和訳 訳名	ICD10 コード	10 ⇒ 11 のマッピング コード	ICD11 和訳に あつた場合の 変換	対 Foundation 粒度		対 MMS 粒度		備考
							ICD11 和訳 訳名	ICD10 コード	ICD11 Foundation URI	ICD11 変換	
36595	16	新生児脳損傷		P112	下:KA40.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 <	KA40.Y	脳損傷: Damage to brain * http://dx.doi.org/10.1181/1816163855 Damage to brain due to birth injury, not elsewhere classified/KA40.Y
36596	16	分娩時無酸素脳症		P112	下:KA40.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA40 / 8E65	
36598	16	新生児顔面神経損傷		P113	=KA44.00		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA44.00	Birth injury to central nervous system (中枢神経系の出生損傷) + 無酸素脳症: anoxic brain damage
36599	16	新生児頭血腫		P120	=KA42.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA42.1	Cephalohaematomas due to birth injury/KA42.1
36602	16	新生児噴状腱膜下出血		P122	=KA42.4		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA42.4	Subgaleal epipranial subaponeurotic haemorrhage due to birth injury/KA42.4
36603	16	頭皮の分娩損傷		P129	=KA42.3		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA42.3	Injury to scalp of newborn due to scalp clip or electrode/KA42.3
36604	16	頭皮の分娩損傷		P129	下:KA42		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA42.Z	Birth injury to scalp/KA42.Z
36605	16	新生児頭蓋骨折		P130	=KA45.02		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.0	Fracture of skull due to birth injury/KA45.0
36606	16	大腿骨の分娩損傷		P132	下:KA45.6		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.6 & YA69A0	Birth injury to long bones (長骨の出生損傷) 大腿骨: femur は入つていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36607	16	尺骨の分娩損傷		P133	下:KA45.6		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.6 & XA5007	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 尺骨: ulna
36608	16	橈骨の分娩損傷		P133	下:KA45.6		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.6 & XA3WG1	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 橈骨: radius は入つていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36609	16	上腕骨の分娩損傷		P133	下:KA45.6		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.6 & XA2XU4	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 上腕骨: humerus は入つていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36610	16	腓骨の分娩損傷		P133	下:KA45.6		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.6 & XA3KT5	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 腓骨: fibula は入つていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36611	16	脛骨の分娩損傷		P133	下:KA45.6		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.6 & XA4U1	Birth injury to long bones/KA45.6 (長骨の出生損傷) 脛骨: tibia は入つていない *Fracture(骨折) ならば項目あり
36612	16	新生児鎖骨骨折		P134	下:KA45		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.5	Birth injury to skeleton (骨格の出生損傷) 鎖骨: clavicle ⇒ CD-10 P13.4 Fracture of clavicle due to birth injury ⇒ KA45.5
36613	16	分娩損傷による骨格		P139	下:KA45		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA45.Y	Birth injury to skeleton/KA45.Y (骨格の出生損傷)
36618	16	新生児末梢神経損傷		P149	下:KA44.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 <	KA44.Z	Birth injury to peripheral nervous system/KA44.Z
36619	16	上肢分娩麻痺		P149	下:KA44.Z		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA44.Z & XA4BA8	Birth injury to peripheral nervous system/KA44.Z 上肢: upper limb
36620	16	分娩麻痺		P149	下:KA44.Z		1 >	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 >	KA44.Z	Birth injury to peripheral nervous system/KA44.Z
36621	16	肝の分娩損傷		P150	=KA46.0		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA46.0	Birth injury to liver/KA46.0
36622	16	脾の分娩損傷		P151	=KA46.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA46.1	Birth injury to spleen/KA46.1
36624	16	新生児筋性斜頸		P152	=KA43.0		1 <	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 <	KA43.0	Birth injury to sternocleidomastoid/KA43.0 (胸鎖乳突筋の出生損傷) 筋性斜頸: muscular torticollis
36625	16	眼の分娩損傷		P153	=KA41		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA41	Birth injury to eye/KA41
36626	16	顔面の分娩損傷		P154	=KA43.3		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA43.3	Birth injury to face/KA43.3
36627	16	外性器の分娩損傷		P155	=KA43.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA43.1	Birth injury to external genitalia/KA43.1
36628	16	出産時児損傷		P159	下:KA42		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA42	Birth injury/KA42
36631	16	分娩時児損傷		P159	下:KA42		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 =	KA42	Birth injury/KA42
36634	16	第2度仮死		P210	=KD30.0		1 <	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 <	KB21.0	Severe birth asphyxia/ (重度出生時仮死)
36636	16	第1度仮死		P211	=KD30.1		1 <	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 <	KB21.0	Mild and moderate birth asphyxia/ (軽度及び中等度出生時仮死)
36637	16	軽度新生児仮死		P211	=KD30.1		1 =	http://dx.doi.org/10.1181/1816163855	1 <	KB21.0	Mild and moderate birth asphyxia/ (軽度及び中等度出生時仮死)

標準病名のICD-11コーディング作業結果 ～ 第17章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	標準病名	ICD10 D1. 同	10⇒11での マッピング情報	ICD11新 版にある 代り不適切	対 Foundation 相度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 相度	MMS Representation	備考
37048	17 後頭孔腫出症	0 L Q002	=LA00.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1558931335	1 =	LA00.1	後頭孔腫出症: Iniencephaly Encephalocele (脳嚢)
37059	17 頭蓋周囲静脈洞	0 L Q019	FLA01		1 <	http://id.who.int/icd/entity/2115894108	1 <	LA01	* 頭蓋周囲静脈洞: sinus pericranii [ICD-11]に見当たらず
37061	17 頭蓋骨腫洞	0 L Q019	FLA01		1 <	http://id.who.int/icd/entity/2115894108	1 <	LA01	* 頭蓋骨腫洞: sinus pericranii [ICD-11]に見当たらず Encephalocele (脳嚢)
37074	17 中脳水道狭窄症	0 L Q030	=LA04.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1284135636	1 <	LA04.0	Hydrocephalus with stenosis of the aqueduct of Sylvius (中脳水道狭窄症を伴う水頭症) * 中脳水道狭窄症: Stenosis of the aqueduct of Sylvius は類義語にある * ヲビエング囊による Hydrocephalus with stenosis of the aqueduct of Sylvius (中脳水道狭窄症を伴う水頭症) * ヲビエング囊による Hydrocephalus with stenosis of the aqueduct of Sylvius (中脳水道狭窄症を伴う水頭症) * 先天性中脳水道狭窄症 (congenital stenosis of aqueduct of Sylvius)] 中脳水道の異常 中脳水道狭窄症は、先天性の後天性がある。 中脳水道先天異常は、先天性の中脳水道の異常と判断。
37077	17 中脳水道先天異常	0 L Q030	=LA04.0		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1284135636	1 <	LA04.0	Hydrocephalus with stenosis of the aqueduct of Sylvius (中脳水道狭窄症を伴う水頭症) * 先天性中脳水道狭窄症 (congenital stenosis of aqueduct of Sylvius)] 中脳水道の異常 中脳水道狭窄症は、先天性の後天性がある。 中脳水道先天異常は、先天性の中脳水道の異常と判断。
37079	17 ダンディ・ウォーカー症候群	0 L Q031	FLA06.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/993088960	1 <	LA06.0	Dandy-Walker malformation (ダンディ・ウォーカー奇形) * Dandy-Walker syndrome (ダンディ・ウォーカー症候群) は類義語にある * ヲビエング囊による Congenital hydrocephalus (先天性水頭症) に分類 ⇒ モンロー孔は、脳内の空洞である脳室のうち、左右の側脳室と第三脳室とをつなぐ穴の、 * ヲビエング囊による Congenital hydrocephalus (先天性水頭症) に分類 * X連鎖性遺伝性水頭症 (X-linked genetic hydrocephalus) はICD-11に見当たらず Corpus callosum agenesis
37083	17 モンロー孔閉塞症	0 L Q038	FLA04.Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/1878746673	2 <	LA04.Z	Hydranencephaly: 水頭症性無脳症 (水無脳症) Cerebellar hypoplasia (小脳形成不全) ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37086	17 X連鎖性遺伝性水頭症	0 L Q039	FLA04.Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/1878746673	2 <	LA04.Z	Hydranencephaly: 水頭症性無脳症 (水無脳症) Cerebellar hypoplasia (小脳形成不全) ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37089	17 脳梁形成不全	0 L Q040	=LA05.3		1 <	http://id.who.int/icd/entity/2012425106	1 <	LA05.3	Hydranencephaly: 水頭症性無脳症 (水無脳症) Cerebellar hypoplasia (小脳形成不全) ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37102	17 水頭症性無脳症	0 L Q043	FLA02 E:LD20.00 E:LD20.1 E:LD20.0		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1963574608	1 <	LA05.62	Hydranencephaly: 水頭症性無脳症 (水無脳症) Cerebellar hypoplasia (小脳形成不全) ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37104	17 小脳形成不全	0 L Q043	FLA02 E:LD20.00 E:LD20.1 E:LD20.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/179350437 & http://id.who.int/icd/entity/179350437	1 =	LA05.0 & XA1C2	Hydranencephaly: 水頭症性無脳症 (水無脳症) Cerebellar hypoplasia (小脳形成不全) ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37105	17 小脳欠損	0 L Q043	FLA02 E:LD20.00 E:LD20.1 E:LD20.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/179350437 & http://id.who.int/icd/entity/179350437	1 =	LA05.0 & XA1C2	Hydranencephaly: 水頭症性無脳症 (水無脳症) Cerebellar hypoplasia (小脳形成不全) ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37110	17 小脳回症	0 L Q043	FLA02 E:LD20.00 E:LD20.1 E:LD20.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/2081858551	1 =	LA00.0 & XA1C	小脳回症: microgyria ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37114	17 無脳回症	0 L Q043	FLA02 E:LD20.00 E:LD20.1 E:LD20.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/805385292	1 <	LA05.50	小脳回症: microgyria ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37115	17 脳形成不全性水頭症	0 L Q043	FLA02 E:LD20.00 E:LD20.1 E:LD20.0		2 <	http://id.who.int/icd/entity/1943473314 / http://id.who.int/icd/entity/1943473314	2 =	8D64.10 / LA05.0	小脳回症: microgyria ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37116	17 溝脳症	0 L Q043	FLA02 E:LD20.00 E:LD20.1 E:LD20.0		1 =	http://id.who.int/icd/entity/805385292	1 <	LD20.1	小脳回症: microgyria ⇒ 脳の形成不全 + 小脳症 (Synonymy) がある。 脳の形成不全は、小脳症 (Synonymy) がある。
37123	17 片側巨脳症	0 L Q045	=LA05.1		1 =	http://id.who.int/icd/entity/261229160	1 <	LA05.1	溝脳症: fissurephaly/agyria * Syndromes with lissencephaly as a major feature (溝脳症を主な特徴とする症候群)] の類義語に agyria がある。
37127	17 先天性脳のう陥	0 L Q046	=LA05.7		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1633056148	1 <	LA05.7	Hemimegalencephaly Brain cystic malformations (脳のう陥性奇形) Congenital cerebral cysts: 先天性脳のう陥は類義語
37131	17 巨脳回症	0 L Q048	FLA02 E:LD20.04 E:LD20.0Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/810833887	2 <	LA05.5	Brain cystic malformations (脳のう陥性奇形) Congenital cerebral cysts: 先天性脳のう陥は類義語
37132	17 巨大大槽	0 L Q048	FLA02 E:LD20.04 E:LD20.0Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/215057224	2 <	LA02	macrogyria: 巨脳回症 * 左記URLは Abnormal neuronal migration (異常なニューロンの移動)] ⇒ 巨大大槽: megalosterna magna (ICD-11に該当する英語単語に当たらず) ⇒ 巨大大槽: megalosterna magna (後頭蓋窩の脳組織に明らか成形異常は伴わず、脳底 * ヲビエング囊による Q048 は左記の3つのURLがある)
37133	17 シュペール症候群連発症	0 L Q048	FLA02 E:LD20.04 E:LD20.0Z		1 <	http://id.who.int/icd/entity/1488858760	1 <	LD20.0Z	Joubert syndrome 先天性脳萎縮: congenital brain atrophy [ICD-11に該当する英語単語に当たらず * 左記URLは Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造異常)] 先天性脳萎縮: congenital brain atrophy [ICD-11に該当する英語単語に当たらず * 左記URLは Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造異常: 脳高性皮質異常形成) 大脳皮質: cerebral cortex
37135	17 先天性脳萎縮	0 L Q048	FLA02 E:LD20.04 E:LD20.0Z		2 <	http://id.who.int/icd/entity/215057224	2 <	LA02	Joubert syndrome 先天性脳萎縮: congenital brain atrophy [ICD-11に該当する英語単語に当たらず * 左記URLは Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造異常)] 先天性脳萎縮: congenital brain atrophy [ICD-11に該当する英語単語に当たらず * 左記URLは Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造異常: 脳高性皮質異常形成) 大脳皮質: cerebral cortex
37136	17 大脳皮質形成異常	0 L Q048	FLA02 E:LD20.04 E:LD20.0Z		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1556086233 & http://id.who.int/icd/entity/1556086233	1 =	LA05.01 & XA64R0	Joubert syndrome 先天性脳萎縮: congenital brain atrophy [ICD-11に該当する英語単語に当たらず * 左記URLは Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造異常)] 先天性脳萎縮: congenital brain atrophy [ICD-11に該当する英語単語に当たらず * 左記URLは Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造異常: 脳高性皮質異常形成) 大脳皮質: cerebral cortex

No	ICD10章	標準病名	ICD10章コード	10⇒11でのサブコーディング	ICD11和訳にある場合の標準病名	対 Foundation 相対度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 相対度	MMS Representation	備考
37137	17	異所性灰白質	0 L Q048	FLA07.1 L:LD20.02	FLA07.1 L:LD20.04 L:LD20.02	2 <	https://id.who.int/icd/enthy/3272560976	2 <	LA05.Z	Cerebral structural developmental anomalies (脳の構造的発達異常) 異所性灰白質: heterotopic gray matter (ICD-11に見当たらず) ⇒異所性灰白質 (ノドヒト): 灰白質すなわち神経細胞 (後立胞体・樹状突起) の集まり
37143	17	先天性脳奇形	0 L Q049	FLA02		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/3272560976	1 =	LA05.Z	Cerebral structural developmental anomalies (脳の構造的発達異常) 先天性脳奇形: congenital brain abnormality (は類義語にある)
37144	17	先天性脳疾患	0 L Q049	FLA02		2 >	https://id.who.int/icd/enthy/3272560976	2 <	LA02	Cerebral structural developmental anomalies (脳の構造的発達異常) 先天性脳疾患: congenital brain disease (ICD-11に見当たらず) Mylomeningocele with hydrocephalus
37147	17	髄膜瘤を伴う水頭症	0 L Q054	=LA02.02		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/182894151	1 =	LA02.00	髄蓋内皮膚洞: intracranial dermal sinus (ICD-11に見当たらず) * ヲビツラ表による Cerebral spinal bifida aperta (頸椎二分脊椎) だが?
37148	17	頭蓋内皮膚洞	0 L Q055	=LA02.1		1 <	https://id.who.int/icd/enthy/1512525460	1 <	LA02.1	Dorsal spina bifida NOS * Thoracolumbosacral spina bifida aperta (胸腰仙椎脊椎破裂?) の類義語にある * Thoracolumbar spina bifida NOS * Thoracolumbosacral spina bifida aperta の類義語にある
37150	17	背側脊椎破裂	0 L Q056	=LA02.1		1 <	https://id.who.int/icd/enthy/2108603667	1 <	LA02.1	* ヲビツラ表による Lumbosacral spina bifida aperta (腰仙椎脊椎破裂?) の類義語にある * Thoracolumbosacral spina bifida aperta (胸腰仙椎脊椎破裂?) の類義語にある
37152	17	胸腰部脊椎破裂	0 L Q056	=LA02.1		1 <	https://id.who.int/icd/enthy/2108603667	1 <	LA02.1	* ヲビツラ表による Lumbosacral spina bifida aperta (腰仙椎脊椎破裂?) の類義語にある * Thoracolumbar spina bifida NOS * Thoracolumbosacral spina bifida aperta の類義語にある
37156	17	腰髄膜瘤破裂	0 L Q057	=LA02.1		1 <	https://id.who.int/icd/enthy/417689735	1 <	LA02.1	* ヲビツラ表による Lumbosacral spina bifida aperta (腰仙椎脊椎破裂?) の類義語にある * Thoracolumbosacral spina bifida aperta (胸腰仙椎脊椎破裂?) の類義語にある
37158	17	腰仙部皮膚洞	0 L Q057	=LA02.1		2 <	https://id.who.int/icd/enthy/417689735	1 <	LA02.1	腰仙部: lumbosacral 皮膚洞: dermal sinus * ヲビツラ表による Lumbosacral spina bifida aperta (腰仙椎脊椎破裂?) の類義語にある ⇒腰仙部皮膚洞: 背側の皮膚に存在する小さな穴が脊髄まで連続しているため、髄膜瘤 lumbosacral spina bifida: 腰仙椎脊椎破裂
37159	17	腰仙部脊椎破裂	0 L Q057	=LA02.1		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/417689735	1 <	LA02.1	* ヲビツラ表による Lumbosacral spina bifida aperta (腰仙椎脊椎破裂?) の類義語にある 仙骨脊椎破裂: sacral spina bifida (ICD-11に見当たらず) * ヲビツラ表による Spina bifida (脊椎破裂)
37164	17	仙骨部脊椎破裂	0 L Q058	FLA02.Z		2 <	https://id.who.int/icd/enthy/2036217905	2 <	LA02.Z	* ヲビツラ表による Spina bifida (脊椎破裂) Spinal hydromeningocele * ヲビツラ表による Spina bifida (脊椎破裂) 皮膚洞: dermal sinus Spina bifida
37166	17	水髄膜瘤	0 L Q059	FLA02.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/317206431	1 <	LA02.Y	Lipoymyelomeningocele (脂肪脊髄髄膜瘤) Spina bifida
37167	17	皮膚洞	0 L Q059	FLA02.Z		2 >	https://id.who.int/icd/enthy/2036217905	2 <	LA02.Z	Spina bifida
37180	17	脊椎抜裂症	0 L Q059	FLA02.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/2036217905	1 =	LA02.Z	Lipoymyelomeningocele (脂肪脊髄髄膜瘤) Spina bifida
37183	17	脊髄脂肪髄膜瘤	0 L Q059	FLA02.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/1919145296	1 <	LA07.Y	Lipoymyelomeningocele (脂肪脊髄髄膜瘤) Spina bifida
37187	17	全脊椎裂	0 L Q059	FLA02.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/910194123	1 <	LA02.1	Total spina bifida aperta 椎体辺縁分離: lumbar vertebra (ICD-11に見当たらず) * ヲビツラ表による Spina bifida (脊椎破裂) * ヲビツラ表による Structural developmental anomalies of the neuraxial canal: spinal
37190	17	椎体辺縁分離	0 L Q059	FLA02.Z		2 <	https://id.who.int/icd/enthy/2036217905	2 <	LA02.Z	椎体辺縁分離: lumbar vertebra (ICD-11に見当たらず) * ヲビツラ表による Spina bifida (脊椎破裂) * ヲビツラ表による Structural developmental anomalies of the neuraxial canal: spinal
37193	17	脊椎異形成	0 L Q061	FLA07.Z		1 <	https://id.who.int/icd/enthy/7254399990	1 =	LA07 & XA0V83	* ヲビツラ表による Spina bifida (脊椎破裂) * ヲビツラ表による Structural developmental anomalies of the neuraxial canal: spinal Diasternatomyelia
37198	17	脊髄離開	0 L Q062	=LA07.1		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/2070601288	1 <	LA07.1	Diasternatomyelia
37200	17	脊髄抜裂	0 L Q062	=LA07.1		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/1547705800	1 <	LA02.Y	Myeloschisis
37203	17	割離症	0 L Q068	FLA07.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/2070601288	1 <	LA07.1	Diasternatomyelia
37204	17	先天性髄膜変形	0 L Q069	FLA07.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/20973679	1 <	LA07.Y	Congenital malformation of spinal cord, unspecified 先天性髄膜変形: deformity of spinal cord or meninges NOS (は類義語にある)
37205	17	先天性脊髄異常	0 L Q069	FLA07.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/20973679	1 <	LA07.Y	Congenital malformation of spinal cord, unspecified 先天性脊髄異常: congenital spinal cord anomaly (は類義語にある)
37206	17	脊髄奇形	0 L Q069	FLA07.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/20973679	1 <	LA07.Y	Congenital malformation of spinal cord, unspecified 脊髄の先天性奇形: 詳細不明 脊髄奇形: spinal cord malformation / spine cord malformation (は類義語にある)
37207	17	先天性髄膜異常	0 L Q069	FLA07.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/20973679	1 <	LA07.Y	Congenital malformation of spinal cord, unspecified 先天性髄膜異常: congenital anomaly of spinal cord or meninges NOS (は類義語にある)
37208	17	先天性脊髄変形	0 L Q069	FLA07.Z		1 =	https://id.who.int/icd/enthy/20973679	1 <	LA07.Y	Congenital malformation of spinal cord, unspecified 脊髄の先天性奇形: 詳細不明 先天性髄膜変形: congenital deformity of spinal cord or meninges NOS (は類義語にある)

No	ICD10章	標準病名	ICD11章	ICD10章	10⇒11での対応	ICD11和訳	ICD11和訳にあつた標準病名	対 Foundation 精度	対 MMS 精度	MMS Representation	備考
37210	17	キアリ畸形第2奇形	0 L	Q070	=LA03			1 =	1 =	LA03	Arnold-Chiari malformation type II
37219	17	キアリ畸形第1奇形	0 L	Q070	=LA03			1 =	1 =	LA07.4	Chiari malformation type I Arnold-Chiari malformation type I
37222	17	キアリ畸形第3奇形	0 L	Q070	=LA03			1 <	1 <	LA03	Arnold-Chiari malformation NOS
37223	17	キアリ畸形第4奇形	0 L	Q070	=LA03			1 <	1 <	LA03	Arnold-Chiari malformation NOS
37227	17	キアリ畸形第4奇形	0 L	Q070	=LA03			1 <	1 <	LA03	Arnold-Chiari malformation NOS
37229	17	先天性神経系萎縮	0 L	Q078	≠LA02			1 <	1 <	LA02	*「マヒンク」表による Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系先天性神経系萎縮: congenital atrophy of nervous system) [ICD-11に見当たらず] *左記URLは「Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造発
37230	17	下顎眼瞼異常運動症候群	0 L	Q078	≠LA02			1 <	1 <	LA02	先天性神経系萎縮: congenital atrophy of nervous system [ICD-11に見当たらず] *左記URLは「Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系の構造発
37232	17	マヒ症候群	0 L	Q078	≠LA02			1 =	1 =	9A03.00	Marcus Gunn syndrome
37234	17	上胸神経叢転位	0 L	Q078	≠LA02			1 <	1 <	LA02	* Displacement of brachial plexus (腕神経叢の変位)? *「マヒンク」表による Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系
37235	17	腰仙部神経根奇形	0 L	Q079	=LA02			1 =	1 <	LA02 / 8B93.Y	*「マヒンク」表による Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系
37236	17	先天性中枢神経異常	0 L	Q079	=LA02			1 =	1 =	LA02 & XA3U6	*「マヒンク」表による Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系先天性中枢神経異常: Congenital anomalies/abnormalities of central nervous system) [ICD
37238	17	神経管奇形	0 L	Q079	=LA02			1 <	1 <	LA02	*「マヒンク」表による Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系神経管奇形: malformation of neural canal)
37239	17	先天性神経系異常	0 L	Q079	=LA02			1 =	1 <	LA02	*「マヒンク」表による Structural developmental anomalies of the nervous system (神経系先天性神経系異常: Congenital anomalies of nervous system)
37244	17	眼瞼先天異常	0 L	Q103	≠9A00.Z			1 <	2 <	LA14.Z	* Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) [http://id.who.int/icd/entri
37247	17	睫毛欠損	0 L	Q103	≠9A00.Z			1 <	2 <	9A00.Z	* 眼瞼変形: deformity of eyelid [ICD-11に見当たらず] * 眼瞼先天異常: Congenital anomalies/abnormalities of eyelids [ICD-11に見当たらず] *「マヒンク」表による Congenital malposition of eyelids (まぶたの先天性位置異常) [
37248	17	副眼筋	0 L	Q103	≠9A00.Z			2 <	2 <	LA14.Z	睫毛欠損/無発生 (Absence/Agenesis of eyelash) [ICD-11に見当たらず] Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) *副眼筋 [は医学用語辞典でも、まぶたで検索しても英訳不明] ICD-10 (日本語) で「眼瞼の先天性位置異常」
37249	17	先天性睫毛内反症	0 L	Q103	≠9A00.Z			1 <	1 <	9A00.Z	先天性睫毛内反症: Congenital eyelash entropion [ICD-11に見当たらず] Congenital malposition of eyelids (まぶたの先天性位置異常) [
37251	17	無眼瞼症	0 L	Q103	≠9A00.Z			1 =	1 <	LA14.Y	* Congenital malposition of eyelids (まぶたの先天性位置異常) [http://id.who.int/icd/entri/959651392
37252	17	眼瞼変形	0 L	Q103	≠9A00.Z			1 <	2 <	LA14.Z	Congenital abelpharonia [LA14.Yのindex term] がある。 Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) * 眼瞼変形: deformity of eyelid [ICD-11に見当たらず]
37253	17	副眼筋	0 L	Q103	≠9A00.Z			2 <	2 <	LA14.Z	Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) * 副眼筋: accessory eyelid [ICD-11に見当たらず]
37256	17	先天性眼裂縮小	0 L	Q103	≠9A00.Z			1 =	1 <	LA14.OY	Congenital malformations of the eyelid (眼瞼の先天性奇形) 先天性眼裂縮小: Congenital blepharophimosis / index term] がある。 Structural developmental anomalies of lacrimal apparatus * 涙器の構造発達異常)
37261	17	涙器先天異常	0 L	Q106	≠LA14.Z			1 =	1 =	LA14.Z	涙器先天異常: Congenital malformation of lacrimal apparatus Structural developmental anomalies of orbit (眼窩の構造発達異常)
37263	17	眼窩先天異常	0 L	Q107	=LA14.2			1 =	1 <	LA14.2	眼窩先天異常: Congenital anomaly of orbit [は類義語] がある Structural developmental anomalies of orbit (眼窩の構造発達異常)
37264	17	眼窩形成不全	0 L	Q107	=LA14.2			1 <	1 <	LA14.2	眼窩形成不全: dysopia / hypoplasia of orbit [ICD-11に見当たらず] Structural developmental anomalies of orbit (眼窩の構造発達異常)
37265	17	のう胞状眼球	0 L	Q110	=LA10.2			1 =	1 <	LA10.2	Buphthalmos (水眼症) のう胞状眼球: Cystic eyeball [は類義語] がある Cryptophthalmia
37273	17	潜伏眼球	0 L	Q112	=LA10.01, F: LA02.10			1 =	1 =	LA14.01	Micropthalmos (小眼球) 眼球形成不全: Hypoplasia of eye [は類義語] がある
37275	17	眼球形成不全	0 L	Q112	=LA10.01, F: LA02.10			1 =	1 <	LA10.0	Micropthalmos (小眼球) 眼球形成不全: Hypoplasia of eye [は類義語] がある
37280	17	超微小眼球	0 L	Q112	=LA10.01, F: LA02.10			1 <	1 <	LA10.0	Micropthalmos (小眼球) 超微小眼球 [は英訳見当たらず]

No	ICD10章	標準病名	ICD10コード	10⇒11でのサブコーディング情報	ICD11和訳にある標準病名	対 Foundation 程度	対 MMS 程度	MMS Representation	備考
37283	17	層間白内障	Q120	=LA12.1		1 <	1 <	LA12.1	Congenital cataract (先天性白内障) 層間白内障: Congenital Zonular Cataract
37285	17	先天性中心性白内障	Q120	=LA12.1		1 <	1 <	LA12.1	Congenital cataract (先天性白内障) 白内障: Congenital Zonular Cataract
37286	17	楯状状白内障	Q120	=LA12.1		1 <	1 <	LA12.1	Congenital cataract (先天性白内障) 楯状状白内障: Dendritic cataract
37287	17	先天性点状白内障	Q120	=LA12.1		1 <	1 <	LA12.1	Congenital cataract (先天性白内障) 先天性点状白内障: Congenital punctate cataract (ICD-11に見当たらず)
37290	17	先天性無水晶体	Q123	=LA12.2		1 =	1 =	LA12.2	Congenital aphakia
37294	17	先天性円錐水晶体	Q128	下LA12.2		1 =	1 <	LA1Y	円錐水晶体: Ienticonus * congenital lenticonusは、類義語にある。 * 親項目は「Structural developmental anomalies of the eye, eyelid or lacrimal apparatus (眼の構造発達異常)」
37295	17	先天性水晶体奇形	Q129	下LA12.2		1 =	1 =	LA12.Z	Structural developmental anomalies of lens or zonula 先天性水晶体奇形: Congenital lens malformations and malpositions は類義語にある
37296	17	虹彩脈絡膜欠損症	Q130	=LA11.4		1 =	1 <	LA11.4	Coleboma of iris (虹彩欠損 <虹彩コロボ一>) 虹彩脈絡膜欠損症: coloboma of iris, choroid and retina は類義語にある
37302	17	先天性虹彩部分欠損	Q131	=LA11.3		1 <	1 <	LA11.3 & XK06	Aniridia (虹彩の欠損) Congenital absence of iris: 先天性虹彩欠損は類義語にある +「部分的 (partial)」
37309	17	先天性虹彩欠損	Q131	=LA11.3		1 =	1 <	LA11.3	Aniridia (虹彩の欠損) Congenital absence of iris: 先天性虹彩欠損は類義語にある
37311	17	先天性小瞳孔	Q132	下LA11.Z.重:		1 =	1 <	LA11.Y	Microcoria (小瞳孔) 先天性小瞳孔: Congenital microcoria は類義語にある
37312	17	虹彩形成不全症	Q132	下LA11.Z.重:		1 =	1 <	LA11.3	Aniridia (虹彩の欠損) 虹彩形成不全: agenesis of iris, aplasia of iris は類義語にある 虹彩の先天性奇形: Congenital abnormality of iris (虹彩の先天性異常) Congenital malformation of iris NOS&synonymsにある。
37316	17	先天性異色症	Q132	下LA11.Z.重:		1 =	1 =	LA11.Z	Sclerocornea /LA11.10/index termにある。 異色症: congenital heterochromia of iris は類義語にある
37319	17	狭隅角	Q132	下LA11.Z.重:		2 >	2 >	9C61.10	狭隅角: narrow angle
37322	17	強膜化角膜	Q134	下LA11.Z.重:		1 =	1 <	LA11.1	Sclerocornea /LA11.10/index termにある。 角膜の構造発達異常
37326	17	先天性角膜奇形	Q134	下LA11.Z.重:		1 =	1 <	LA11.1	Structural developmental anomalies of cornea (角膜の構造発達異常) 先天性角膜奇形: Malformations of cornea は類義語にある
37342	17	第1次硝子体過形成遺残	Q140	=LA13.0		1 =	1 <	LA13.Y	Persistent hyperplastic primary vitreous
37344	17	網膜血管異常	Q141	=LA13.3		1 <	1 <	LA13.3	* ヲビソク表による Congenital vitreoretinal dysplasia (先天性硝子体網膜異形成) * 網膜血管異常: retinal vascular anomaly (ICD-11に見当たらず)
37345	17	黄斑偏位	Q141	=LA13.3		1 =	1 <	LA13.3	* ヲビソク表による Congenital vitreoretinal dysplasia (先天性硝子体網膜異形成) * 黄斑偏位: Macular heterotopia (ICD-11に見当たらず) * 黄斑の変位: Displacement of macula (http://dx.doi.org/10.1007/s12271-010-9058-3840) にある。 Congenital vitreoretinal dysplasia (先天性硝子体網膜異形成)
37347	17	網膜異形成	Q141	=LA13.3		1 >	1 <	LA13.3	Congenital vitreoretinal dysplasia (先天性硝子体網膜異形成)
37348	17	黄斑部コロボ一	Q141	=LA13.3		1 =	1 =	LA13.2	Coleboma of macula
37349	17	網膜の先天性奇形	Q141	=LA13.3		1 =	1 <	LA13.3	Congenital anomaly of retina
37350	17	網膜色素沈着	Q141	=LA13.3		1 >	1 <	LA13.3	網膜の先天性色素沈着: Congenital pigmentation of retina * ヲビソク表による Congenital vitreoretinal dysplasia (先天性硝子体網膜異形成) * 先天性網膜血管走行異常: Congenital retinal macrovessel (ICD-11に見当たらず)
37352	17	先天性網膜血管走行異常	Q141	=LA13.3		1 <	1 <	LA13.3	網膜の先天性色素沈着: Congenital pigmentation of retina * ヲビソク表による Congenital vitreoretinal dysplasia (先天性硝子体網膜異形成) * 先天性網膜血管走行異常: Congenital retinal macrovessel (ICD-11に見当たらず)
37356	17	視神経乳頭低形成	Q142	=LA13.7Z		1 =	1 <	LA13.7Y & XA4A7E	Optic nerve hypoplasia or aplasia * 親項目は「Congenital malformation of optic disc (視神経乳頭先天性奇形)」
37359	17	視神経乳頭の先天性奇形	Q142	=LA13.7Z		1 =	1 =	LA13.7	Congenital malformation of optic disc
37360	17	脈絡膜欠損症	Q143	=LA13.6		1 <	1 <	LA11.4	Coleboma of choroid or retina (脈絡膜欠損症: Coloboma of choroid) * ヲビソク表による Congenital malformations of choroid (脈絡膜の先天性奇形) http://dx.doi.org/10.1007/s12271-010-9058-3840
37361	17	脈絡膜の先天性奇形	Q143	=LA13.6		1 =	1 =	LA13.6	Congenital malformations of choroid

No	CD10章	標準病名	ICD11 D1_1 同	ICD10 コード	10⇒11での マッピング情 報	ICD11和 訳にある 場合の 注	病名として 扱っては 不適切	対 Foundation 相度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 相度	MMS Representation	備考
37368	17	ぶどう膜欠損	0 L	Q148	下LA13.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entry/3907402036	2 <	LA13.Z	Congenital malformations of the uvea (ぶどう膜の先天奇形)
37371	17	眼底欠損	0 L	Q148	下LA13.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entry/1221971260	1 <	LA13.Z	*マッピング表によるとStructural developmental anomalies of the posterior segment of eye *眼底: fundus
37373	17	後房の先天異常	0 L	Q149	下LA13.Z			1 <	https://id.who.int/icd/entry/1221971260	1 <	LA13.Z	*マッピング表によるとStructural developmental anomalies of the posterior segment of eye Developmental glaucoma (発達緑内障) 新生児緑内障: Glaucoma of newbornは類義語にある
37377	17	新生児緑内障	0 L	Q150	=9C61.4Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/2064760868	1 =	9C61.4Z	Developmental glaucoma (発達緑内障) 発達性発達緑内障 = 発達性緑内障 + 遅発型 (late onset)
37379	17	遅発型発達緑内障	0 L	Q150	=9C61.4Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/2064760868 & https://id.who.int/icd/entry/2064760868 & https://id.who.int/icd/entry/1184797371	1 =	9C61.4 & XT3R	Developmental glaucoma (発達緑内障) 早発型発達緑内障 = 発達性緑内障 + 早発型 (early onset)
37380	17	早発型発達緑内障	0 L	Q150	=9C61.4Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1981704094	1 <	LA10Y	Congenital keratoglobus
37383	17	先天性球状角膜	0 L	Q158	下LA12.Z LA12.Z LA12.Z LA12.Z LA12.Z LA12.Z LA12.Z LA12.Z LA12.Z LA12.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1394965978	1 <	LA10Y	Congenital malformations of the eye (眼の先天奇形) 先天性眼異常: congenital anomaly of eye (は類義語)にある
37386	17	先天性眼異常	0 L	Q159	=LA12.Z =LD21.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1394965978	1 <	LA10Y	Congenital malformations of the eye (眼の先天奇形) 先天性眼異常: congenital anomaly of eye (は類義語)にある
37387	17	先天性眼奇形	0 L	Q159	=LA12.Z =LD21.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1513496791 & https://id.who.int/icd/entry/1513496791	1 <	LA10Y	Congenital abnormal fusion of auditory ossicles (LA22.3のindex term) である 先天性眼奇形: congenital deformity of eye (は類義語)にある
37404	17	耳小骨融合	0 L	Q163	=LA22.3			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1309465978	1 <	LA22.3	Congenital abnormal fusion of auditory ossicles (LA22.3のindex term) である (耳小骨の先天性異常融合) 耳小骨融合: fusion of ear ossicles (は類義語)にある
37406	17	先天性耳管異常	0 L	Q164	下LA22.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1566048818	1 <	LA20	Congenital structural anomaly of eustachian apparatus
37408	17	中耳先天奇形	0 L	Q164	下LA22.Z			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1513496791 & https://id.who.int/icd/entry/1513496791	1 =	LA22.Z & XA0G74	*マッピング表によるとStructural developmental anomalies of ear causing hearing impair *中耳先天奇形: Congenital deformity of middle ear (はICD-11に見当たらず) (deformity of e Structural developmental anomalies of inner ear (内耳の構造発達異常))
37411	17	内耳先天奇形	0 L	Q165	=LA22.4			1 =	https://id.who.int/icd/entry/413036259	1 <	LA22.4	Structural developmental anomalies of inner ear (内耳の構造発達異常) 内耳先天奇形: Congenital malformation of inner ear (は類義語)にある
37413	17	前庭水管拡大症	0 L	Q165	=LA22.4			1 =	https://id.who.int/icd/entry/288419849	1 <	AB50Y	Enlarged vestibular aqueduct
37422	17	過剰耳	0 L	Q170	=LA24			1 =	https://id.who.int/icd/entry/12188528157	1 <	LA24	Accessory auricle (外)
37424	17	大耳症	0 L	Q171	=LA21.0			1 =	https://id.who.int/icd/entry/52782345	1 =	LA21.0	Macrotia
37429	17	尖耳	0 L	Q173	=LA21.3			1 <	https://id.who.int/icd/entry/314832996	1 <	LA21.3	*マッピング表によるとMishapen ear (奇形耳) *尖耳: pointed ear (はICD-11に見当たらず)
37430	17	先天性耳介奇形	0 L	Q173	=LA21.3			1 =	https://id.who.int/icd/entry/842877470	1 <	LA21.3	Minor anomalies of pinnae (耳介の軽微な異常)
37436	17	垂耳	0 L	Q175	=LA21.1			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1521838592	1 <	LA21Y	先天性耳介奇形: congenital deformity of pinna of ear (は類義語)にある *垂耳 (はICD-10/Q175に分類されており、対応するCD-11はProtruding ear (突き出した耳) *垂耳「が」垂れた耳「を」示すならはLoop or cup ear anomaly (http://id.who.int/icd/entry/1521838592) (はICD-11に見当たらず)
37437	17	聾立耳	0 L	Q175	=LA21.1			1 =	https://id.who.int/icd/entry/73836130	1 <	LA21.1	Protruding ear (突き出した耳) 聾立耳: prominent ear (は、類義語)にある (Congenital prominent auricle (先天性の顕著な耳) *マッピング表によるとProtruding ear (突き出した耳) *聾立耳は: Minor anomalies of pinnae (耳介の軽微な異常) (http://id.who.int/icd/entry/1521838592) (はICD-11に見当たらず)
37440	17	耳垂裂	0 L	Q178	下LA22			2 <	https://id.who.int/icd/entry/842877470	2 <	LA22	耳垂裂: cleft earlobe *Aptasia or hypoplasia of external auditory canal (外耳道の形成不全または形成不全) (はICD-11に見当たらず) *マッピング表によるとStructural developmental anomalies of the ear (耳の構造発達異常) 外耳道奇形: malformation of external auditory canal
37441	17	外耳道奇形	0 L	Q178	下LA22			1 =	https://id.who.int/icd/entry/2035972378	1 <	LA22	Congenital absence of lobe of ear
37442	17	先天性耳垂欠損	0 L	Q178	下LA22			1 =	https://id.who.int/icd/entry/108076065	1 <	LA22Y	Structural developmental anomalies of the ear (耳の構造発達異常)
37443	17	スター耳	0 L	Q178	下LA22			1 <	https://id.who.int/icd/entry/108076065	1 <	LA22	先天性耳垂欠損 スター耳: Stahl's ear
37445	17	袋耳	0 L	Q178	下LA22			1 <	https://id.who.int/icd/entry/108076065	1 <	LA22	Structural developmental anomalies of the ear (耳の構造発達異常) 袋耳: Pocket ear (はICD-11に見当たらず)
37447	17	耳輪埋没症	0 L	Q178	下LA22			1 =	https://id.who.int/icd/entry/1969605754	1 <	LA21Y	Cryptotia
37448	17	折耳	0 L	Q178	下LA22			1 <	https://id.who.int/icd/entry/108076065	1 <	LA22	Structural developmental anomalies of the ear (耳の構造発達異常) 折耳: Folded ear (はICD-11に見当たらず)
37450	17	耳珠異常	0 L	Q179	=LA22			1 <	https://id.who.int/icd/entry/108076065	1 <	LA22	Structural developmental anomalies of the ear (耳の構造発達異常) 耳珠異常: Anomaly of tragus (はICD-11に見当たらず)

標準病名のICD-11コーディング作業結果 ～ 第18章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD10 章	標準病名	ICD11和訳との一致	ICD10コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11和訳に合わせた変更点	病名とICD11で一致しない理由	対 Foundation 粒度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 粒度	MMS Representation	備考
40454	18	頻脈性不整脈	0 L	R000	F:BC9Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1457291912	1 <	BC9Z	頻脈性不整脈には、Ventricular tachyarrhythmia (心室性頻脈性不整脈) と supraventricular tachyarrhythmia (上室性頻脈性不整脈) がある。
40455	18	頻拍症	0 L	R000	F:BC9Z			1 >	http://id.who.int/icd/entity/1457291912	1 <	BC9Z	発作性、上室、心室、など種類有
40456	18	呼吸性不整脈	0 L	R000	F:BC9Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1457291912	1 <	BC9Z	心臓に何の病気もないのに脈を打つことが呼吸によつて不規則になることを「呼吸性不整脈」と呼びます。「洞性」は正常とほぼ同義。脈が速くなっている状態。
40457	18	洞頻脈	0 L	R000	F:BC9Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1457291912	1 <	BC9Z	
40458	18	頻脈症	0 L	R000	F:BC9Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1457291912	1 <	BC9Z	
40455	18	徐脈	0 L	R001	=:MC81.1 F:BC9Z 上: BC80.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2079810536	1 =	MC81.1	Bradycardia, unspecified
40467	18	徐脈性不整脈	0 L	R001	=:MC81.1 F:BC9Z 上: BC80.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1457291912	1 <	BC9Z	bradyarrhythmia: Cardiac arrhythmiaの同義語にある。
40468	18	洞徐脈	1 L	R001	=:MC81.1 F:BC9Z 上: BC80.1	Sinus bradycardia		=		=	BC80.1	
40469	18	徐脈発作	0 L	R001	=:MC81.1 F:BC9Z 上: BC80.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1457291912	1 <	BC9Z	徐脈性不整脈とほぼ同義
40470	18	徐脈性失神	0 L	R001	=:MC81.1 F:BC9Z 上: BC80.1	Palpitations		1 =	http://id.who.int/icd/entity/1457291912 / http://id.who.int/icd/entity/1418136013	1 =	MC81.1 / MG45.Z	Bradycardia (徐脈) +syncope(失神)
40473	18	動悸	1 L	R002	=:MC81.2			=		=	MC81.2	
40474	18	胸傍悸	0 L	R002	=:MC81.2		1					漢方医に確認
40479	18	心下悸	0 L	R002	=:MC81.2		1					漢方医に確認
40480	18	三段脈	0 L	R008	F:MC81.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/449943282	1 <	MC81.2	
40481	18	二段脈	0 L	R008	F:MC81.2			1 <	http://id.who.int/icd/entity/449943282	1 <	MC81.2	
40482	18	心拍異常	1 L	R008	F:MC81.2	abnormal heart beat		=		=	MC81	
40484	18	機能性収縮期雑音	0 L	R010	=:MC83.0			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1236434473	1 <	MC83.0	
40486	18	機能性心雑音	0 L	R010	=:MC83.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1236434473	1 <	MC83.0	Functional cardiac murmur: Benign and innocent cardiac murmursのindex termにある。
40488	18	連続性雑音	0 L	R011	F:MC83			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2140822372	1 <	MC83.2	
40489	18	心雑音	0 L	R011	F:MC83			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2140822372	1 <	MC83.2	Cardiac bruit: Cardiac murmurs and other cardiac soundsのsynonymにある。
40490	18	拡張期雑音	0 L	R011	F:MC83			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2140822372	1 <	MC83.2	
40491	18	収縮期雑音	0 L	R011	F:MC83			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2140822372	1 <	MC83.2	
40492	18	器質性心雑音	0 L	R011	F:MC83			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2140822372	1 <	MC83.2	

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	代変・同義コード	ICD10 コード	10=>11 でのマッピング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名とICD11で一致しない場合は不適切	対 Foundation 粒度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 粒度	MMS Representation	備考
40494	18	心濁音界拡大	0 L	R012	=:MC83.1				1 =	http://id.who.int/icd/entity/1604997463	1 <	MC83.1	Increased cardiac dullness: Other cardiac sounds of Index termにある。
40495	18	前胸部摩擦音	0 L	R012	=:MC83.1				1 =	http://id.who.int/icd/entity/2053573781	1 <	MC83.1	Precordial friction: Other cardiac sounds of Index termにある。
40496	18	心濁音界縮小	0 L	R012	=:MC83.1				1 =	http://id.who.int/icd/entity/711397910	1 <	MC83.1	Decreased cardiac dullness: Other cardiac sounds of Index termにある。
40497	18	下肢壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/2093217246	1 =	MC85 & XA45A6	Gangrene & Lower extremity (Lower limbは、index termにある)
40498	18	手指壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/452671086	1 =	MC85 & XA8D16	Gangrene & Thumb
40499	18	壊死	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	necrosis: Gangrene のsynonymにある。
40501	18	趾壊死	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/1735902769	1 <	MC85 & XA4LC9	necrosis: Gangrene のsynonymにある。& 【趾=Toes】
40502	18	下肢趾壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/2093217246 & http://id.who.int/icd/entity/1735902769	1 =	MC85 & XA45A6 & XA4LC9	gangrene & Lower extremity & Toes
40504	18	潰瘍性壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	ulcerative gangrene: Gangreneのsynonymにある。
40505	18	脊椎壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/405704375	1 =	MC85 & XA5I55	Gangrene & Vertebral column (spineは、index termにある)
40506	18	下腿壊死	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/2093217246	1 =	MC85 & XA45A6	necrosis: Gangrene のsynonymにある。& Lower extremity
40507	18	末梢壊死	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/1756775526	1 =	MC85 & XA06U6	necrosis(壊死) + Peripheral nerve(末梢)
40508	18	足壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/1896004518	1 =	MC85 & XA47V8	Gangrene & foot
40509	18	皮膚壊死	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/1159845363	1 =	MC85 & XA0364	skin necrosis: Gangrene of skinのsynonymにある。
40510	18	腹壁壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/817769182	1 =	MC85&XA6GV0	abdominal wall gangreneは、Abdominal gangrene のsynonymにある。MMSでは、Gangrene & Abdominal wall (Abdominalのsynonym) としてコード付けされる。
40511	18	水腫性壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/826220775	1 =	MC85 & MG29	Gangrene & Oedema(浮腫)
40512	18	壊死潰瘍	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	gangrenous ulcer: Gangreneのsynonymにある。
40513	18	特発性壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/894194405	1 =	MC85 & XB5F	Gangrene & Idiopathic(特発性)
40514	18	血管神経性壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 <	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	血管神経不足べき？
40515	18	下腿壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/2093217246	1 =	MC85 & XA45A6	Gangrene & Lower extremity
40516	18	耳介壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/2030796271	1 =	MC85 & XA4E71	Gangrene & Pinna
40517	18	足壊死	0 L	R02	=:MC85				1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/1896004518	1 =	MC85 & XA47V8	necrosis: Gangrene のsynonymにある。& foot
40518	18	神経原性壊疽	0 L	R02	=:MC85				1 <	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	神経部分不足べき？

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	ICD10 コード	10=>11 でのコーディング情報	ICD11 和訳にあつた場合の英語	病名とICD11で一致しない場合は不適切	対 Foundation 粒度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 粒度	MMS Representation	備考
40520	18	皮膚壊疽	0 L	R02	=:MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1159845363	1 =	MC85 & XA0364	Gangrene of skin
40522	18	壊疽	1 L	R02	=:MC85	Gangrene		=		=	MC85	
40523	18	手指脱疽	0 L	R02	=:MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1159845363 & http://id.who.int/icd/entity/822750113	1 =	MC85 & XA2593	手指は、手の指と捉えた。
40526	18	趾脱疽	0 L	R02	=:MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1159845363 & http://id.who.int/icd/entity/1735902769	1 =	MC85 & XA4LC9	Gangrene & 【趾=Toes】
40527	18	うつ血性壊疽	0 L	R02	=:MC85			1 <	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	
40529	18	壊死性炎症	0 L	R02	=:MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 =	MC85	necrosis: Gangrene のsynonymに ある
40530	18	会陰壊疽	0 L	R02	=:MC85			1 =	http://id.who.int/icd/entity/188156827 & http://id.who.int/icd/entity/402925049	1 =	MC85 & XA53N9	Gangrene & Perineum
40532	18	結節性壊死性皮膚炎	0 L	R02	=:MC85			1 <	http://id.who.int/icd/entity/188156827	1 <	MC85	“結節性” 該当なし
40533	18	非特異的血圧上昇	0 L	R030	=:MC80.0Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/523963970	1 <	MC80.0Z	
40534	18	白衣高血圧	1 L	R030	=:MC80.0Z	White coat hypertension		=		=	MC80.00	
40537	18	非特異性低血圧症	0 L	R031	=:MC80.1			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2054210520	1 <	MC80.1	Nonspecific low blood-pressure reading?
40539	18	鼻中隔出血	0 L	R040	=:MD20			1 =	http://id.who.int/icd/entity/608337668	1 <	MD20	類義語に鼻甲介出血があり
40540	18	特異性鼻出血	0 L	R040	=:MD20			1 =	http://id.who.int/icd/entity/608337668 & http://id.who.int/icd/entity/894194405	1 =	MD20 & XB5F	Epistaxis (鼻血) +Idiopathic (特異性)
40541	18	鼻血	0 L	R040	=:MD20			1 =	http://id.who.int/icd/entity/608337668	1 =	MD20	Nosebleed: Epistaxisのsynonymにある。
40543	18	習慣性鼻出血	0 L	R040	=:MD20			1 <	http://id.who.int/icd/entity/608337668	1 <	MD20	習慣性は、無し。
40544	18	鼻出血症	0 L	R040	=:MD20			1 =	http://id.who.int/icd/entity/608337668	1 <	MD20	
40546	18	突発性咽頭出血	0 L	R041	=:MD21			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1091154582 & http://id.who.int/icd/entity/1385443355	1 =	MD21 & XT3Z	pharyngeal haemorrhage: Haemorrhage from throatのsynym (咽頭出血) +Rapid onset (特異性)
40547	18	咽喉出血	0 L	R041	=:MD21			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1091154582	1 =	MD21	Haemorrhage from throat
40548	18	声帯出血	0 L	R041	=:MD21			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1091154582	1 <	MD21	
40549	18	咽頭出血	1 L	R041	=:MD21	bleeding of pharynx		<		<	MD21	
40550	18	喉頭出血	0 L	R041	=:MD21			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1091154582	1 <	MD21	
40551	18	血痰	0 L	R042	=:MD22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/899998313	1 <	MD22	Blood-stained sputum: Haemoptysisのsynonymにある。
40553	18	腎血	0 L	R042	=:MD22			1 =	http://id.who.int/icd/entity/899998313	1 =	MD22	Haemoptysis
40554	18	肺出血	0 L	R048	=:MD23			1 =	http://id.who.int/icd/entity/54016416	1 <	MD23	Pulmonary haemorrhage
40555	18	気管内出血	0 L	R048	=:MD23			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2002615588	1 <	MD23	tracheal haemorrhage: Endotracheal haemorrhageのsynymにある。

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	ICD10 コード	10=>11 でのマッピング情報	ICD11 和訳に於ける英訳	病名とICD11との関係	対 Foundation 粒度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 粒度	MMS Representation	備考
40556	18	気管支出血	1 L	R048	=:MD23	tracheobronchial tree haemo rhage				<	MD23	
40557	18	肺胞出血	1 L	R048	=:MD23	alveolar haemo rhage				<	MD23	
40558	18	上気道出血	0 L	R048	=:MD23			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1042575386	1 <	MD23	Upper airway haemorrhage
40560	18	気道出血	0 L	R049	下:MD2Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/496129435	1 <	MD2Z	Haemorrhage from respiratory passages
40563	18	慢性咳嗽	0 L	R05	=:MD12			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1651982587	1 <	MD12	Chronic cough
40565	18	アレルギー性咳嗽	0 L	R05	=:MD12			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2027526159 & http://id.who.int/icd/entity/971190258	1 =	MD12 / 4A8Z	Cough (咳) + Allergic (アレルギー)
40569	18	カタル性咳	0 L	R05	=:MD12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2027526159	1 <	MD12	
40570	18	咳	0 L	R05	=:MD12			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2027526159	1 =	MD12	Cough
40571	18	乾性咳	0 L	R05	=:MD12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2027526159	1 <	MD12	
40572	18	湿性咳	0 L	R05	=:MD12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2027526159	1 <	MD12	
40573	18	感染後咳嗽	0 L	R05	=:MD12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2027526159	1 <	MD12	
40575	18	アトピー性咳嗽	0 L	R05	=:MD12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2027526159	1 <	MD12	
40576	18	咳失神	0 L	R05	=:MD12			2 =	http://id.who.int/icd/entity/1647642651	2 <	MD12	Tussive syncope
40578	18	遷延性咳嗽	0 L	R05	=:MD12			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2027526159 & http://id.who.int/icd/entity/1313511357	1 =	MD12 & XT6Z	Cough (咳嗽) + Persistent (遷延性)
40579	18	夜間咳	0 L	R05	=:MD12			1 <	http://id.who.int/icd/entity/2027526159	1 <	MD12	
40584	18	呼吸促進	0 L	R060	=:MD11.5			1 =	http://id.who.int/icd/entity/960305085	1 <	MD11.5	respiratory distress: Dyspnoeaのsynonymにあり。
40585	18	呼吸困難	0 L	R060	=:MD11.5			1 =	http://id.who.int/icd/entity/960305085	1 =	MD11.5	Dyspnoea
40586	18	呼吸困難発作	0 L	R060	=:MD11.5			1 <	http://id.who.int/icd/entity/960305085	1 <	MD11.5	
40589	18	起坐呼吸	0 L	R060	=:MD11.5			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1076152687	1 <	MD11.5	Orthopnoea: Dyspnoeaのindex terms
40590	18	息切れ	0 L	R060	=:MD11.5			1 =	http://id.who.int/icd/entity/960305085	1 <	MD11.5	short of breath: Dyspnoeaのsynonym
40591	18	労作時呼吸困難	0 L	R060	=:MD11.5			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1409318119	1 <	MD11.5	Exertional dyspnoea
40593	18	発作性呼吸困難	1 L	R060	=:MD11.5					<	BD11.Z	
40594	18	夜間呼吸困難	0 L	R060	=:MD11.5			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1625623389	1 <	MD11.5	Nocturnal dyspnoea
40595	18	閉性呼吸困難	0 L	R060	=:MD11.5			1 <	http://id.who.int/icd/entity/960305085	1 <	MD11.5	
40596	18	喘鳴	0 L	R061	=:MD11.B			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1551292969	1 =	MD11.B	Stridor

No	ICD10 章	標準病名	ICD11 和訳との一致	ICD10 コード	10⇒11でのマッピング情報	ICD11 病名に合った場合は英語	ICD11 病名と和訳との不一致	対 Foundation 粒度	ICD11 Foundation URI	対 MMS 粒度	MMS Representation	備考
40597	18	せいでい音	0 L	R061	=:MD11.8	Mouth breath ing	1?	1 <	http://id.who.int/icd/entity/1551292969	1 <	MD11.8	
40599	18	周期性呼吸	0 L	R063	=:MD11.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2084498182	1 <	MD11.Y	Periodic breathing
40600	18	チェーン・ストークス呼吸	0 L	R063	=:MD11.4			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2084498182	1 <	MD11.Y	Cheyne-Stokes breathing; Periodic breathingの synonymsにある。
40603	18	過換気症	0 L	R064	=:MD11.7			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1048499216	1 <	MD11.7	Hyperventilation
40604	18	過換気チアニー	0 L	R064	=:MD11.7			1 <	http://id.who.int/icd/entity/1048499216	1 <	MD11.7	Hyperventilation tetany; Hyperventilationの synonymsにある。
40608	18	口呼吸	1 L	R065	=:MD11.8Z			=		=	MD11.8	
40609	18	いびき	0 L	R065	=:MD11.8Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1795485025	1 <	MD11.Y	Snoring
40610	18	しゃっくり	1 L	R066	=:MD11.6	hiccup		=		=	MD11.6	
40611	18	横隔膜痙攣症	0 L	R066	=:MD11.6			1 =	http://id.who.int/icd/entity/798509501	1 =	MD11.6	hiccup
40614	18	くしゃみ	1 L	R067	=:MD11.A	Sneezi ng		=		=	MD11.A	
40615	18	ためいき	0 L	R068	F:MD11.Z	Yawni ng		1 =	http://id.who.int/icd/entity/620989714	1 <	MD11.Y	Sighing
40617	18	あくび	1 L	R068	F:MD11.Z	Yawni ng		=		=	MD11.D	
40618	18	努力性呼吸	0 L	R068	F:MD11.Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/208980208	1 <	MD11.Y	Abnormalities of breathing
40619	18	頻呼吸	0 L	R068	F:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/85919676	1 <	MD11.Y	Tachypnea
40622	18	異常呼吸	0 L	R068	F:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/208980208	1 <	MD11.Y	Abnormalities of breathing
40623	18	無呼吸発作	0 L	R068	F:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/992235907	1 <	MD11.0	Apnoea spells; Apnoeaの synonymsにある。
40625	18	多呼吸	0 L	R068	F:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/85919676	1 <	MD11.Y	Tachypnea
40626	18	高炭酸ガス血症	0 L	R068	F:MD11.Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/208980208	1 <	MD11.Y	高炭酸ガス血症⇒Hypercapniaだが、ヒットせず。
40630	18	窒息感	0 L	R068	F:MD11.Z			1 =	http://id.who.int/icd/entity/2072305549	1 <	MD11.Y	Choking sensation
40632	18	呼吸麻痺	1 L	R068	F:MD11.Z	respira tory paralys is		<		<	MD11.Y	
40633	18	CO2ナルコーシス	0 L	R068	F:MD11.Z			1 <	http://id.who.int/icd/entity/208980208	1 <	MD11.Y	CO2ナルコーシスとは、高CO2血症によって、意識障害などの中枢神経症状を呈している状態
40634	18	喉頭痛	1 L	R070	=:MD36.0	Superi or laryng eal neural gias		<		<	8886	
40635	18	咽喉痛	0 L	R070	=:MD36.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/533724722	1 =	MD36.0	Pain in throat
40636	18	呼吸時の胸痛	0 L	R071	=:MD30.0			1 =	http://id.who.int/icd/entity/1083052714	1 =	MD30.0	Chest pain on breathing
40637	18	前胸部痛	1 L	R072	=:MC86	Precor dial pain		=		=	MC86	

標準病名のICD-11コーディング作業結果 ～ 第19章 標準病名 ～

(5ページのみ抜粋)

No	ICD11標準病名	ICD11和訳との一致	代表コード	ICD10コード	10→11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合作の英語	病名とICD11で対応しない理由	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考	
42407	19 側頭部皮下血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.0Y & XA9DZ0	Haematoma of scalp & Temporal scalp
42413	19 頭部皮下出血	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 <	1 <	NA00.0Y / MG27	Superficial injury of scalp / Bleeding
42418	19 頭部虫刺傷	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.0Z & XJ69A	Superficial injury of scalp & Insect bite, nonvenomous
42419	19 頭部擦過創	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NA00.00	Abrasion of scalp
42421	19 頭部外傷性皮下異物	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.0Z & XJ06K	Superficial injury of scalp & Superficial injury of scalp
42422	19 頭部皮下異物	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.0Z & XJ06K	Superficial injury of scalp & Superficial injury of scalp
42423	19 頭部打撲血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.0Y & XJ9NV	Haematoma of scalp & Contusion
42424	19 頭皮下血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.0Y	Haematoma of scalp
42425	19 頭部外傷性皮下気腫	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NFA0.7 & XA20Q1	Traumatic subcutaneous emphysema, not elsewhere classified & Head
42426	19 頭部血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 <	1 <	NA00.0Y	Haematoma of scalp
42428	19 頭部打撲	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NA00.01	Contusion of scalp
42429	19 頭部皮下血腫	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.0Y	Haematoma of scalp
42432	19 頭頂部擦過創	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NA00.00 & XA58Y6	Abrasion of scalp & Vertex of scalp
42433	19 外傷性帽状腱膜下出血	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.0Y	Subgaleal haematoma
42435	19 前頭部挫傷	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NA00.01 & XA0WK0	Contusion of scalp & Frontal scalp
42437	19 後頭部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NA00.01 & XA0WK0	Contusion of scalp & Frontal scalp
42439	19 側頭部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.01	Contusion of occipital region
42440	19 前頭部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NA00.01 & XA0WK0	bruise of scalp & Frontal scalp
42442	19 頭部挫傷	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NA00.01	Contusion of scalp
42443	19 頭頂部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 <	NA00.01	Contusion of parietal region
42444	19 頭部打撲傷	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 =	1 =	NA00.01	bruise of scalp
42446	19 頭皮外傷性腫脹	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 <	1 <	NA00.0Y / ME61	Superficial injury of head / head swelling
42448	19 頭部切創	0 L	S000	=:NA00.0Z				1 <	1 <	NA00.0Y / ND56.1	Superficial injury of head / cut NOS
42450	19 眼瞼打撲傷	0 L	S001	=:NA00.11				1 <	1 <	NA00.11	Contusion (Bruise) of eyelid
42452	19 前額部打撲傷	0 L	S001	=:NA00.11				1 <	1 <	NA00.7	Contusion (Bruise) of supraorbital region
42454	19 眼瞼皮下血腫	0 L	S001	=:NA00.11				1 <	1 <	NA00.1Z / ND56.0	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous haematoma
42455	19 眼周囲部皮下血腫	0 L	S001	=:NA00.11				1 <	1 <	NA00.1Z / ND56.0	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous haematoma
42457	19 眼周囲部皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11				1 <	1 <	NA00.1Z / MG27	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous bleeding

No	ICD10 標準病名	ICD11和訳との一致	代表コード	10→11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合適切の英語	病名とICD11との対応関係	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
42459	19 眼部皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous bleeding
42461	19 眼部打撲傷	0 L	S001	=:NA00.11		1 =	対 Foundation 粒度	1 =	Contusion of eyelid or periorcular area
42463	19 眼部挫傷	0 L	S001	=:NA00.11		1 =	対 Foundation 粒度	1 =	Contusion (Bruise) of eyelid or periorcular area
42465	19 眼周囲部打撲傷	0 L	S001	=:NA00.11		1 =	対 Foundation 粒度	1 =	Contusion (Bruise) of eyelid or periorcular area
42467	19 前額部皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Contusion of supraorbital region / Subcutaneous bleeding
42468	19 眼瞼皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous bleeding
42469	19 眼瞼棘皮下出血	0 L	S001	=:NA00.11		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous bleeding
42470	19 前額部皮下血腫	0 L	S001	=:NA00.11		1 =	対 Foundation 粒度	1 <	Contusion of supraorbital region / Subcutaneous haematoma
42471	19 眼部皮下血腫	0 L	S001	=:NA00.11		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous haematoma
42473	19 眼瞼切創	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area / cut NOS
42475	19 眼部擦過創	0 L	S002	=:NA00.12		1 =	対 Foundation 粒度	1 =	Abrasion of eyelid or periorcular area
42476	19 眼部虫刺傷	0 L	S002	=:NA00.12		1 =	対 Foundation 粒度	1 =	Superficial injury of eyelid or periorcular area & insect bite, nonvenomous
42479	19 眼周囲部切創	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area / cut NOS
42480	19 眼瞼外傷性皮下異物	0 L	S002	=:NA00.12		1 =	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Superficial foreign body
42481	19 前額部擦過創	0 L	S002	=:NA00.12		1 =	対 Foundation 粒度	1 =	Abrasion of eyelid or periorcular area & Supraorbital region
42483	19 眼部外傷性腫脹	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area / Subcutaneous swelling
42484	19 眼部外傷性皮下異物	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Superficial foreign body/trauma NOS
42485	19 前額部切創	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 =	Abrasion of eyelid or periorcular area & Supraorbital region / cut NOS
42486	19 前額部外傷性腫脹	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Supraorbital region / localised swelling
42489	19 眼周囲部擦過創	0 L	S002	=:NA00.12		1 =	対 Foundation 粒度	1 =	Abrasion of eyelid or periorcular area
42490	19 眉部血腫	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area & Eyebrow / Subcutaneous haematoma
42491	19 眼周囲部虫刺傷	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area & insect bite, nonvenomous
42493	19 眼周囲部外傷性腫脹	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Superficial injury of eyelid or periorcular area / localised swelling
42495	19 上眼瞼切創	0 L	S002	=:NA00.12		1 <	対 Foundation 粒度	1 <	Abrasion of eyelid or periorcular area & upper eyelid / cut NOS

No	ICD10 標準病名	ICD11和訳との一致	代表薬コード	10→11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場での英語	病名と現代語で不適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
42496	19 眼部切創	0 L	S002	=:NA00.12			1 <	1 <	NA00.10 / ND56.1 Abrasion of eyelid or periorcular area / cut NOS
42497	19 下眼瞼切創	0 L	S002	=:NA00.12			1 <	1 <	NA00.10 & XA0V9 / ND56.1 Abrasion of eyelid or periorcular area & lower eyelid/ cut NOS
42499	19 眼瞼擦過創	0 L	S002	=:NA00.12			1 =	1 =	NA00.10 & XA3R81 Abrasion of eyelid or periorcular area & Eyelids
42500	19 眼瞼虫刺傷	0 L	S002	=:NA00.12			1 =	1 =	NA00.1Y & XA3R81 & XJ06K Superficial injury of eyelid or periorcular area & Eyelids & insect bite, nonvenomous
42501	19 眼周囲部外傷性皮下異物	0 L	S002	=:NA00.12			1 =	1 =	NA00.1Y & XJ06K Superficial injury of eyelid or periorcular area & Superficial foreign body
42505	19 前額部虫刺傷	0 L	S002	=:NA00.12			1 =	1 =	NA00.1Y & XA5WP1 & XJ06K Superficial injury of eyelid or periorcular area & supraorbital region & insect bite, nonvenomous
42507	19 前額部外傷性皮下異物	0 L	S002	=:NA00.12			1 =	1 =	NA00.1Y & XA5WP1 & XJ06K Superficial injury of eyelid or periorcular area & supraorbital region & Superficial foreign body
42508	19 眼瞼外傷性腫脹	0 L	S002	=:NA00.12			1 <	1 <	NA00.1Y & XA3R81 / ME61 Superficial injury of eyelid or periorcular area & Eyelids / localised swelling
42510	19 鼻部下血腫	0 L	S003	=:NA00.3			1 =	1 <	NA00.3 Haematoma of nose
42512	19 鼻部挫傷	0 L	S003	=:NA00.3			1 =	1 <	NA00.3 Contusion of nose
42513	19 鼻部皮膚剥離創	0 L	S003	=:NA00.3			1 =	1 =	NA00.3 / ED53 Superficial injury of nose / Skin peeling
42514	19 鼻部打撲傷	0 L	S003	=:NA00.3			1 =	1 <	NA00.3 Contusion (Bruise) of nose
42515	19 鼻部切創	0 L	S003	=:NA00.3			1 =	1 =	NA00.3 / ND56.1 Superficial injury of nose / cut NOS
42516	19 鼻部外傷性腫脹	0 L	S003	=:NA00.3			1 <	1 <	NA00.3 / ME61 Superficial injury of nose / localised swelling
42518	19 鼻部外傷性皮下異物	0 L	S003	=:NA00.3			1 =	1 =	NA00.3 & XJ06K Superficial injury of nose & Superficial foreign body
42520	19 鼻部下出血	0 L	S003	=:NA00.3			1 <	1 <	NA00.3 / MG27 Superficial injury of nose / bleeding
42522	19 鼻部擦過創	0 L	S003	=:NA00.3			1 =	1 =	NA00.3 & XJ652 Superficial injury of nose & Abrasion
42523	19 鼻部虫刺傷	0 L	S003	=:NA00.3			1 =	1 =	NA00.3 & XJ69A Superficial injury of nose & insect bite, nonvenomous
42525	19 耳介挫傷	0 L	S004	=:NA00.2			1 =	1 =	NA00.2 & XJ9NV Contusion of ear
42526	19 耳介打撲傷	0 L	S004	=:NA00.2			1 =	1 =	NA00.2 & XA4E71 & XJ9NV Contusion of ear (Bruise) & Pinna
42527	19 耳介切創	0 L	S004	=:NA00.2			1 =	1 =	NA00.2 & XA4E71 / ND56.1 Superficial injury of ear & Pinna / cut NOS
42528	19 外耳部外傷性皮下異物	0 L	S004	=:NA00.2			1 =	1 =	NA00.2 & XA6ZV6 & XJ06K Superficial injury of ear & External Ear & Superficial foreign body

No	ICD10章	標準病名	ICD11和訳との一致	代表コード	ICD10コード	10→11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合作の英語	病名とICD11で現代では不適切	対 Foundation 粒度	対 MMS 粒度	備考
42530	19	外耳部皮下血腫	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/542686382 & http://id.who.int/icd/entity/768242906		1 =	1 <	NA00.2 & XA6ZV6 Haematoma of auricle & External Ear
42533	19	外耳部皮下出血	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/940081636		1 <	1 <	NA00.2 & XA6ZV6 / M627 Superficial injury of ear & External Ear / bleeding
42535	19	耳介皮下血腫	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/542686382 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271		1 =	1 <	NA00.2 & XA4E71 Haematoma of auricle & Pinna
42537	19	外耳部虫刺傷	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/1704055292		1 =	1 =	NA00.2 & XA6ZV6 & XJ69A Superficial injury of ear & External Ear & Insect bite, nonvenomous
42539	19	外耳部打撲傷	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 =	1 =	NA00.2 & XA6ZV6 & XJ9NV Contusion of ear & External Ear & Contusion (Bruise)
42541	19	耳介虫刺傷	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2030796271 & http://id.who.int/icd/entity/1704055292		1 =	1 =	NA00.3 & XA4E71 & XJ69A Superficial injury of ear & Pinna & Insect bite, nonvenomous
42542	19	耳介擦過創	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271 & http://id.who.int/icd/entity/377475788		1 =	1 =	NA00.2 & XA4E71 & XJ652 Superficial injury of nose & Pinna & Abrasion
42544	19	耳後部打撲傷	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/1926398500 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 <	1 =	NA00.2 & XA6ZV6 & XJ9NV Contusion of ear (bruise) & External Ear
42546	19	外耳部外傷性腫脹	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 / http://id.who.int/icd/entity/1531077719		1 <	1 <	NA00.2 & XA6ZV6 / ME61 Superficial injury of ear & External Ear / localised swelling
42547	19	外耳部切創	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 / http://id.who.int/icd/entity/754990790		1 <	1 <	NA00.2 & XA6ZV6 / ND56.1 Superficial injury of ear & External Ear / Cut NOS
42548	19	耳介外傷性腫脹	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 <	1 =	NA00.2 & XA4E71 / ME61 Superficial injury of ear & Pinna / localised swelling
42549	19	外耳部挫傷	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/1926398500 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 =	1 =	NA00.2 & XA6ZV6 & XJ9NV Contusion of ear (bruise) & External Ear
42550	19	耳介外傷性皮下異物	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/2110065613 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271 & http://id.who.int/icd/entity/2010469183		1 =	1 =	NA00.2 & XA4E71 & XJ06K Superficial injury of ear & Pinna & Superficial foreign body
42553	19	耳介皮下出血	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/542686382 & http://id.who.int/icd/entity/2030796271 & http://id.who.int/icd/entity/940081636		1 <	1 <	NA00.2 & XA4E71 / M627 Haematoma of auricle & Pinna / bleeding
42554	19	外耳部擦過創	0 L	S004	=:NA00.2		http://id.who.int/icd/entity/1926398500 & http://id.who.int/icd/entity/768242906 & http://id.who.int/icd/entity/377475788		1 =	1 =	NA00.2 & XA4E71 & XJ652 Superficial injury of ear & Pinna & Abrasion
42555	19	口唇切創	0 L	S005	=:NA00.4		http://id.who.int/icd/entity/754990790		1 =	1 <	NA00.4 / ND56.1 Superficial injury of lip or oral cavity / cut NOS
42557	19	口唇外傷性腫脹	0 L	S005	=:NA00.4		http://id.who.int/icd/entity/412010073 / http://id.who.int/icd/entity/1531077719		1 <	1 <	NA00.4 / ME61 Superficial injury of lip or oral cavity / localised swelling
42558	19	口唇挫傷	0 L	S005	=:NA00.4		http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 =	1 =	NA00.4 & XJ9NV Superficial injury of lip or oral cavity & Contusion
42559	19	口唇打撲傷	0 L	S005	=:NA00.4		http://id.who.int/icd/entity/412010073 & http://id.who.int/icd/entity/2040998541		1 =	1 =	NA00.4 & XJ9NV Superficial injury of lip or oral cavity & Contusion

		対 Foundation 粒度				対 MMS 粒度								
No	ICD11 標準病名 0章	ICD11和訳との一致	代表コード	ICD10コード	10→11でのマッピング情報	ICD11和訳にあつた場合適切の英語	病名とICD11で現代不適切	確信度	関係	ICD11 Foundation URI	確信度	関係	MMS Representation	備考
42561	19 口蓋挫傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/142476745 & https://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 =	=	NA00.4& XJ9NV	Superficial injury of palate & Contusion
42564	19 歯肉挫傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1641494565 & https://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 =	=	NA00.4& XJ9NV	Superficial injury of gum & Contusion
42567	19 口腔内血腫	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1274789040	1 =	=	NA00.4	Haematoma of mouth
42568	19 口唇皮下血腫	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/1274789040	1 <	<	NA00.4	Haematoma of mouth
42569	19 口腔擦過創	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1749666746	1 <	<	NA00.4	Abrasion of lip or oral cavity
42570	19 口唇外傷性皮下異物	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/412010073 & https://id.who.int/icd/entity/2010469183	1 =	=	NA00.4 & XJ06K	Superficial injury of lip or oral cavity & Superficial foreign body
42571	19 上口唇挫傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/412010073 & https://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 =	=	NA00.4 & XJ9NV	Superficial injury of lip or oral cavity & Contusion
42572	19 軟口蓋血腫	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/101292065	1 <	<	NA00.4 & XA8HL5	Haematoma of mouth & Soft palate
42578	19 口腔外傷性異物	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/661144001	1 <	<	NA00.4	Superficial foreign body in lip or oral cavity
42580	19 口唇擦過創	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1749666746	1 <	<	NA00.4	Abrasion of lip or oral cavity
42581	19 口唇虫刺傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1245584988	1 <	<	NA00.4	Nonvenomous insect bite of lip or oral cavity
42585	19 口腔打撲傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/680755635	1 <	<	NA00.4	Contusion of lip or oral cavity
42586	19 口腔挫傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/680755635	1 <	<	NA00.4	Contusion of lip or oral cavity
42589	19 舌咬傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/401932616	1 <	<	DA03.Y	Tongue biting
42590	19 頬粘膜咬傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/1802102950	1 <	<	NA00.4	Abrasion of buccal mucosa
42592	19 口唇皮下出血	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/5530203471	1 <	<	NA00.4	Haematoma of lip
42593	19 口腔切創	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/412010073 / https://id.who.int/icd/entity/754990790	1 <	<	NA00.4 / ND56.1	Superficial injury of lip or oral cavity / cut NOS
42594	19 口腔粘膜咬傷	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 <	<	https://id.who.int/icd/entity/1802102950	1 <	<	NA00.4	Abrasion of buccal mucosa
42596	19 口唇外傷性腫脹	0 L	S005	S005	=:NA00.4			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/1531077719	1 <	<	NA00.4 / ME61	Superficial injury of lip or oral cavity / localised swelling
42601	19 顔面多発皮下出血	0 L	S007	S007	=:NA00.5			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/157834036 & https://id.who.int/icd/entity/968129184 / https://id.who.int/icd/entity/940081636	1 <	<	NA00.5 & XA8654 / MG27	Multiple superficial injuries of head & Face / Bleeding
42603	19 顔面多発皮下血腫	0 L	S007	S007	=:NA00.5			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/157834036 & https://id.who.int/icd/entity/968129184 / https://id.who.int/icd/entity/1767523134	1 <	<	NA00.5 & XA8654 / ND56.0	Multiple superficial injuries of head & Face / Subcutaneous haematoma
42604	19 顔面多発挫傷	0 L	S007	S007	=:NA00.5			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/157834036 & https://id.who.int/icd/entity/968129184 / https://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 <	<	NA00.5 & XA8654 & XJ9NV	Multiple superficial injuries of head & Face & Contusion
42605	19 顔面多発擦過創	0 L	S007	S007	=:NA00.5			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/157834036 & https://id.who.int/icd/entity/377475788	1 <	<	NA00.5 & XJ652	Multiple superficial injuries of head & Abrasion
42607	19 顔面多発打撲傷	0 L	S007	S007	=:NA00.5			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 <	<	NA00.5 & XJ9NV	Multiple superficial injuries of head & Contusion
42608	19 顔面多発切創	0 L	S007	S007	=:NA00.5			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/157834036 & https://id.who.int/icd/entity/968129184 / https://id.who.int/icd/entity/754990790	1 <	<	NA00.5 & XA8654 / ND56.1	Multiple superficial injuries of head & Face / cut NOS
42609	19 顔面多発打撲傷	0 L	S007	S007	=:NA00.5			1 =	=	https://id.who.int/icd/entity/157834036 & https://id.who.int/icd/entity/968129184 / https://id.who.int/icd/entity/2040998541	1 <	<	NA00.5 & XA8654 & XJ9NV	Multiple superficial injuries of head & Face & Contusion